夕刊
滿洲日報
五月二十三日

あす執監會議後に 討馮通電を發す
正式に文案を決定した上直に 國民政府の名にて

【南京廿一日發電】第二次中央執監全體會議は來る廿三日中央黨部に開會し邵力子氏が起草し蔣介石、戴天仇氏が校閲した馮玉祥討伐通電文案を附議して正式に之を決定した上國民政府より直に發表全國に通電することに決定した

蔣軍十ヶ師 河南進出
渦陽方面から

【北平二十一日發電】徐州を中心として兗州、蚌埠、蒙城一帶に集中された蔣軍は毛丙文、徐源泉、方振武、唐生智氏等の約十師で騎兵第二師は蒙城より渦陽にかけ第十師は蒙城から西に、方軍は徐州から隴海線に夫々河南前進を計畫してゐる

鐵道破壞
馮軍の計畫

【北平廿一日發電】馮玉祥軍の破壞した平漢、隴海兩線損傷個所は數十箇所に達し完全に回復するまでには三年を要すべく莫大な損害に達してゐる、なほ支那側の情報に依れば馮玉祥軍は左の計畫に從ひ鐵道破壞を行はんとしてゐると

一、平漢線北段新鄕及び黃河鐵橋の破壞
二、隴海線開封より馬牧集までの一帶の橋梁を破壞す
三、武勝關、信陽間鐵橋破壞
四、開封、鄭州間鐵橋破壞準備をなす

京津警備司令に 孫氏を起用
孫、閻、張學良氏らの協力で 近く蔣聯盟生れん

【上海二十一日發電】支那側の信頼すべき筋の情報に依れば蔣介石氏は孫傳芳氏に對し京津警備總司令を任命の電した、孫傳芳氏の起用は對馮戰開始切迫せる折柄閻錫山氏が山西より馮軍を積極的に壓迫する必要あり其の結果京津を固めて蔣介石軍を援助せしむるには差當り孫傳芳氏を復活せしむる事が最も有利に局面を展開する方法なりと一部より建策した爲めで山東以北は孫、閻、學良氏らの協力で強固なる蔣介石聯盟が出來るものと見られてゐる

山西派の態度は 飽くまで消極的
最高幹部會議で決定

【北平廿一日發電】本日午後一時衞戍司令部に於て南京より歸來した朱綬光氏を中心に商震、張蔭梧、温壽泉氏等山西派最高幹部會議を開き時局に關する對策を協議する處あつた

一、現時局に對しては飽くまで消極的態度を持し決して攻勢に出でず
二、蔣と不即不離の關係を持し馮軍北上せば省境の天險に據り防禦する
三、天津等の防備は方振武軍と連絡し平津の治安維持に全力を注ぐ

等山西派は順應主義を採ることゝなり朱氏は六時北平發太原に向つた、五臺に於て閻錫山と面會し山西派最後の方針を協議の上三、四日後再び歸平し徐州に赴き蔣介石との連絡に努むる筈である

北支那總司令 商震氏任命

【東京二十二日發電】外務省入電に依れば國民政府は商震氏を北支那總司令に任じたので商震氏は近日中に保定に赴き就任することゝなつたと

兩班踏破距離
◇……廿二日午前八時十分現在

紅班　一一二二・七哩
白班　六四九・〇哩

滿蒙鐵道 驛傳競爭踏破略圖

滿洲里　斉々哈爾　斉々哈爾（昂々溪）　海倫　哈爾賓　綏芬河　洮南　長春　吉林　敦化　鄭家屯　四平街　朝陽鎭　開原　西豊　西安　梅河口　通遼　奉天　撫順　打虎山　溝幫子　新民　遼陽　本溪湖　營口　大石橋　牛心台　安東　金州　城子疃　南關嶺　大連　旅順　山海關
白班　紅班

來る三十日に 國書捧呈
佛伊獨國も同日に

【上海二十一日發電】日本側の國書捧呈日取は大體三十日と決定した、なほフランス公使マルテル、イタリー公使バレー、獨逸公使フオン、ベルヒ氏等は二十五日に國書捧呈の豫定であつたが、國民政府側の都合に依り（蔣介石氏徐州行のため）延期され日本と同じく三十日にそれぞれ捧呈式を擧行することに決定した

東北四省の 巨頭會議を開催
來る二十七日奉天で

【奉天特電二十二日發】張學良氏は時局切迫に鑑み來る二十七日張作相、萬福麟、湯玉麟等の諸氏を招致して東北四省巨頭會議を開催することゝなつた

學良氏に 出張方要求

【奉天特電二十二日發】確聞する處によれば張學良氏は山西に在る閻錫山氏より對馮作戰の爲め石家莊まで出張方を要求されたが、學良氏は來る廿七日開催の東北四省巨頭會議にて決定の上と回答した、なほ一昨日奉天より關內に向け出發せる于學忠氏に對しては取敢ず天津まで進出すべき旨內命を下したと

興味愈よ津々たる 兩班作戰の相違
紅班は近く東支線を征服し 白班は四洮吉長へ

廿一日深更奉天に於て第一走者能勢選手より引繼を受けた白班の第二走者加藤選手は新銳の意氣を以て卽夜滿鐵線を北行し廿二日午前六時十五分四平街着、直に四洮線に入つたが同選手は鄭家屯で引返し更に長春より吉長線に豫定の如く見受けらる、又紅班の秋山選手は既に今朝までに千百餘哩の行程を走破し廿二日正午滿洲里發の國際急行列車に搭じて長驅東支線の東端綏芬河（ポクラニチナヤ）に向ふ豫定である、斯くの如く紅班が先づ北滿線を長驅するに反し白班が比較的小區間の線路を片付けて徐ろに北行せんとする作戰の相違は興味の津々たるを覺えしむる

急行車を利用し 東支線を縱走す
紅班秋山選手の活躍

【二十一日滿洲里にて秋山紅班選手】豫定コースの內千百餘哩を踏破して二十一日午後八時四十五分滿洲里に着いた、二十二日歐亞連絡列車時刻改正後最初の急行にて綏芬河に向ふ筈である

加藤選手 鄭家屯へ
白班第二走程

【四平街特電二十二日發】白班第二走者加藤選手は今朝六時十五分着、朝食をとる暇もなく同七時四十分四洮線にて鄭家屯に向け出發したが夕刻までに此の地に引返す筈である

能勢選手歸る

【奉天特電二十二日發】初めて沿線に足を踏み出したるに拘らず各方面の聲援と潑剌たる元氣を以て首尾よく所定のダイヤ通りコースを走破して白班第一走者能勢選手は廿一日深更奉天に於て第二走者加藤選手に引繼を了り同夜休養廿二日午後一時半發急行で歸社の途に就いた

奉天側の 對內作戰
第一次軍は 軍糧城へ

【奉天特電二十二日發】對內外作戰商議の爲め來奉中であつた于學忠氏は廿一日山海關に向け歸任の途に就いたが仄聞するところによれば軍糧城に向ふべき第一次軍行動が參加軍は前記于學忠軍の外五個師團であると、尙關內出兵に備ふる兵站總監部は米春霖氏を總監として錦州に設置し打通線の起點打虎山には金良錦氏を司令とする警備司令部を設置すると

グ公殿下

【名古屋二十二日發電】グ公殿下は二十二日早朝日本ラインの絶景を御覽の上午前十時五十分名古屋驛發特急で御東上、今夕五時四十分橫濱驛御着の上ニユー、グランドホテルに入らせらる

奉天城內に 暗殺團潛入

【奉天特電二十一日發】最近馮玉祥派の暗殺團員多數省城に潛入したとの說が傳へられてゐるので嚴重警戒中である

馮氏の部下 監禁
何應欽氏が

【東京二十二日發電】外務省着電に依れば漢口に在る南京軍何應欽氏は元馮玉祥氏の部下たりし第五師長李紀才氏を態度疑問として監禁するに至り蔣、馮關係はますます險惡の度を加へるに至つたと

榊原農場問題の 解決は困難
買收値段の開き著しきため 林總領事も手を引く

【奉天特電二十二日發】紛爭中の榊原農場問題に關し交渉の衝に當れる林奉天總領事から支那側に對し廿日附通告を發して交渉進捗を圖つたが留保水田設備費の名目による買收値段につき相違著しく到底圓滿解決の見込み無きものとして林總領事は手を引く模樣で當の榊原氏も「此上は最早適當の處置に出る外無し」と決心してゐる

研究會則改正 更に懇談

【東京二十二日發電】貴族院研究會は二十一日常務委員會を開き會則改正問題を協議し伯子勳選三團の意嚮につき夫々報告があつて意見を交換したが意見の一致を見ず二十八日更に懇談を重ねる事となつた、大體決議拘束主義につき存廢の兩論ある外自由主義原則拘束主義原則除外例範圍擴張の妥協案に分れてゐる

青島假市長 可歛誅求
一悶着起らん

【青島二十一日發電】日本軍撤退後支那官憲は相當誠意を以て警戒に當り殊に紡績會社方面には特に嚴重にされてゐる、然し青島假市長陳仲孚氏が各種稅目を濫設して可歛誅求をなさんとするあり支那側に一悶着豫期さる

拓相候補 與黨內では 秦氏が有力

【東京廿二日發電】拓殖大臣の人選については政府の新陣容立直しの上からも田中首相の最も愼重に考慮するところであり豫て田中首相の意中は宇垣大將起用に在りと傳へられてゐるが與黨內では秦豐助氏の任用說が最も有力である、なほ其の他に山本農相は高橋光威氏を推し鈴木前內相一派は鳩山書記官長を推して居り其の他にも相當の自薦候補者があつて田中首相が此の間に在つて如何に決定するかは頗る興味が深い

佐分利參事官 廿七八日頃通哈

【哈爾賓特電二十二日發】佐分利英國大使館參事官は十八日莫斯科發歸朝の途に就く旨當地總領事館に入電があつた、當地通過は二十七八日頃であらう

伍堂中將 きのふ來連 當分滯在

製鐵所各種機械を買入れた滿鐵囑託伍堂中將一行は歐米より歸着後同地に滯在中であつたが、二十一日來連二十二日より滿鐵本社々員會事務室を同氏の事務室として執務することゝなつた

汪支那公使 歸國
之を機會に駐日公使更迭か

【東京二十二日發電】駐日支那公使汪榮寶氏は孫文靈柩奉安式に參列するため二十四日午後八時四十分東京驛發二十五日神戶解纜の上海丸で歸國することゝなつた、なほ汪公使今回の歸國を機會に駐日公使の更迭を見るのではないかと觀測されてゐる

關東廳舍の 增築
九月末までに完成

關東廳では一昨年現在の新館を增築したが、まだ廳舍狹隘を告ぐるので正面より向つて左川端まで九十坪、向つて右新館の續きに四十坪の各增築を行ふべく工事に着手した、この工費約四萬五千圓・左の方は地下室とも三階で地下室を倉庫とし一階を事務室と定め二階を御眞影奉安室、長官室、同應接室、秘書官室、秘書課室とするもので、右の方は地下室とも二階建とし地下室を倉庫とし一階を事務室に宛て屋根をベランダとするものである、九月末までには完成すべく現在の窮屈さも多少緩和されるであらう

內地教育團 百名招待
今秋滿鐵で

滿鐵では過般數年來滿蒙の實際狀況紹介のため內地各府縣の各種教育團體を招待し滿蒙各地を視察せしめて來たが本年度に於ても十月頃全國學事關係者（視學官、視學、社會教育主事及び學務擔當者）團體を約百名招待し約三週間に亘り南北滿洲各地を視察せしむることゝなり此程山本社長の名を以て右參加者の推薦方を內地及び臺灣、朝鮮、樺太、北海道の地方長官並に大都市々長宛依賴した

通俗滿洲事情 講演會

廿三日午後七時より大連市主催の通俗滿洲事情講演會には既報の如く高柳將軍の極めて興味ある滿蒙の實際問題を通俗的に講演し映畫は最近撮影の「滿洲を拓く者」二卷其の他「松花江氷上の希臘正教祭」「奉天郊外黃寺の喇嘛踊り」「鴨綠江に於けるスケート競技」等數卷を映寫し一般市民の滿蒙に關する常識啓發に資すると

文豪遲塚麗水 氏來連す
滿鐵の招聘で

我文壇の巨匠、殊に紀行文の大家として知られた麗水遲塚金太郞氏は今回滿鐵の依囑により滿蒙地方の風物を視察すべく廿一日夜來連星ケ浦ヤマトホテルに投宿中であるが追つてプログラムを定めて沿線漫遊の途に上る由である

黑田次官一行 敦化へ

【長春特電二十二日發】黑田大藏次官一行は二十一日正午來吉し川越總領事の招宴に列し直に吉敦線に乘り換へ敦化に向つたが同地に一泊の豫定で一行は元氣である

撫順炭礦長 來連

山西撫順炭礦長久保同次長一行は大社と事務打合せのため二十二日朝來連した

人事

▲泉二新熊博士（刑事局長）廿二日長平丸にて來連
▲趙實氏（中國銀行支店長）同
▲劉平國氏（孫傳芳顧問）同上
▲陳耀珊氏（中國陸軍中將）同
▲鮫島宗也氏（京城日報支配人）廿二日來連ヤマトホテルへ

大觀小觀

◇ 名稱も官制も未だ決まらぬ官省が、來月一日から出來る。無名省とでもするのが穩當かも知れない
◇ 閻錫山君は中立、張學良君は出兵。いよいよやゝこしいことになつた。
◇ 大臣が喋りすぎて與黨から叱られた。なんぼう辛いことか。
◇ 市會各派持久戰に入る。同時に市民が如何に辛抱強いか根氣較べでもある。
◇ 市民は市長と議員の總辭職を要望する。しかし自發的にやれなかつたら、關東廳が權能を揮へ。
◇ 市會を解散し、市長も引込めてすべてを新にせよ。これ以外に解決策無し。

荻川放談 (41)
回顧

山東の我遺兵は還つた、支那では之を喜び、該地方の都會たる濟南なんどでは、大々的祝賀の集合なんかを催してさゞめく、支那としてはさうもありたからん、併し我山東遺兵の動機が如何なる點より起りしかを回顧すると、地位を換えて日本がこれに處せんか、大和魂からして本事變に死歿したる兩國の戰士並に無辜の民衆を弔らふ、大々的招魂の祭典を營んだであらうこゝが日本と支那の違ふところで、兩者の融合が徐々容易でないことが、此一點でも判る。

◇ それでこゝに日本としては、日支友好のうへからして、先づ以て本事變に死歿したる兩國の戰士並に無辜の民衆を弔ふとゝもに、併せて皇軍の山東撤去を喜び、進んでは聊か本事變の回顧から來る感想を述べんに、日本の此山東遺兵は、蓋し長江沿岸に於て支那軍隊の、外國に對して爲せる暴虐に鑑み、山東在留自國民を現地に保護せんとしたるものに過ぎない、然るに支那官憲では、これを機會に日本は山東及び滿蒙に有する權益を確保するの發言準備をなすものなりとし、濟南では長江沿岸に於ける如く果然支那軍隊の暴虐あり、これに對する我遺兵の正當防禦さえをも、それに結びて排日運動までを起さしめ、當時成立の過渡にある國民革命政府へ民心の歸嚮を促せり。

◇ 山東の我遺兵は國民政府の革命工作に利用され、延ひては滿蒙に於ける日支の密接なる關係にも影響を及ぼした、併し考へて觀ると、當時日本の對支外交方針なるものが、嘘か眞か知らざれど、區々として世間に發表され、またこれも嘘か眞か知らざれど、日本政府の意志を代表すると云ふ幾多の無名公使が、隨意隨處に支那官憲と接觸す、是しや間違ひは起る、從ふて國民政府に前記の口實を與へた責の少しぐらひはこちらにある、外交は何處とあつても一本筋に行かねばならぬ、一本筋ならずばそれが統一さるゝ如くせねばならぬ。

◇ されどそれよりも一層其處に日本國民としての不覺があつたではないか、尤も山東遺兵には國民中に是非の議論も行はれたが所に此遺兵が支那官憲に利用されたと知り、また之が爲に支那國民が我國に敵意を表するに至つたとき、遺兵是非の議論なんかは問題外である、之に對し卽座に舉國一致の言動こそ緊要であるべきに、這度はこれが缺けた、缺けしのみか依然として此山東遺兵の是非が、政爭の具に供せられし傾きあり、而も國民は默して之を問はず、斯くの如きにあつて、何時國威を海外に展ぶべきぞ、將來は充分に之を慮らざる可らず。

支那側鐵道名 改稱

奉海鐵道は既に瀋海鐵道と名稱を變更したが更に又この度海龍縣が輝南縣と改稱されることゝなり瀋海鐵道も瀋輝鐵道と改稱に決定、尙吉海線も同時に輝吉鐵道と改稱

天氣豫報

廿三日（晴れ）南東の風一時曇り
日出四時三十五分　日沒七時六分
滿潮前十時十五分後十時二十五分
干潮前四時　後五時二十五分

初夏の潮風 けふ星ヶ浦で

薫風六月、滿洲で最も惠まれた月はこの六月である、アカシヤの葉ものびやか、殊に初夏の陽を白のパラソルに受けて、海濱の潮風に吹かれ乍らしほの音をきくのは爽かなもの。寫眞は夏の氣漂ふ星ヶ浦海濱と、波と白パラソルの女

江戸情緒タツぷり明晩の慰安演藝會 講談界の元老伯山一行お目見得 協和會館に於て開催

目に青葉山ほとゝぎす初鰹……江戸情緒に適はしい初夏に、四十年に近い高座生活にたゝきあげた江戸前の藝を誇る

講談界 の元老神田伯山が柴田南玉、神田松鯉、金川文樂、壽家岩てこ一行の東京特選名人會を率ひて來連した、大連滿鐵社員倶樂部及び本社にては斯の如き一流どころが揃つて來滿することは又とない機會であるので一行を特に招聘し協和會館の催し物としては破天荒である倶樂部員及讀者の慰安演藝會を明廿三日及び廿四日の兩夜七時から開催することになつた

會費は 一般二圓で倶樂部員及び讀者に限り（讀者は本紙刷込みの優待割引券持參の事）一圓に割引するが、社員倶樂部事務室及び本社受付に於て前賣切符を發賣してゐるから座席券を利用されたい、尚一行を紹介する

神田伯山

柴田南玉は講談界の古老で先代伯山の秘藏弟子として知られ、神田松鯉は先代伯山の實子で流石に洗練されたものである、金川文樂は淨瑠璃に精進すること三十年で物足らず語劇文川節を創案し一流作家の傑作を讀物として

好評を 博してゐる、壽家岩てこは先代岩てこ直傳の曲彈きに近代味を盛つて三味線を自由自在に彈きこなして全く堂に入つた達者さで人氣を煽り、つばめ改め柳家金三は東都落語界の眞打でレコードに得意の音曲落語を吹込んで廣く知られてゐる、神田伯山は明治五年生れの生粹の江戸ッ子で十三歳の時先代伯山の門に入り松山と號し廿歳頃から賣出し廿四歳で伯山を襲名し今日に及び最も得意とする

讀物は 「清水次郎長」で兩夜は次郎長傳のうち「大瀬半五郎」の長講を讀切ることになつてゐる

壽家岩てこ

お斷り 二十二日附朝刊發表の東京名人會の社告中、會期が廿二、三日とあるのは二十三、四日の誤りにつき訂正いたします

宮崎大分縣下に稀有の强震 日向灘沖合の陷沒か

【宮崎二十二日發電】今曉一時四十分宮崎、大分地方を中心に近來稀なる强震あり、宮崎市内では煙突倒れ硝子窓を破壞されたところもあり、宮崎測候所の觀測に依れば震源地は宮崎市の南方六十キロ米突日向灘沖合の陷沒地震らしく高千穗方面最も强かつたらしいが電線切斷のため詳細不明

三十年來の地震 人畜被害なし

【宮崎二十二日發電】宮崎地方の强震は三十年來なき地震で、市内は煉瓦塀倒れ壁の脱落等所々に散見するが人畜には被害なし、又高千穗方面の被害狀況は判明しないが人畜には被害ない模樣である

高千穗地方最も强し

【宮崎廿二日發電】今曉宮崎地方の强震は宮崎測候所開設以來の强震で市民はいづれも屋外に飛出したが、餘震を氣遣ひ疊茣座等を持出して屋外に恐怖の一夜を明かした、宮崎測候所の觀測に依れば發震時午前一時三十六分、震幅二寸（先年關東地方大震災は八寸）震源地は宮崎市の南方六十キロ米突（十五海里）日向灘沖合で火山ではないから陷沒地震らしい なほ縣下では高千穗地方が一番强かつたらしいが高千穗、延岡間の電線切斷され詳細不明、なほ發震と同時に電燈が消え全市暗黒となり市民は一段の恐怖を感じたが之は發電所が萬一を慮り電流を止めたゝめであつた

戰捷の慶大應援團 又復銀座で亂舞 十數名遂に檢束さる

【東京二十二日發電】早慶野球戰試合終了後凱歌を擧げつゝ引揚げた慶應應援團は學校内大ホールで戰勝祝賀會を開き底抜けの氣勢を揚げ、午後七時半祝賀會終るや銀座街頭に流れ出たので石川築地署長は警官百五十名を率ゐて嚴重警戒し街頭を亂舞する應援團と小競合を演じたが十一時頃漸く平穩に復した、なほ同夜重なるカフェーは八時頃から戸を鎖して警戒した 檢束された十數名は十一時半頃署長訓戒後特に歸宅を許された

早慶戰入場料 四萬圓を突破

【東京二十二日發電】早慶野球戰入場料は一日一萬二百六十一圓五十錢、二日一萬五千圓を超へ、三日は一萬四千八百八圓で總額四萬圓を突破した

萬引書籍を賣つて カフエーや活動に入浸る 某中學校の卒業生、二、三名と共謀 けさ大連署の手に

二十二日午前十一時ごろ大連署司法室で山と積まれた書籍を前に學生風の少年が庄司少年視察係の取調べを受けてゐた、右は本年三月市内某中學校を卒業した山田善晴（一七）=假名=で今春來二三名と徒黨をなし大阪屋號、滿書堂外數軒の書店から書籍を萬引しては賣却しそれでカフエー、撞球、活動寫眞等に入びたつてゐることが發覺したものである、近來中等學校生徒の犯罪が著しく增加したのに鑑み、大連署では少年視察班を本年四月から新設し、學校、家庭と連絡を執り、不良少年の善導保護に努めてゐるが、依然として不良少年の減少を見ず、夏季に向つて一層增加の傾向すらあると

大連の交通安全デー 來月五日に

市街の繁華、車馬の訓練不足また市民の交通思想缺如から近來大連市内における交通事故が續々として起るので二十一日午後一時から大連署で四署保安主任會議を開催の結果、來る六月五日を期し四署聯合交通安全デーを行ふことゝなつた、この前に大連署では電鐵、タクシー業者、人力組合、その他車馬關係者及び市内各小學校長等と會合し交通安全デーに關する懇談會を開き、諸般の準備をなす筈であるが、大體當日はポスター、カード、ビラ等を撒布し車馬には「交通安全」の小旗を掲げて市民に交通思想の普及に努め、規定以上のスピードで走る車馬及び自動車の取締、人道、車道の**取締を**爲すと同時に市内各小學校では交通に關する講話があり、徹底的に交通安全デーの實を擧ぐべく宣傳を行ふと

支那思想研究に けさ泉二刑事局長來連

中南支那地方思想研究視察中の刑事局長泉二新熊博士一行は廿二日未明入港の長平丸にて高山署長、先發の龜山檢事等多數の出迎へを受け來連、埠頭を見物の後ヤマトホテルに入り小憩、たゞちに龜山檢事及水上署長を同行自動車にて旅順に出發した、氏は語る

こちらはこれで二度目です大正九年に來ました時はまだこの埠頭も完成されず水上署もバラックでしたが、實に立派ですね、東洋一——たしかにそうですョ私の來連はたゞホンの視察ですぐに旅順に行き一泊歸連、ヤマトホテルに二三泊後奉天、ハルビン等を視察し朝鮮を經由して歸京するつもりです（寫眞は泉二博士）

歡迎會 泉二刑事局長來連につき當地奄美大島郡人會では明二十三日正五時より電氣遊園登瀛閣で郡人會主催並に郡關係者の歡迎會を催すが會費は二圓五十錢、希望者は當日正午迄に天神町鹿澤方（電話六二四八番）へ申込まれ度いと、また大連官民合同歡迎會は法院及辯護士會發起にて來る二十四日午後六時より扇芳亭に於て催されるが會費は金七圓で出席希望者は地方法院庶務課（電話四八〇六番）へ申込まれたいと

風紀係を臨設 季節犯罪を防止 大連署が徹底的に

青葉の蔭にかげろふが舞ひ、灼熱の夏はもう足下に這ひよつて來た——これから人々は苦熱の世界から免れんと水を慕ふて海へ海へ…六月中頃から各海水浴場は一齊に解放されるであらうが、毎年海水浴場を中心に起る犯罪——竊盜、猥褻、密會——これ等の季節犯罪には毎年警察が頭を惱ますのである、大連署では今年こそは徹底的に犯罪の豫防をなすため、特に風紀係を臨設して、海水浴場を中心に、管内各公園を巡邏させ、季節犯罪を未然に防ぐべく目下研究を進めて居る

聖德太子堂 本樂祭賑ふ

聖德祭本樂祭は二十二日午前十時より盛大に執行され石本市長、岩井少將、高山大連、長山沙河口の兩署長ほか來賓四十名參列した、尚晝から區民若衆が集り神輿を奉舁して區内を練り廻り大いに賑はつた

愈よ今夕七時半から 藤原義江氏獨唱會

會券は本日午前中に全部賣切れました

女の名を叫び男は今朝死す 星ヶ浦の夫婦剃刀心中

朝刊所報星ヶ浦海岸で夫婦心中を遂げた男——宇節美は虫の息の處を直に慈惠病院に擔ぎ込まれ手當を受けたが、何分彼等は十九日夜猫入らずを嚥み死に切れず更に西洋剃刀を以て頸部を切り瀕死のまゝ三晝夜岩の上に轉て居つたので男は「柔かいベツトに寢たい、温かいベツトに」と言ひ續けて二十二日朝六時二十分女の名を叫びながら遂に息を引取つた、**原因は** 不明なるも、男は職業も無く毎日憂鬱な日を送り妻は仲々の美人で商賣柄色々外部からの誘惑多くして惱みの日が續く始末に遂に斯く死を選んだものであらうと、尚惠美子のゐた浪速町カフエーモーダンの主人は語る

惠美子は斷髮で外觀こそモダーンガールでしたが至つて優しい氣立の女で體格もよく非常な美人でしたからお客にも人氣がありました、宇野さんとか云ふ方は親戚の者だと云つて時々訪ねて見へてゐました、私の方には別に前借などありませんでした

南洋訪問の海軍機 サイパン島着

【橫須賀二十二日發電】南洋訪問の海軍機二機は今朝四時四十分モーグ島を發し二百九十浬を飛翔して午前九時五十分サイパン島に着水した、二十四日午前五時歸還飛行の途に就く筈

生活難から元司厨長が自殺 寢酒を呷りネコを嚥み

市内紀伊町四十一番地岡田紐吉（四一）は廿一日午後九時四十分頃自宅に於て寢酒を呷り家人の隙を窺ひ多量の猫いらずを嚥下、程經て苦悶を挑めたのを妻女が發見驚いて最寄り醫師の應急手當を施したが生命危篤である、紐吉は元大連汽船の司厨長を勤めてゐた處昨年末馘首され爾來就職口を探し求めてゐたけれども適當の口がないので生活難から世をはかなんだのが自殺の原因だと

小心で怠け者 自殺常習 喧嘩から庖丁で

二十一日四時半頃一人の男が頸を斬られ瀕死の狀態にあるのを小崗子署員が急行取調べた處此男は山東省生れ富久町九七張秀安（五七）といふ小心の怠け者で妻の連れ子張死氏（二一）を何處かに賣飛ばす目算を其許婚の張明秀が嗅付け、當日も口論した揚句秀が歸つた後で鼎の番の餘り菜切庖丁で頸部を切り自殺を圖つたものと判明博愛病院に擔ぎ込んだが張は自殺常習者で一週間前にも首を釣つて隣人に助けられ阿片を飲んで死損つた事も

大日活地鎭祭 磐城町敷地で

建築許可願が認可された長次郎吉氏經營の大連磐城町の磐城ホテル跡の活動常設館「大陸館」改稱「大日活」は廿一日入札を行ひ森組に落札し工事の準備が整つたので今廿二日午前十一時から敷地内に於て地鎭祭を執行した、長館主をはじめ各關係者設計者佐藤武夫氏請負者森組等列席し神官の修祓水の行事祝詞等あり式後開宴し明日より直に工事に着手することになつた

サッポロ ビール

旅順刑務所で免囚を使用

旅順刑務所では内鮮刑務所に率先して免囚保護の實績を擧ぐ可く今回刑期滿了した竊盜犯人の鮮人金光何を作業助手として採用、日給七十錢を支給する事にした。刑務所に於て直接出獄者を採用したのはこれが日本でも皮切であらうと

◇…投票用紙同封して幾枚出しても差支へなきや（家人の分）（岩田）

（答）別人であれば總て有効です

◇…廿五日の消印あれば廿五日以後到着しても有効なりや（同人）

（答）左樣です、しかし萬一消印が不明瞭であると已むを得ず無効としますから安全を期するためには二十五日に到着されたらと思ひます

◇…奉天省海龍縣が輝南縣と改稱されましたが吉海、瀋海線の名稱は改正されませぬか（奉天驛傳生）

（答）よくお尋ね下さいました、發表しやうと思つていたところです、吉海線は輝吉鐵路、瀋海線は瀋輝鐵路と改稱されました

娘々廟參拜團

既報の大石橋娘々廟大祭は本年の中日が日曜に當るので邦人の參拜も非常に多いだらうと見られてゐるが中日文化協會主催の參拜團も湯崗子迄清遊することが出來て僅か五圓と云ふ費用であるので申込み殺到してゐる爲め二十三日午後四時には締切を爲すと云ふ

千圓持出して

埼玉縣生れ明治大學生徒高山清（二二）は去る十九日約一千圓を持出し大連方面に向つた形跡があるので二十二日大連署宛警視廳より手配あつた

本社見學

四平街公學堂生徒三十九名は二十二日午前同校教諭中村緣美氏に引卒され本社を訪問各部を見學した

上水道掃除日割

▲五月二十七日 埠頭構内甲埠頭第二埠頭附近一圓、西崗街一部、得勝街一部、大龍街一部、平和街全部、福壽街全部、永樂街全部、新起街全部

▲五月二十八日 汐見町一部、埠頭構内第一埠頭一圓、西崗街一部、同仁街全部、久壽街全部、公街全部、政街全部、財神街全部、橘立町全部

▲五月二十九日 西公園町全部、春日町全部、逢坂町全部、臺山町全部、栃野町全部

◇…大孤山双峰寺住職春普及僧侶の孔華、孔右の三名と千山龍泉寺の住職一名が各寺の所有財産に就き不正行爲あることを聞知した遼陽公安局衛兵は現場に臨檢し前記四名を逮捕し目下嚴重取調中である、尙聞く處によれば寺内僧侶の軋轢暗鬪の爲めであらうと【鞍山發】

◇…撫順西一條三普運送店の樓街四二番地の牧舍にて支那產牡馬七歲と五歲の二頭は二十一日午前傳染病「鼻疽」に罹つたので撲殺したが目下尚蔓延の兆【撫順發】

◇…ロージヤーウイリアムス、ルイス、ヤンシー兩飛行家は大西洋橫斷ローマ訪問飛行のため本日當地を出發し先づメーン州のオールド、オーチャード飛行場へ向つた【ニユージカシー州ピーターボロー二十日發電】

再び企業者助成の保證制度を攻究

輸出信保制度の代案として 關東廳實現を期す

中小商工業救濟に關し大藏省では保證會社を設立する案ありと云はれて居るが關東廳でも各種産興業の發展助長のため保證制度を設置すべく目下愼重研究中である、卽ち企業者が生産工場設置並に器具機械の購入、農耕地の讓渡を受ける爲め他より資金を借入れる場合關東廳はその借入れに際し擔保の有無に拘らず必要と認めた者に對しては保證制度によつて設けられた委員會の決定により債權者に對し企業者の定期または年賦期間内に於ける支拂を保證すると云ふのである、右に關し神田内務局長は語る

本案は州內産業助成のため一昨年より研究中であつたが、實は當廳管內にも金融組合や輸入組合等も組織された結果、本案よりも輸出手形保證制度を施行した方が遙かに效力ある如く考へられたので昨年より輸出手形保證制度を實施すべく專ら意を注いだが、議會に提案を見るまでに至らなかつたので遺憾ながら其計畫も水泡に歸した、其處で今回再び企業者に對する保證制度を蒸し返した譯で、實は本日（二十一日）再び研究を進むべく相談した次第である、最初の原案は補償額が一人に對し一萬圓以上十萬圓以下になつてゐるがこれでは餘りに多額に失するので訂正しやうと思つてゐる

寧ろ一般的の施設改善を

根本的の助成が必要と ◇……一當業者語る

關東廳當局に然う云ふ議があることは前々から聞いて居た、然し乍ら此の種の補償金を貰つたり何かすることは何うしても一部の者に限られる弊があり、一般の企業者その他が悉く均霑を受けると云ふ譯には參らない、隨つて斯る制度を設けても果して所期の目的を十分達し得るや否やは非常な疑問であるから當業者にして見れば斯る制度もないよりはあるに越した事はないが輸出信保案の議會提案が實現出來なかつた今日として見れば斯る保證制度の制定よりも寧ろ一般に均霑するし且つ根本的の助成となるべき施設改善に努力して貰ひ度い希望である、卽ち關稅の改善、金融制度の改善、租稅の輕減に可及的の努力をして貰つた方が州內企業の振興上幾ら效果があるか知れないと考へて居る

數字に現れた滿洲の財界

大連商議書記長　篠崎嘉郎

四、本邦銀行の金融狀況

滿洲に於ける本邦金融機關の金融統計は大正七年前は正金、鮮銀、正隆のみで他の小銀行の分がないので全體の「數字」は七年後に求むるの外はない、左に七年後の狀勢を記述することゝする。

一、金銀出納

大正七年金銀出納高は入出金を合計して百五十億圓であつたが翌八年財界好轉し商取引の增加するに伴れ殆ど二倍に躍進し二百九十二億圓となり更に九年には三百億圓を突破したのである其後財界逆轉と共に幾分減退せるも貿易は依然旺盛なる爲め十三年には二百八十億圓を算し更に昨年は三百十六億圓に上り好況時代を凌駕するに至つたのである。さうして昭和三年に於ける各行取扱高の割合を見れば朝鮮銀行は金券發行銀行たる關係上四割六分を占め正金銀行二割二分、正隆銀行一割九分、滿洲銀行八分、其他の銀行が一分といふ割合であつて前記四大銀行が總額の九割九分を占めて居る而して之を金銀兩勘定に區別すれば金が二百二億八千萬圓で總額の三分の二弱に當り銀は百十三億七千萬圓で三分の一強である滿洲は不景氣なりと唱へらるゝに拘らず尙は日本側銀行に於て斯く三百億圓以上の金が出入するといふことは滿洲財界の一種の力を示すものであらう

二、貸付

大正七年末に於ける總貸出高は一億六千六百萬圓であつたが其後新興事業勃興し商取引の股賑、貿易の增進に伴れて躍進し翌八年末には二億八千六百萬圓となつた。而して不況後は財界の沈滯、一般取引の不振等により本來ならば

「貸出」は減ずべきに拘らず却つて增加の趨勢を辿り十四年の如きは三億六千萬圓に膨脹したのである、然るに同年を最高とし爾來各行は新規の貸出を手控へ他方頻りと回收した爲め東拓は前年より約五百萬圓、鮮銀は本店へ切替へて五千萬圓を減じたので昨年末は二億四千六百萬圓に減じた。尤も此外に東拓は本店直接貸出が二千二百萬圓ある筈である。さうして昭和三年末に於ける總貸出の內譯鮮銀は二割二分を占め正金一割、正隆三割、滿銀一割八分、其他の銀行六分、東拓一割四分の割合である。鮮銀の貸出高が正隆の次に位して居るのは前述した如く昨年本店に付替へた爲めでそれ以前は常に首位を占めて居つた。例へば昭和元年は全體の四割に當り二年も亦三割四分であつた。（この項つゞく）

寺兒溝海岸の第二期埋立

亞社との貸借契約成立して 本年度から着手

滿鐵では曩に石油倉庫等各所に散在する危險物を一箇所に統一整理する目的のため寺兒溝海岸の埋立を計畫し、昨年第一期工事を終つたが日本石油、スタンダード石油、亞細亞石油並にテキサス石油等の各會社に對し右埋立地の借受豫約方の勸誘をなしたところ何れも拒絕して來たので第二期埋立を中止したが其後の直に拒絕を取消し再び借用方を申し込み爾來兩者間に折衝を續け既に亞細亞石油との間には貸下契約が纏まつたが他とは未だ條件等の關係で目下行惱みである、殊にスタンダードの如きは右借地期間を日本の關東州租借期間、同期間にして貰ひ度いなど甚だ無法な申込をなして居るので滿鐵側は頑として應ぜず、解決難に陷つて居る、而して滿鐵では亞細亞石油との契約を機會に本年度から第二期埋立を行ひ

（右に續く部分判讀困難）

甜菜の栽培好成績

千畝當り二萬斤の收穫確實

南滿製糖では大正六年來甜菜の栽培法を研究しつゝあるが大正九年頃迄は創業期に屬し十畝當り平均收量一萬斤內外に過ぎなかつたが同十年以降は地元農民との契約栽培順調に行はれるに至り大正十五年度一萬五千六百斤昭和二、三年度に於て平均一萬七千五百斤內外の收量を見るに至つたが滿鐵農務課への報告によれば大體に於て旱魃病蟲等の被害は全體に對し大なる影響を與へず、二萬斤見當の收穫確實な見極のがついたと、尙將來農民との契約栽培により耕灘水栽培地に適當なる指導を與ふると共に他の特産物たる大豆、粟、高粱等を栽培せざる農民を選び作らしむることが必要であると

らに追加豫算百廿萬圓にて第二期埋立をなす筈である、尙貸下面積は各社に對して約八千坪平均である

滿鐵商船聯絡 穀類運賃引上げ

船腹不足で更に一錢方

山東撤兵で海運界の好轉に伴ひ客月二十六日から滿鐵大阪商船連絡貨物中大連より門司、下關、神戶及び大阪に至る左記穀類運賃の引上げを見たことは既報の如くであるが最近北洋木材の輸送期切迫に連れ船腹不足を告げ、更に左の通り各穀類百斤につき一錢方引上ぐることゝなつた

△豆粕十五錢△大豆、小豆、雜穀十七錢△麩子、蕎麥、種子、撒粕、袋入豆粕、硫安、骨粉十八錢△飼料用雜穀屑十九錢

五品株暴騰

華商の買進みに 先物廿三圓半に躍進

今朝內地株式市況は大株八十九圓十錢と十錢高、大新七十七圓八十錢と三十錢安、東京短期の新東は四十錢安の百二十三圓六十錢、五品は二十錢安の廿一圓五十錢と諸株共反撥後の一服商狀にて小甘く寄附いたが當市の五品は先日來の華商側の買氣益々旺盛を極め各限共前日より一圓五六十錢高に奔騰し先物は二十三圓五十錢と最近の高値に躍進した、他株もこれにつれて騰り商狀を呈し場面緊張、商內も又珍しく活況を呈した

東北油房聯合會を組織

支那當業者申請

【哈爾賓發】哈爾賓支那油房公會は今回北滿各地の油房を糾合して東北油房同業聯合會を組織すべく張行政長官に設立許可を申請中

奉票暴落懸念

奉天派出動說に

【奉天發】時局の逼迫と共に奉天派の出動は最早避け難き情態に在るが爲め奉票は益々暴落氣配を示し財界は勿論一般各方面共憂へられつゝある、之れが爲め張學良氏は如何なる態度に出づるか多大の注目を拂はれてゐる

東支沿線穀物主要驛旬末在貨（昭和四年五月上旬單位米噸）

（表：大豆・豆粕・小豆・豆油・小麥・麥粉・麵・高粱・包米・粟・其他・計　各驛＝昂々溪・安達・滿溝・八區・双城堡・綏化・海倫・計　數値判讀困難）

團體めぐり（四）

遲子祥中心の「華商雜貨聯合會」

◇…糖粉同業會の卷

◇支那四億の民の常食として夥しい需要をもつて居るものは何と云つても麥粉である、滿洲でも南滿地方だけで年額大約二千萬袋の麥粉を消費してゐる、北滿各地を併せたら恐らく四千萬袋にも上るだらう、此の夥しい麥粉が饅頭類や麵類、さては菓子の原料としてどしどし消化されて行く矢張り麥粉は支那向食料雜貨の大宗たるに恥ぢないのだ、この麥粉や砂糖類を取扱つて居る商人の團體が當地には二つある。曰く「糖粉會」曰く「大連華商雜貨聯合會」

◇「糖粉會」は麥粉や砂糖の輸入屋さんの團體で三井、三菱、福昌等と云つたやうな日本人側の大手筋の集まりだが昔は相當盛んなものだつた、其後增田屋先づ沒落し、次で鈴木倒れ、雜貨問屋の中堅處がバタバタと將棋倒しに潰れて以來、會員は滅切り減つて仕舞ひ、今では殆ど活動して居ないと云つてもよく、僅かに其の名を留めて居るに過ぎない有樣だ。

◇處が華商側の「雜貨聯合會」は創立以來歲を閲すること既に十四年――その間には隨分波瀾曲折があり、榮枯盛衰も在つたが、兎に角幾多の難關を切拔けて、今でも相變らず、同業者の爲めに活動して居る、すなはちこの「大連華商雜貨聯合會」が生れ出たのは民國五年（大正五年）で、會長益泰祥の開業と同じ年である。その益泰祥の掌櫃遲子祥君が開業に當り、同業者協調の必要を高調して、支那側の雜貨商を糾合したのが此の雜貨聯合會との誕生と云ふわけ。

◇その當時は、歐洲戰亂の最中で景氣のいゝ頃だつたから、會員の數も多く四十餘名を算する盛況振りだつた、然し同會も有爲轉變の習ひに洩れず、戰後の恐慌來や大正十四年の奉天票暴落等に際會して非常な打擊を受けた、殊に大正十四年の奉票暴落は、麥粉の暴落が一所にやつて來たのと奧地の顧客に買込んであつた約定品の破約に會つたなどの爲め、輸入問屋から買約して居た百萬袋の受渡が一つかなくなつて問題が非常に紛糾したが、會長遲子祥君の獻身的な努力によつて問屋筋との接衝も解決し、結局双方の互讓で兇がついた。

◇而も、このどさくさで倒れた店も相當にあり、爲に三十八軒の會員は二十數軒に減つたが、兎に角聯合會の活動は僅に特筆に値するものがあつた、爾來春風秋雨五星霜、今でも二十五軒の會員を擁し、支那側に於ける雜貨商の爲めに盡力して居る。

◇會長は創立以來今日までズツト遲子祥君がやつて居る、事務所も初めは華商公議會內に在つたが、其後益泰祥の內に移して居る。會の財源は月一圓の會費と五圓の入會金だが、それだけでは充分でないらしく、幹部の連中は身錢を切つて會の爲めに盡瘁して居るとの事である。

黃塵

◇…企業者助成の保證制度、勿論ないよりはあるにこれよりも寧ろ一般均霑する改善が必要だ、と當業者言ふ。

◇…此の種の補償、この種の助成金が、往々一部の者の利權に止まる弊は何人も認むる所。

◇…趣旨は素より惡くはないが、當局者の愼重考慮を要すべきとなるは言ふまでもない。

◇…政友會の一枚看板「地租委讓中止」と「金解禁斷行」との交換的口吻は、蓋し三土藏相近來の失言。

◇…內地株不冴えの折柄、當市場五品株獨り暴騰。

◇…最近における華商の地力ある買進みは、一體何を物語るか。

市況

特産　大豆は駸り　人氣引立ちて

今朝の定期は差したる特異の事なく概して平調を辿つたが大豆は買氣あつて強調を辿り三等大豆は出來不申豆粕は大豆高に伴ひて強保合を示し豆油は添はず續落歩調を辿り高粱も亦輸出不振に軟調を辿つてゐた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（強調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	六四〇〇	六四一〇	六四〇〇	六四一〇
六月末	六三三〇	六三六〇	六三三〇	六三六〇
七月末	六三三〇	六三三〇	六三三〇	六三三〇
八月末	六三一〇	六三三〇	六三一〇	六三三〇
九月末	六三一〇	六三四〇	六三一〇	六三三〇

出來高　百三十四車

▲三等大豆（出來不申）

▲豆粕（強保合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	二一四〇	二一四〇	二一三〇	二一三〇
七月限	二〇九〇	二〇九五	二〇九〇	二〇九五
八月限	二〇一〇	二〇一七	二〇一〇	二〇一五
九月限	二〇〇五	二〇〇五	二〇〇五	二〇〇五

出來高　三萬三千枚

▲豆油（軟調）（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一六五〇	一六五〇	一六四五	一六五〇
七月限	一六三〇	一六三〇	一六二五	一六三〇
八月限	一六二五	一六二五	一六二五	一六二五
九月限	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇

出來高　八千箱

▲高粱（軟調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	三四九〇	三五〇〇	三四八〇	三四八〇
六月末	三四九〇	三四九〇	三四八〇	三四八〇
七月末	三三一〇	三三一〇	三三〇〇	三三〇〇
八月末	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇
九月末	三二九〇	三二九〇	三二九〇	三二九〇

▲包米（出來不申）　出來高　八十六車

◇現物前場（銀建）

品名	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	六四三〇	六四四〇
出來高	二十車	
三等大豆	出來不申	
豆粕	二一五〇	二一五五
出來高	四萬枚	
豆油	一六三〇	一六三〇
出來高	五百箱	
高粱	三五一〇	三五一〇
出來高	五車	
包米	三八〇〇	三八〇〇
出來高	二車	

雜穀出來値（廿一日）

▲包米（海城）四、〇六（新城子）四、〇〇▲烏豆（蘇家屯）五、三五▲瓜子（通遼）一四、二〇

定期喰合高（廿一日）（前日對比較×印減）

品名	喰合高	前日對比
大豆	二九二九車	×八車
高粱	二三四七車	一七車
豆粕	一四七三千枚	一千枚
豆油	一八三五百函	三〇百函

商品　前場

●麻袋（暴落）産地保合にて氣配は一般に先安見越し折柄とて盛昌の賣氣に相場は一溜りもなく崩落し現物四十一錢三厘と新安値に落込み先物三十四錢三厘と二錢方安み市況慘澹裡に散會した引際氣配は現四十一錢五厘五月三十九錢六厘七月三十六錢八月三十四錢三厘先物三十四錢賣唱へであつた

●綿糸布（保合）印棉米棉變らず大阪三品保合を入れて當市も氣配變らず不氣乘閑散裡に散會した

●麥粉　出來不申

錢鈔　前場（强含）

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は二十五片八分の一と（八分の一高）先物二十五片八分の一と（八分の一高）紐育は五十三仙八分の七と（八分の一高）孟買銀塊は五十七兩十六分の五と（四分の一高）滙兌は七十一兩二五、滙申は七十一兩九〇大洋は九十九圓二十五錢、日米四十四弗十六分の九と（十六分の一安）米廿四十四弗八分の五と（十六分の一安）英米クロスは八十五仙丁度と（十六分の一高）米支は五十九兩八分の五と（同事）上海標金は三百六十

株式　內地不冴乍ら五品暴騰

今朝內地の主力株は反撥後の一服商狀で小甘く寄附いたが當市の五品は買氣旺盛を極め定期は四、五十錢高に寄りアト强調を辿り各限共一圓五、六十錢高先物は二十三圓五十錢と暴騰した新東も二、三十錢高、錢鈔は保合、現物の五品は寄二十錢高、引一圓二十錢高、他株は變らず出來高定期一千二百十枚、現物七百十枚

後場（續騰）

前場暴騰を演じた五品は後場に至り新東の强調と東京短期の五品暴騰を入れて買氣益々旺盛を極め各限共七八十錢高に續騰し現物の商信また一圓摑みの暴騰を演じ依然緊張し商內活潑を呈した

豆

市場は再び低迷狀態に入り、差して冴えたる場面を見せず概して平調を辿つてゐる▲大豆、豆粕は人氣稍々引立ちて駸り商狀に推移してゐるが南支筋の買氣が唯刺材料として一氣に暴騰を示した豆油の如きも人氣バツタリと落ち續落步調を辿つてゐるのは大勢の示す所であらう▲高粱も又山東方面の引合振はず依然として下押商狀を示してゐる▲現物大豆の不冴は特に目立つ油坊五車、日清、豐年十五車で二十車の手合で公濟二車の賣物だ▲油坊が採算の執れぬ所から續々休止してゐる有樣だが愈々夏枯閑散期に入る前提でもあらう▲卽ち今日の豆粕生産高は二萬九千枚で操業工場も十五軒となり日に〳〵凋落の感がある

銀

海外材料の銀塊は倫敦八分の一高、紐育八分の一高孟買四分の一高と一齊强調を入れ一方爲替は日米、米日共に十六分の一安と報じて銀高材料であつた▲上海標金も又底意駸りなるため地場鈔票としては二十錢高と强含を呈した▲上海情報に依れば神戶日米不味乍ら正金磅八月二十五二分の一買ひ朝鮮圓八月七十五十六分の三約十萬圓買ひ市況駸りなりしも▲一般華商は時局懸念と日米爲替と日米爲替不味に賣氣有り引前銀行爲替買ひ止りに引氣迷ひ、目前呆相乍ら標金底意駸りと▲紐育銀塊高內地貿易の入超神戶日米漸落時局悪化等々、少しづゝ好材料を提供しつゝある

上海爲替情報

【上海廿二日發電】金寄あと小駸三井、三菱の關賣り安來賣りに政府金解禁斷るも現在の爲替相場に來難き藏相の意向なる下押す安値大連筋好くと神戶日米安を入れた方に地震ありたる噂あ聽以、福昌、元茂永大筋の手揃ひ賣りに急落一段戀るし

上海標金

爲替相場（廿二日 正午）

市場電報（廿二日）

銀塊及爲替

棉花

大阪株式・東京株式・大阪期米・東京期米・大阪綿糸・大阪棉花・神戶豆粕・橫濱生糸・印度麻袋・奧地市況・手形交換高

（各表數値判讀困難）

金剛呪門（246）

山中峰太郎作　小田富彌畫

追放の後

虎三の遺骨を、重兵衛に渡した佃、振り返つて乙藏に聲をかけた。

「ヤイ、乙ツ！」

「な、何で？、親分！」

「虎三は死んだぞ。手前は今日まで何をしてやがツた？」

「俺は、その、つまり、この家の人に附添つてたんで。物騒なことになつてるから、つまり、その、……」

「何を言やがるんだ。誰が手前にそんなことを言ひつけたツ？」

「言ひつけなくツても、金剛鑑といふものがあるんだから、親分、物騒だ」

「腑抜けツ！、手前が一人ゐたツて何になる。こちらの御迷惑になるばかりだ。さツさと歸れ！」

「………」

急に蒼ざめた乙藏、ジロリと佃を見た。

「俺が連れて行く。とんだ面汚しだ」

と、呟いた佃、そこへ出てきた重兵衛に、

「さて、それでは、これでお暇をいたします。いろ〳〵と御取込みの所へ、かうした事を持つて參りましたのは、何とも本意ぢやございませんが、え……死んだ虎三のためを思ひますと、何分にも……どうぞ好ろしくお願ひ申上ます」

いんぎんに挨拶して皆から引止められるのを、頻りに辭退しながら外へ出た。乙藏が、さきに路へ立つてるので、

「ウム、來い！」

一緒に連れて、途中は腕を組んだまゝ默々と所司代の邸へ歸つてきた佃、自分にあてられてる長屋へ入ると座敷へ上るや否や言ひだした。

「オイ、乙ツ！」

「………」

前から蒼くなツてる乙藏、ジツと俯むいた。が、暫くすると、

「手前は命冥加な奴だな！」

と、不意に言はれて、

「えツ？」

と驚いた顏を上げた。

「いやさ、死んだのは、虎三ばかりぢやねエ。蛤御門の前の戰を手前は知るめエが、江戸から一緒にきた者が、虎三ともに八人死んだのだ。あとの三人は傷を負ふて見ろ、俺は運よく輕かツたが、……」

と、左の腕を捲くつて見せた佃、そこに厚く繃帯をかけてゐる……

「彈のかすれ傷ですんだのだ、乙藏、かうして無事なのは、俺と手前と二人だけだ。が、今さら手前がゐなかつたのを、こゝで咎めるわけぢやねエ」

「………」

それを聞かされながら、乙藏は、さうした佃の話よりも、お京と離れてきた……向ふには數之助がゐる……それに及ばぬ戀とおもへば思ふほど、ジリ〳〵と嫉みに胸をたぎれさせて、佃の言葉も、ろくに耳へ入れてはゐない……そこへ

「咎めるわけぢやねエが、乙藏、手前は今から江戸へ歸りねエ！」

と、言はれて、ギヨツとなると、また顏を上げた。

「今から？」

「さうよ。路銀が十兩、取つて行きねエ！」

ポイと膝の前に投げて出した一つの財布、佃は用意してゐたそれを投げ出すと立上つた。

「これで當分、手前とは會ふめエぜ」

言ひすてゝ、奥座敷へ入つてしまつた佃の後姿、ピタリと閉ざされた襖を見ると、

……ヘツ、さうか。

と、眼の前の財布を見ると、血相をかへた乙藏、それを取り上るや否や懷へ入れた。

そして、裏門から路へ出てくると、トボ〳〵と歩きだした。

……どこへ行く？

……江戸へ歸るか？

……いや、歸れねエー。

うつむいて行く眼の前へ、お京の白い顏が……それと並んで數之助の顏が、二つ並んで微笑してゐる……まぼろしを見る乙藏、あてもなく西陣の方角へ歩いて行つた

映畫と演藝

伯山遭難の巻

伯山が滿鮮巡業に旅立つ一週間程前の事、黒龍會の内田良平氏のところへ添書をもらひに行つての歸りがけふくさに包んでシツカリ内懷にしまいこんでゐた大切の添書をマンマとスリにすり盗られてしまつた

◇

伯山ともあらうものが大切の添書をスリに盗られましたから今一度御願ひしますと内田氏の所へ言つても行けず閉口してゐるとそれから二三日した或日の午後伯山の家へ電話がかゝつてきた「モシモシ伯山先生ですか、私は先日の巾着切ですが先日先生から頂戴した品物は先生に取つては是非入用な品物だと思ひますから今速達便で御送りしましたから受取つて下さい、此の御禮に滿洲から歸られた時には何か頂かしてもらひます」と言つて電話を切つてしまつた

◇

間もなく速達郵便で先日盗られた添書を送つてきた、伯山曰く…ベラ棒め二度と頂かしてたまるもんけえ……だが今の巾着切りは義理堅いや……。

映畫みたまゝ

ライラツクタイム　演藝館上映

感傷の巨匠と讃へられるフイツツモーリスがリラの花咲く田園と航空機の入亂れる青空に描きあげた、メロドラマである。これまでの戰爭映畫に見るやうな戰ひの凄慘さは此映畫には見られない、數臺の飛行機が青い空を流星のやうに炎の尾を引いて地上に墜ちる、グラスが一つ碎かれる毎に、英軍航空將校の一人が戰ひの犧牲となる、それでも面をそむける程に陰慘ではない、むしろ戰爭の快味と美しさに魅せられる、それはコーリン、ムーアの輝い演技が一切のものを明るく、美化して行くからでもあるが何と云つてもフイツツモーリスの功績は大である それから此映畫を引立てゝゐるシドニー、ヒユツクスとオールヴイン、ネツチエルのカメラの好さを見のがしてはならぬ、戰ひに追はれた村人達が靄たちこめる朝の街道を、長い列をつくつてのがれてゆく場面等は構圖も光線も戰爭映畫には少し美しすぎはしないかと思はるほどに美的効果を上げてゐる。コーリンムーアのジヤニンスはあの輕快な演技で、ゲリークーパーのフイリツプは落ちついた熱と力で、リラの花園に立つたヂヤンダークの像に刻まれた「愛は永久に死せず」とのテーマを織出して行く等大衆的なアツピールをもつ洗煉されたメロドラマである。

藤原義江氏の樂曲に就いて（下）

村岡樂童生

第三部

歌劇マノン　マスネーの代表的作品でフランスの國寶と云ふも過言ではあるまい

歌劇ミニヨン　トーマス、はフランスの產で此の歌劇一つによつて世界に知られた、我邦でも「君知るや南の國」で廣く知られて居る作家である

第五部

カルメンクルチス編曲である此の曲は南歐ソレントの民謠として歐洲を風靡した名歌曲の一つである

アマポラ　ラ、カツレの作曲で此れは西班牙民謠風によつて書かれてある曲目下歐米で彼のアイ、アイ、アイ、等と共に一般から唱はれて居る

ヴオルガの船歌　ロシア民謠である此の曲に就いては恐らく多くを語る必要はあるまいと思ふ程左様に有名である

萬歳五色會

劍戟萬歳伊勢音頭文化萬歳女道樂小原節踊の五本松踊り等の珍藝を網羅した萬歳五色會が今廿二日より歌舞伎座に於て開演する

ゆふべ協和會館の「ライラツクタイム」の映畫會で情報課の「支那のお正月」と「全日本氷上選手權大會」のニユースリールを發表▲廿三、四日の兩夜協和會館で神田伯山一行の東京特選名人會を開き廣く江戸前の藝術を紹介する▲西洋映畫全盛に刺戟されて最近噂に上るものにジヤネツト、ゲイナー孃主演の「第七天國」を始め▲「モアナ」「聖山」「伯林交響樂」「非常線」等々……

(日刊) 昭和四年五月二十三日 THE MANSHU NIPPO (木曜日) 第八千二百七十二號 (一)
滿洲日報
六月號
主婦之友
住宅展覽會號
本日發行
住宅建築家の第一人者たる方々が、最も便利な家を最も經濟的に設計した模範的中流住宅の誌上展覽會であります。住宅新築熱の高き今日、ぜひとも見落してはならぬ特別記事であります。
(女中の要らない能率本位の模範住宅の外觀)
(建築費二千圓) 泥坊の入らぬ若夫婦向の住宅
(建築費三千圓) 子供本位の田園生活の住宅
(建築費四千圓) 老人向の日本趣味の住宅
(建築費五千圓) 狹い土地に向く都會住宅
(建築費五千圓) 女中の要らぬ能率的の住宅
(建築費六千圓) 老人も一緒に住める文化住宅
(建築費七千圓) 店舖を兼ねた市街住宅
▲家相の惡い家に住んだ經驗……(久志)
▲家相の善い家に住んだ經驗……(鈴子)
▲新築家屋を拭き込む新祕傳……(記者)
▲床の間の變つた樣式二十種……(記者)
▲家に調和した門二十種發表……(記者)
▲頭の形で赤坊の運命を知る祕法
七つの難病を不思議に癒した
倉田百三氏の治病體驗
▲肺結核 ▲結核性睾丸炎 ▲腰椎カリエス ▲結核性中耳炎 ▲肋骨カリエス ▲結核性痔瘻 ▲結核性關節炎
名作『出家と其弟子』の著者として名高き倉田百三氏は十年間の病臥生活から解放されて、今では普通人以上の健康者となられました。倉田氏の病症を知る人は全く奇蹟の如く驚いてゐます。七つもの難症を如何にして治癒されたか。醫師でもなければ藥でもなかつた不思議な力がそれを治したと言はれます。しかもそれは誰にも出來ることです。自ら執筆して『主婦之友』に發表された氏の體驗こそ總ての病者への福音です。
糖尿病全治の民間療法
糖尿病は命取りだと云はれてゐます。それほど治りにくい病氣であります。糖尿病に罹つて名醫名藥でも治らなかつた難症の人々が、簡單な民間療法によつて忘れた如く全治された喜びの體驗を『主婦之友』に發表しました。糖尿病に惱みつゝある方は御熟讀ください。
愛犬家の座談會
愛犬熱の高き今日、愛犬家として知られた方々にお集りを願つて珍らしい座談會を開きました。人間に最も親み深くて、忠實なる犬、それに就ての興味と參考とに充ちた此の座談會を、愛犬家の方々におすゝめ致します。愛犬家の名に於てぜひ御一讀を。
和田三造氏 田中浅六氏 中島基熊氏 藤井浩祐氏 齋藤弘氏 高久々次郎氏 安本津留子氏 城崎壽々子氏
名犬誌上共進會
出ない母乳を必ず出す秘法の公開
▲必ず母乳の出る食物の選び方と食べ方……(井下ヨウ子)
▲出ないと斷言された母乳を出した方法……(秋山命澄)
▲出ない母乳を出すお乳の採み方……(長谷川たに子)
▲出ない母乳を餘るほど出した藥……(高橋千代子)
大評判の靈界放送
後藤伯と西園寺公のお花さんと安田森村大倉氏と會見
(後藤新平伯)
(お花さん)
▲望月内相が新婚の愛孃への教訓
▲夫婦喧嘩の豫防祕訣百ヶ條
◆徳富蘇峰先生の婦人訓話 ◆西川博士の肺病者の結婚生活の心得
◆本間俊平先生の信仰美談 ◆中村古峽先生の神經衰弱の治療法
▲夏の便利な手藝品作方五種
▲野菜を主とした和洋一品料理作方
◆新案の子供寢冷知らずの作方 ◆新型婦人用雨コートの作方
◆心地のよい名古屋帶の作方 ◆名流家庭の御自慢のお惣菜
(探偵小說) ルパンの青い眼の女
(女優情史) 澤正と五人の女
(長篇小說) 火刑……(三上於菟吉)
(長篇小說) 雲の柱……(長田幹彦)
(諧謔小說) 夫婦百面相……(佐々木邦)
▲姙娠調節新發見の實驗
五拾錢 (送料三錢)
東京神田駿河台 (振替一〇八一〇番)
主婦之友社
眞鍮看板調製
ネームプレート
大連市淡路町十七
沖本ブリキ店
電話六六二一番
割麥 押麥
下關市柳澤精米所代理部
合資會社 民營酒保
沙河口大正通り二五
電話コマルイク九〇五九番
最新畫報
子供の科學
お待ちかねの六月號 五十錢 送料二錢
實際居なかつた動物……(鹿間直敬)
屋根のいろいろ……(一氏義良)
潛水艇を防ぐ新らしい戰法……(古田中博)
聞える音聞えぬ音……(田中俊明)
水力タービン機械の作り方……(山田校長)
太陽が無かつたら……(渡邊學士)
美味しい甘酒の作り方……(吉田先生)
電氣點滅器の作り方……(本間清人)
火の由來物語……(杉浦淺一)
モーターサイレン……(石川中尉)
カムフラージユの話……(合屋成雄)
ガスの出來るまで……(江口鶴吉)
日中の活動寫眞……(矢島二郎)
舞臺照明の話……(遠山靜雄)
新聞の出來るまで……(時事新聞社)
美しい畫報
白蟻のビルディング 水草の生ひ立ち
マゼランの世界一周 潛水艦・珊瑚魚
エスカレーターの構造 屋根の博物館
空の怪物R一〇一號 瓦斯の出來るまで
世界第一の海底鐵道 電車の走るまで
魚で出來た丘七十哩 めづらしい雹
先史人の遺骨發見 五哩もある長橋
マゼランの傳記……(堀内學士)
陶山鈍翁先生……(森鉄三)
人なき戰場……(淺野大尉)
梅雨の話……(國富學士)
子供の科學社
醫療器械商
合資會社 村谷洋行
浪速町一丁目
電話五六五三番
石綿製各種パッキング
暖房用保溫材料一式
各種スーパーヒートパッキング
朝日石綿煙突
在庫豐富多少に拘らず御用命願ます
杉元商店
大連市榮町十五番地
電話(三八八七・五七九八)番
蜂ブドー酒
歡待……
先づ樂むるに
蜂ブドー酒の一杯を以てす
その美味と滋養
賓客を饗應すに
最も意義深きもの!
近藤利兵衛商店

滿日地方版

奉天

全奉天野球大會 組合、順序決定す

兩事務所長が優勝杯を寄贈

全奉大のファンに期待さるゝ奉大日々及び本社奉天支社共同主催の全奉天野球大會に對し太田地方、鈴木鐵道兩事務所長より優勝カップの寄贈あつた、二十一日午後三時より奉日に於て參加チームの主將會議を行ひ左の如く決定した

▲入場式　二十七日午後四時
▲試合　四時半開始
▲ゲーム　九回(但し一回戰は七回迄とし十點の差あつた場合はゲーム中止)
▲規定　大毎昭和三年度年鑑に依る、レートは自由
▲ボール　各團負擔
▲試合時間　定刻より遲れた場合に相手方より異議ある際は不戰一勝とす
▲優勝戰　六月二日午後二時より
▲審判　各團より一名宛

組合せ及び順序は左の如し

遞友―共同
翠―金曜
醫大―機關區
奉中(不戰一勝)

第二回戰抽籤は二十九日終了後行ふ

優勝チームと スコア豫想投票

奉日社で一般から募る

全奉天野球大會擧行に當り奉日社では左記の規定に依り豫想投票を募り廣く一般の興趣を添ふ事と成り、當選者に對しては賞品を授與する事と成つた

一、優勝チーム
二、優勝戰のスコアー
三、締切二十七日正午到着迄有効
四、正確者無き場合は最も近きスコアーの者に授賞す
五、賞品は一等より三等迄
六、正確者多數の場合は抽籤を以て決定す
七、投票用紙は奉天日日新聞刷り込みの用紙を利用之れに限るものにて郵送又は持參差支なし

青年聯盟奉天支部議員決定

滿洲青年聯盟奉天支部では廿一日午後五時議員の選擧を行つた結果左記十氏が當選した

尾形幸吉、横山茂雄、深水五龍、松本直義、大沼幹三郎、福本貞雄、緒原文雄、谷戸通滋、鯉沼忍、佐藤榮與

醫大、工大對抗競技の激勵演説大會

大いに盛況を極む

滿洲醫大と旅順工大との對抗競技激勵演説大會は廿一日午後七時より奉天公會堂に於て開催された、これより先會場には醫大職員學生を始め市民看護婦に至るまで立錐の餘地なき出席者ありプログラムの順によつて演説に移つたが、各人とも血湧き肉躍る若人の叫びは初夏の宵に相應しい聽くさへ人心をして躍然たらしめるものあり、しかも

演説者

の外同學の學生として教專より重原、柏木兩君、市民側中村氏及び大學より白石氏、庄司舍監の飛入激勵演説あつて更に力を加へ盛會を極めて十時過ぎ閉會した猶當日の演説者氏名及び演題は左の如くである

一、開會の辭　體協會長　久保田博士
二、激勵の賦　波多　久
三、よりよき市民の建設とは如何　草薙　銀松
四、醫大選手及び應援團諸君へ　永田　勝惠
五、市民と學生　緒方　維弘
六、對抗競技に對する私の態度　奥山　主事
七、嵐の前の靜けさ　鯉沼青年聯盟支部長
八、汝自ら一歩を加へよ　田中武
九、旅順と奉天　石井醫大辯論部長
一〇、百萬の味方より一人の力を　齋藤新太郎
一一、我以競技界の世界的躍進と在滿兩大學の對抗競技　木谷醫會長
一二、必ず勝つ　渡邊應援副團長
一三、閉會の辭　十川體協理事

福井縣織物見本展

福井縣織物見本展示會は二十日公會堂に於て開催支那向商品が多かつた爲め支那商の入場者多く盛況を呈した

學生の醜體

見學のため福岡某學院生徒は驛前の某旅館に止宿中旅の恥はかき捨てと云ふ考へか二十日午後九時某飲食店にてしたゝか飲酒の上二三名宛腕を組合せつゝ目拔の場所を横行濶歩し大聲を揚げて放歌する始末で遂に其筋の厄介と成つた

邦人質屋に支那人強盜

廿日午前三時半頃新民府邦人質屋永廣秀市方に支那強盜侵入し寢具を以て就寢中の夫妻を毆打負傷せしめ金品を强盜し逃走した

又復貨物を抑留す

二十日午前九時半寬島町丸一運送店では城內の某支那支店へ丁形錢馬車十臺と、金を馬車三臺に積載し軍營附近に差懸つた際又もや支那兵の爲め抑留され納税を強要したるも警察官の交涉に依り無事通過した

町の便り

◇琴平町のカフエー中央亭では二十一日後援者及び各關係者を招じて祝宴を催した

◇元金城館で仲居をしてゐたおりつさんは今回琴平町の元鳥居藥局跡を引受け名も(つるしま亭)と呼び撞球場を開業したゲーム取も素敵なシャンを二三名抱へると云ふ

◇沿線各地を講演中の文部省囑託安倍季雄氏は廿三日午後七時から滿鐵社員倶樂部に於て童話より見たる家庭と題し社會課主催にて講演を行つた

◇第八區內の琴平町住吉町中央浪速會では來る二十七日海軍記念日を卜し春日公園に於て野遊會を開催に決定餘興運動の申込は琴平町天洋行、住吉町改良軒、浪速通松尾藥房へ申込まれ度いと

◇宇治町東本願寺では大谷派本願寺滿鮮巡回布教使三角貫恩師の來奉を機會に二十二日午後一時から佛教講演會を開催した

◇山口縣教育視察團各中學校長六名は二十三日朝六時三十分來奉二十四日撫順に赴くと

◇千代田通三昌洋行店員山名五郎は去る十一日行方不明と成つた爲め各方面を探査したが判明せぬので二十日遂に其筋へ捜査方を願ひ出た

◇大連監部通華北寫眞館に奉公中の住所不定間家庭(二一)は去る十三日同館の郭某から百圓の金を騙取し姿を晦ましつゝあつたが二十日千代田通享利洋行方に潛伏中を御用

人事

▲松井第十六師團長　廿一日撫順へ
▲秦少將(奉天特務機關長)　廿日五龍背より歸奉
▲香月第十九旅團長　廿日鐵嶺へ
▲川合關東廳衛生課長　廿日歸旅
▲乾奉天署長　廿日遼陽往復
▲長野第十六師團經理部長　廿一日遼陽へ
▲大山第十六師團法務部長　廿一日朝遼陽より來奉

哈爾賓

黑田次官一行通過

黑田大藏次官一行は豫定の如く二十日午前九時發南下長春へ向つた

視察團豫定

日本旅行會主催の鮮滿視察團一行三百二十名は廿一日午前九時半の臨時列車で來哈廿二日午前南下する、尚最近來着豫定の視察團は次の通りである

二十一日撫順實業視察團、二十二日博多西南學院、二十三日宮城縣視察團、二十四日滿鐵社會課員、二十六日山口教育視察團、二十七日大連輸入組合

◇熊本縣人會　熊本縣人會は十九日哈爾賓座に開催素人芝居、手踊等の餘興があつた

公主嶺

騎兵聯隊軍旗祭

天候氣遣れたにも拘らず大盛況裡における

公主嶺騎兵第二十聯隊第二十四回の軍旗拜授記念祭は十九日午前十一時三十分開始軍旗奉迎安藤聯隊長の式辭、分列式、軍旗奉送等嚴肅裡に式を了し勇ましき騎兵全員の戰鬪を終り各種の餘興は順序よく行はれ午後四時半より閉遊會は開始され各所の模擬店は大繁昌大盛況裡に閉會した、當日は午前六時頃小雨ありて八時ころ止み西南の大風は砂塵を捲き暗雲去來大雨を氣遣はれてゐたにも拘らず聯隊長より公主嶺全市民と軍旗拜受記念を祝福せんと各戸に家族同伴來場の案內狀を各區長を通し發せたので例年になき參觀者であつた

創立記念祝典

公主嶺獨立守備步兵第一大隊は來る二十八日左記の順序により第二十二回守備隊創立記念祝典を擧行する

午前十一時守備隊練兵場大隊長の式辭、來賓有志の祝詞分列式守備隊合奏、忠魂碑祭典、十一時三十分より講演あり午後零時三十分より祝宴運動會競技及餘興等あり終つて營內及同飾物縱覽せしめる筈で大隊長三浦氏は當日を公主嶺市民と共に祝福する考へで隊內を全部開放觀覽及び講演を實施するため案內狀を各戸に出し本月初旬より部下將校下士を督勵し準備に忙殺されて居るので當日は豫期以上の盛況を呈するであらう

將校視察團來公

金澤聯隊區將校滿鮮視察團の一行十六名は二十日午後二時着の列車にて來公農事試驗場其他を視察午後四時四十三分發の列車にて南下した

兒童デー盛況

滿鐵社會課公主嶺小學校主催の兒童愛護デーは二十一日左記の如く開催した

一、午前中學校に於てお伽噺會、午後一時校庭に集合、旗行列、公園に行進、神社參拜、寶探し、相撲、運動、風船飛揚、土產物分配

かくて頗る賑やかに兒童を喜ばせ兒童愛護デーは樂しく行はれた、因に二十二日は幼兒審査會二十三日は兒童保育座談會何れも午後一時滿鐵倶樂部で開會

開原

大波田氏當選

青年議會議員

青年聯盟主催の滿洲青年議會は六月一、二、三の三日間大連滿鐵協和會館に於て開催につき當開原支部代表議員は正隆銀行大波田氏に決定

撫順

夜の全市を震撼す歡呼

熱烈な歡迎裡に軒昂たる能勢選手

今や全滿をあげて湧くが如き人氣の焦點となれる滿蒙鐵道驛傳競爭の重大な責任を完全に果し二十一日午後八時二十分列車にて撫順驛にその雄姿を現はした、これよりさき支局及南販賣店の特報にて同選手の來撫を知るやこの未曾有の壯擧を聲援すべく炭礦側よりは山田文書主任、寺村電燈主任、胡阪陸上競技部代表、警察側よりは大林署長、杉野警務主任外非番署員多數、市中側よりは山上實業協會長、田中副會長、森書記長、大島市場會社支配人、中山撫順印刷會社支配人、古賀初一氏外數十名、記者團側は撫順新聞窪田社長、福田營業部長、柴田社會部主任、撫順よりは城島主幹、田村大連、島木奉日、冷泉奉毎各支局長等を始め青年團、撫順中學、永安小學の健兒等市民總計數百名の歡迎を受け大尾驛長の發聲にて「滿日驛傳競爭萬歲」を三唱時ならぬ歡聲は夜の撫順全市を震撼する熱狂裡に記念撮影をなし小憩の後九時十分の列車にて奉天に引返し第二走者加藤選手に「通過サイン」を引繼いだ、當夜態々同選手に熱誠な歡迎を與へられた各位の御厚情を深く感謝する次第である

撫

▲高濱虚子(俳人)　三十日午前十一時來撫、一泊講演の後三十一日離撫の豫定

青年聯盟議員當選者

五名を決定

青年聯盟撫順支部に於ける第一次議員總選擧は二十日午後八時より實業協會樓上に於て擧行、事務報告支部長代理佐野幹事長の總選擧に關する注意あり、左の諸氏を選擧した

桝巴倉吉氏(炭礦側)森山環氏(實業協會側)紺井一、西川清兵、岡田登之治(以上市中側)

人事

▲松井第十六師團長一行九名二十一日午前十一時列車にて視察の爲來撫、午後六時四十分離撫

遼陽

家庭研究所開所式

廿五日擧行

滿鐵地方事務所社會係主催の家庭研究所では目下ミシン、和服裁縫、幼兒部の三部を設け經營中であるが廿五日午前十時から社員倶樂部附屬演藝場に於て開所式を擧行すと因に毎日出所する者ミシン部廿五名、和服九名幼兒部廿五名で漸次增加の見込である

馬賊と衝突し巡長殉職す

遼陽縣第五分局管內大東溝に頭目靠山の率ゆる十數名の馬賊潛伏中なりとの情報に接したる公安局では胡騎兵中隊長が部下廿名を從へ搜査に赴きたるに廿日城隍と衝突し交戰の結果、巡長巡警各一名が流彈に中つて殉職せる旨廿一日報告があつた

驛員家族會

遼陽驛員及び家族の大園遊會は廿六七の兩日に亘り開催の準備中、場所は白塔公園の豫定なるも雨天等の場合は他に變更する

課金審査會

遼陽公費區の課金につき異議申立の者あり廿二日午後一時から地方事務所會議室に於て審査會を開き審査する處があつた

本願寺納骨堂地鎭式

遼陽本願寺出張所では豫て計畫中の納骨堂を建設することゝなつたので之が地鎭式に併せて永代經法要と宗祖聖人の降誕會を執行し、鮮滿州本願寺主任寺本照觀師を聘して法話がある、因に廿三日から廿五日迄晝二回永代經法要、廿六日午後一時地鎭式、午後二時宗祖降誕會

驛傳競爭の加藤選手通過

我社驛傳競爭白班の加藤第二選手は廿一日午後二時下り急行で過遼北行したが、今回の競爭は白班が勝ちですよと意氣衝天の元氣振りであつた

軍人團懇親會

八十餘名の全國在鄕軍人團の一行が廿七日來遼、忠魂碑前に於て臨時招魂祭執行につき同日午後六時から第十六師團の主催で公會堂に於て駐劄軍の有志及び遼陽在鄕軍人其の他が懇親會を催すと

白だよ塔より

母國からの旅行團大に歡迎すべし滿蒙の紹介百聞は一見に如ず結構ではあるが尻端折つて男子と共に歩く女豪を見て路傍の苦力がどこの野蠻人かと云はぬばかり服裝だけは今少しく改めたらと

×小學校父兄會のバザーと喫茶店は初めての試みだけに瀧川校長以下相當案じて居たが結果は上々飛ぶ人氣忽ち賣切れ而し來年からは大規模にとは仰せられなかつた

貔子窩

驛傳豫想の投票熱旺盛

今回本社が催せる驛傳競爭所要時間豫想投票は一般讀者より非常の興味を以て迎へられ選手スタートを切るや何れも地圖と列車時刻表と首引き夜の更くるも知らずに研究する者等あり相當の成績を得らるゝものと見られてゐる

軍醫部長來貔

鈴木軍醫部長は二十一日零時三十四分着列車で視察の爲來貔

任巡捕の遺骸

二十一日到着

過般貔原にて不幸兇彈に斃れたる任巡捕の遺骸二十一日零時三十四分貔子窩驛着列車にて到着驛には峰岸署長外署員其他多數の出迎へを受け直に親戚知己に護られ實家貔子河會任家屯に向ふ

夾河廟の例祭

管內夾河廟會の夾河廟は効驗あらたかなる廟として遼陽の地迄知られ毎年の例祭には日に二三萬人の參拜者があるが本年は丁度二百五十年祭に當るので特に參詣者多く二十二日の中日には四五萬の人出ある模樣である

金州

金州大連間の道路擴張敷地

買收を終る

金州大連間の道路中金州城南門迄は九分九厘迄竣工せるを以て第二期擴張工事着手の必要上南門外より東門外を經て通ずる道路敷地を買收すべく民政署土地係及關東廳土木課協力の上交涉中であつたが此の程漸く買收を終つたが第一期工事終了次第直に着手する筈である

青年議員候補

滿洲青年聯盟金州支部に於ては青年議會議員候補者として望月正人兒玉貫一の兩君が立候補した

西田天香氏來金

京都鹿ケ谷一燈園主西田天香氏は來る二十七日午後七時五十一分着の急行にて奧地より來金の由

金州を目指して觀光見學團殺到

名所古刹新綠にはゆ

至る處新綠の麗かな金州を目差して遊山に見學に來金するものが近來非常に增加して日曜日の驛頭は繁雜を極めて來た、近くは聯合艦隊の士卒數千名士官學校生徒の一行、軍大學校の戰蹟見學團、三百十餘名より成る內地全國滿洲日日學團等々と次々に大小の遊山見學團が詰寄せて今年は早くも近來稀な盛況を呈して居るが、金州の名所としては日露戰役の戰蹟として人も知る南山乃木將軍の詩を聯想する金州城日清戰役當時探偵として不幸敵刃に倒れし藤崎、鐘崎、山崎の三烈士を祭れる三崎山地獄極樂の稱ある北門外の天齊廟乃木將軍の愛兒勝典大尉が悲壯な最期を遂げたる八里庄戰死の場所海拔二千二百尺關東州一を誇り

風光明媚にして關東州を一望に收め響水寺石鼓寺觀音閣寺の絶景の地に建設せる古寺名所は種々雜多にして觀光見學に州內唯一の價値を有する處である

青年修養講話

當地青年團に於ては西田天香氏來金を期として二十七日午後七時より民政支署樓上に於て修養講話を行ふ事になつたが天香氏來金は同夜七時五十二分の急行なるを以て同時間迄同人の修養を聽き終つて天香氏の講話に移る筈である

て講演と活動寫眞會を催す由會費は二十錢位を徵する豫定と

鐵嶺

寄附金を着服す

四國靈場太山寺の寄附金を仰ぐ怪婦人

四國の靈場八十八ヶ所のうち五十二番太山寺の仁王門大修繕の寄附と稱し怪しい二人連れの女が市中各方面で三圓から一圓位の寄附金を集め取調べられてゐる事は既報したが最初は口を緘して容易に事實を吐かず飽くまで强情を張つてゐたが遂に包み切れず寄附金臺帳は破棄し金は袂の裏に縫込んでゐた事が判明した而も其中立は原籍長崎市稻佐町一丁目當時奉天八幡町一丁目無職竹村ミドリ(四二)、原籍大分市荷揚町當時大連市信濃町九〇無職橋本スキ(二二)と稱したるも右照會の結果居住の事實なく住所氏名までも僞り各地同一手段で寄附金を集め着服して居る模樣があり引續き取調べ中である

商工議員會

當地商工會議所では來る廿四日午後三時より同所樓上に於て議員會を開催す附議事項左の如し

一、昭和三年度決算報告
二、總會開催に關する件
三、昭和四年度更正豫算の件
四、特別議員推薦の件(以上)

輸入組合役員改選

廿日定時總會

鐵嶺輸入組合では二十日午後一時より商議樓上に於て定時總會を開催し役員改選の結果監事二名末廣榮二、橋本勝藏、評議員八名松崎義潛、田中年廷、加藤捨次郎、加藤正次郎、德本延藏、中瀨丑三郎、松岡佐右衛門、松田三之助の諸氏當選した、尚本年度の決算は左の如く示された

當期總收入金　六、二七八、六九
當期總支出金　六、〇三三、三九
純利益金　二四五、三〇

利益金の處分左の如し

缺損補塡積立金　一九五、三〇
職員退職慰勞基金　五〇、〇〇

因に現在の組合員は五十一名に達してゐる

寄附電話申込

當地郵便局では來る六月一日より八日までを期間とし昭和四年度の寄附電話架設の申込受付を開始する由なるが從來の寄附電話は申込料二百圓を要したが今回は其土地の狀況によつて差等を設け鐵嶺などは不況の地として充分考慮した結果架設費百二十圓と登記料十五圓合計百三十五圓にて架設し得る事とされた、申込順によつて六月末までには全部架設される筈につき希望者は期間內と雖も至急に申込まれたしと

支那人等に逃げらる

宿屋で人質

公主嶺中華電影公司では昌圖城內に於て活動寫眞興行を催ふすべく支配人佐々木國竹、社長(支那人)外一名が出張映畫公開をしたが自動車公司の妨害や降雨の爲め收入無く宿料の支拂にも窮した爲め社長と一行の支那人は映寫機を携へて密かに逃走し支配人の佐々木のみ宿主から人質として抑留せられ遂に宿主から告訴して佐々木は嚴重な監視を受け殆ど監禁にひとしい取扱ひを受けてゐたが駐在巡査の取計らひて十八日漸く釋放された

献立表に名所舊蹟を印刷

新築開業せる奉天ヤマトホテルでは日日使用する献立表の一部に奉天附近の名所舊蹟を印刷し勝地宣傳の方法とすべく鐵嶺には龍首山馬蜂溝白塔等が名所として相應しく宣傳援助の意味に於て有志より右の寫眞(なるべくなれば原版を希望)一葉宛の寄贈を鐵嶺驛を通じて申込んで來た、若し右名所で宣傳資料に相應はしい寫眞を所有する人は驛まで御寄贈を願ふと、因にヤマトホテルでは右の寫眞を献立表一枚に一ケ所宛を入れ繪葉書として汎く使用されるやうにする計畫であると

海軍記念祝賀

在滿海軍出身者を以て組織する二七倶樂部では來る二十七日が第二十五回の記念日に相當するを以て大いに祝賀の意を表し且つ此好機に充分海軍思想を一般に普及せんと計畫し當日夜公會堂を會場として

今日の內(廿三日)

◇狂犬病豫防注射　午前十時より三時まで公會堂前に於て施行される鐵嶺市內に於ける注射は本日を以て最終とするにつき未だ注射を受けない畜犬は本日中に連行されたしと

◇公會堂の活動寫眞　今明二晩マキノ映畫春季大會として水戸黄門東海道漫遊記十卷、現代劇獸人八卷、暗涙十二卷を上映入場料は大人六十錢軍人三十錢小人二十錢

◇黑田大藏次官一行　午後六時二十一分着列車にて通過南行すと

鐵嶺漫筆

本社主催滿蒙十五驛傳競爭の豫想時間投票は十九日以來頓に白熱化し鐵道方面では各員が細密な計算と透徹した頭腦を絞つて走破する選手と智惠較べ▲市中では本紙刷込みの時間表を基礎として盛に線を引いて時間を割出してゐる、投票締切りが二十五日だから其朝の新聞が最後の運命を定める日だと言つてゐる▲豫想は各人思ひ〳〵の時間を割出てゐるが只一つ萬人の頭が一致したもの一つあり曰くオートバイ▲氣早な連中は操縱の方法を研究してゐる者もある▲滑稽なやうだが何れも眞顔でやつてるんだから面白い▲中には俺の思ふ通りに選手が走つて呉れたらナアなんて腹を減らすものもある▲それでも豫想計算だけはコクメイに研究してゐる

映畫『金剛呪門』沿線各地で巡映

廿八日長春を振り出しに本社の讀者映畫會

本紙連載中の山中峰太郎氏作「金剛呪門」は讀者の興味の中心となり好評を博しつゝあるが、これを元東亞の幹部武井龍三が獨立した最初の作品として映畫化し前後篇十六卷に製作し旅大に於て本社主催の下に公開し大喝采を博したに續き沿線各地に於て巡映すべく計畫中であつたが、愈々大體左の如き日程により北滿より漸次南下して讀者の期待裡に公開することになつた、讀者に限り各地ともに優待觀覽することになつてゐる、詳細は順次發表することにした

地名	日程
長春	五月廿八、九、卅日
范家屯	五月卅一日
哈爾賓	六月一、二日
吉林	六月四日
公主嶺	六月五日
四平街	六月六、七日

旅順

籠城記念追悼會プログラム決る

ネストル大僧正も參列して二十六日旅順で擧行

日露戰爭當時の旅順籠城生存者並に各關係露人によつて來る二十六日、旅順露國墓地で籠城二十五年記念追悼會を營まれる事は既報の通りであるが、そのプログラムは左の如く決定した

▲二十五日　追悼會參加者到着、正午まで在旅日本官憲へ挨拶、旅順攻圍戰參加日本軍人訪問、午後其地を檢分し追悼會擧行の準備

▲二十六日　午前十時露國墓地に於て花環棒呈、並に鎭魂祭、同十一時より十一時半まで日本墓地に於て同上、正午より零時半まで「コンドラテンコ」將軍の鎭魂祈禱式を行ひ第十一堡壘に於て「マカロフ」提督の鎭魂祈禱式、關係者へ謝辭申入、旅順出發

なほ列席者は滿洲里、哈爾賓、ボクラニチナヤ、天津、上海、大連、その他より生存者十七名、關係者十六名、僧侶、擧手二十三名計五十六名で滿鐵囑託で帝政時代の陸軍大將ミハイル、ワシーリウイチハンジン氏が司會者となり、僧侶としては哈爾賓よりネストル大僧正が來る筈である

海軍記念日に盛大な催し

來る二十七日は海軍記念日に當るので要港のお膝下なる旅順では市役所と海軍協會とが合同主催の下に一般市民に對し此の極めて意義ある記念日に際し二十五年前の日本海大海戰の思出を新たにさせんが爲め當日は午後一時市內數ケ所に、東鄉提督の發した有名な「皇國の興廢此の一戰に在り」云々の名信號Zの信號旗を掲揚し同時に三發の花火を合圖に白玉山上よりサイレンを鳴らし、一般工場も汽笛を鳴らして之に和し、此の日本國民にとりて忘るべからざる日の感銘を一層深からしめる計畫である

海軍記念日

小學生に講演

來る二十七日は海軍記念日であるが當日旅順第一小學校では第九驅逐隊將校を招聘し四年生以上の生徒四百三十名に對し午前八時十五分より約一時間、講堂に於て「日本海々戰の情況」および「國民の覺悟」に就き講話をなし、同第二小學校では三年以上の生徒四百名に對し同時刻に「列強海軍の現況」並に「軍縮と海軍」に就いての講話を行ふ筈であると

工大選手出發

對滿洲醫科大學との陸上運動競技に出場する旅順工科大學選手は既報の通り二十二日夜出發、赴奉したが同大學々生應援團は二十一日夜、白鉢卷に應援旗を振り太鼓を先頭に應援歌を歌ひながら市中を練り歩き必勝の意氣を示した

鞍山

猩紅熱の豫防注射

鞍山警察署衛生係では二十八日より六月二日まで六日間に亘り大連衛生研究所安藤博士を聘し猩紅熱豫防注射を行はれるが其の日割及び場所は次の通りである

△二十八、二十九日　中學校生徒全員同校に於て
△三十、三十一日　小學校生徒全員同
△六月一日、二日　市內一般人消防隊にて

狂犬豫防注射

鞍山警察署衞生係では狂犬病豫防注射を左記日割を以て施行するから愛犬者は全部接種されたしと

二十四日　市內鐵東一般消防隊
二十五日　鐵西全部、北六番派出所及び商務會事務所
二十七日　櫻桃園立山各派出所
二十八日　大孤山同派出所
二十九日　千山湯崗子各派出所

梅根課長歸鞍

鞍山製鐵所製造課長梅根常三郎氏は歐洲視察より既報の如く歸鞍し二十一日午前十時より諸官衙及び市中有志を歷訪し挨拶した

吉井領事歸遼

遼陽吉井領事は二十一日午前十時四分着列車で來鞍し地方事務所警察署を訪問し午後三時五十五分に歸遼した

鈴木三郎助氏

味の素會社々長鈴木三郎助氏は二十一日午後一時三十九分着列車で大連より來鞍製鐵所其他を視察の上午後五時湯崗子に向ひ出發した

衛生宣傳映畫

鞍山警察署及び衛生係では六月六日午後六時より消防隊橫廣場に於て夏季傳染病豫防宣傳活動寫眞會を開催し衛生宣傳映畫其他餘興等ある筈である

營口

娘々祭に露店

來る廿五、六、七日の大石橋娘々廟祭に當地の平本洋行、須田商行、近江洋行、菊屋、榮德軒、進商行、田口商店、山仕洋行、回天堂、貿易公司、東亞煙草販賣所等の各商店は景品付の露店販賣をなす筈である

弔魂團來營

安藤中將引率の在鄕軍人弔魂團は來る二十九日午前五時半着營旭公園內の忠魂碑に參拜し同十一時發にて離營南行すると

支那飛機飛來

二十二日午前十時營口から奉天海軍所屬の小形水上飛行機飛來したるが右は試驗飛行の爲來れるものにて二週間位にして同島に歸航すると

山本氏送別會

前電話局長山本太三郎氏の爲に二十日夜武藏野に於て送別會協會來會者三十餘名盛會であつた

文藝

新劇の危機
―（滿洲に素人劇出でよ）―
青木實

（一）

日本に於ける新劇運動は、その當初より今日に至るまで多難多事の歴史であつた。其の魁として明治四十二年十一月、小山內薰、市川左團次兩名が協力して起した自由劇場で、イプセンの「ボルクマン」を以て一部知識階級に所謂善人惡人からなる常識的な新派劇でない、新劇を紹介した。

新劇運動とは、すでに前世紀の遺物となつた歌舞伎劇でない。新派劇でない、寧ろ其れらの古典的存在に對する反抗であり革命である。其れら時代錯誤的存在以上にもつともつと我々の個人生活乃至社會的生活の總ゆる種々相を最も藝術的に最も現實的に表現する藝術的な演劇、即ち新劇を育成し同時に社會に普及せしめる運動を云ふのと思ふ。

自由劇場に續いて坪內逍遙氏組織するところの文藝協會は、自由劇場が新劇の研究的演出引いては其の小劇場的存在から一部知識階級を觀客としたに對し、より大衆を目標として、セクスピヤの「ハムレツト」を公演した。

然るに、自由劇場も文藝協會も何回かの公演を濟まし、日本新劇の先驅者としての使命基礎を遺すと解散してしまつた。其の後、藝術座、無名會、近代劇協會、舞臺協會等起つたが、その何れもが永續せず今日では解散してゐる。

（二）

而らば、何故其れ等が萬古不滅の存在を保たなかつたか？そこには幾つかの原因がある、その二、三を列記してみるに、

一、は封建時代より傳統した、歌舞伎劇が根強く日本民族に食ひ入つてゐるところへ、突然の歌舞伎劇に對する革命的運動であつたことにある。

一、は大衆に呼びかける力に負けてゐたことにある。演劇には元來單なる娛樂としての劇と、觀客に對して何かを考へさせる劇と―即ち觀客各自の生活に平行してゐる劇、新劇との大別して其の二種に別れると思ふ。自由劇場はその後者にして、而も尚演劇の研究室に立ち籠つて「考へさせる劇」を研究的に上演した。その俳優は、左團次を始めとして總て本業の飯の種である歌舞伎劇を演じつゝある人々であつた故に彼らの新劇に對する態度は、單なる新しい劇に付いての試みにすぎなかつた。そしてその試みであると云ふ意識が常に彼らの頭にあつた。だから新劇を以て演劇の正道とはせず、時々の試みから出でなかつたから一般大衆に何ら呼びかけるところなく、まして歌舞伎劇の觀客を新劇を理解するまで導くなぞといふことはなかつた、それが大きな缺陷となつて、遂に自由劇場の衰滅を來した。

その原因として言へば、その劇團が小劇場的存在であらうと大劇場的存在であらうと、常にその時代の大衆の只中に進出して行かなければならない。即ち演劇の研究室に閉ぢ籠つてゐることは、そこから出やうともがかないことには消極的に劇團を衰滅させる。

一、は劇團內部に於ける組織不統一である。一例を文藝協會にみるに、創立者坪內逍遙は演劇は一般大衆のものであるとの自覺から大衆を觀客とすべく意識し行動した。故に自由劇場がイプセンの所謂問題劇を上演したに反して、叙事的な「ハムレツト」を先づ公演した。其の後何回かの公演に於ても絶えず大衆に接近すべく努力した。然しそう心掛けることはやゝもすれば通俗的にみられ易いのである。それは、文藝協會內部に於ける、若い一部の急進者に飽きたらなかつた。遂にそれが文藝協會解散の蔭にかくれた大きな原因となつた。直接の原因としては、島村抱月と女優松井須磨子との戀愛事件であつた。第六回公演、セクスピヤの「ジュリアス、シーザー」がその最後であつた。

一、には單なる經濟上の問題である。新劇運動は目的が實驗、運動なるが故に、俗衆に媚やうとしない、又時代に逆に棹さすことも運動なるが故に敢行する。常に、新劇團を萎縮せしむるものは經濟上の問題である。

一、は人氣俳優一人立主義の不可である。これは、遠くを探さずとも最近澤田正二郎を失つた新國劇がある先例としては、松井須磨子の自殺に依る藝術座の解散がある。

新劇團の永續しなかつた原因としては、大體以上に盡きると思ふ。

（三）

此處に今一つ問題がある。それは劇團內部の不統一から發生する感情上の問題である。元來劇には均整のとれた美、いへばハーモニーの美といつたものが重んぜられる。それは今後の劇に於ては恐らく最も重要性を含んだものとなると思ふ。その場合內部に感情上の問題があると、一つ舞臺で芝居をしてゐても、妙に、ちぐはぐな、間の抜けた感じを觀客に與へる。殊にゴーリキイの「どん底」なぞは、登場人物各人が、それぞれ主役であり全體としての陰慘などん底生活の氣分を表すには各人が勝手に芝居をしてはならない。丁度オオケストラの樂器が指揮棒一つの動きで、ダニウズの漣みを奏でるやうに、演出者の指揮に統一されて、劇全體としての氣分を織り出さなければならないと同一である。

現在日本には、築地小劇場、心座、新劇協會、新興劇、藝術座、左翼劇場、喜劇座等がある。此の外群小無數にあるらしいが、何れもが線香花火式存在に過ぎない。右の內でも、藝術座は、水谷八重子、令兄水谷竹紫の創立するところであるが、松竹に水谷八重子が買はれて、どうやら解散したらしい。

新國劇は大統領澤田正二郎を失つて其の存在を危ぶまれたが、行友李風作「澤田正二郎の死」一幕三場及び他に一、二、上演しつゝ旅興行に出てゐる。自分の讀んでみたところでは行友氏の作は、澤田正二郎の死を多少誇張して芝居にしたもので、ただそれだけのものであるらしい。

新國劇の命脈は、多數者の見るところでは今後せいぜい一年だそうである。即ち澤田が生前且て旅して歩いた足跡を澤田正二郎追悼公演を爲しつゝ巡回すると丁度一年かゝるそうである。それが新國劇命脈今後一年說の出た理由であるが、どうやらこれは惡口らしいが、馬鹿に出來ない惡口である。

然し金井謹之助が澤田の死を聞いて復歸したそうだし、內部の統一も俵藤丈夫に依つてつき、今後俵藤主事が劇團の絕對權を握つたそうだしするから、案外しつかり歩み出すかも知れぬ。何んと言つても多難であるには違ひない（未完）

滿洲美術展覽會

滿洲美術家協會は第一回展覽會を廿四日から五日間三越で開催するが同會は滿洲に於て初めて出來た完全なる全滿美術家の大同團結で朝鮮に於ける兩總督主催の鮮展臺展に匹敵すべき展覽會であるため全會員は何れも此の晴の舞臺に自分の作品を發表するため全力を注いだ力作を搬入してゐる（寫眞は谷山靜生氏作金魚を配したる靜物）

文豪肉筆原稿
競賣大盛況

【ニューヨーク發聯合】最近當地ジエローム、カーン氏のオークシヨンで文豪肉筆原稿及び初版物の競賣が行はれたが每度の事ながら何時も大盛況を呈して居る、今珍しいものを擧げると次の樣なもので夫々左の如き高價で賣却された

ロード、バイロン、ドン、フアン四萬圓、ダニエル、デフオーロビンソンクルソー二萬三千圓

チャールス、デツケンズ、二都物語二萬五百圓、チャールス、デツケンズ、オリバー、トイスト一萬七千圓、ジョセフ、コンランド、アンダー、ウエスターン、アイズ一萬五千圓

女性のもつ力
今井寂光

○

私は盡くることなき女性の力を感じ且つ信ずる。或印度の詩人は「女は散文であり女は詩である」と云つた。女は女自身すでに詩であるその美しさに於いて、その謎夢的な情操に於て、その幻想的な思惟に於て。

○

昔から女性の力は多くの人々によつて感ぜられ讃へられて來た。母親は子供の神である。娘は青年の灯である。妻は夫の幸福の源である。そうして祖母の笑顔は萬人の慰安の泉である。昔から斯樣な美はしい言葉で讃られた女性への力を私は些かも疑ふ氣にはなれない。少くも自分が靜かな素直な平かな心持で女性の姿を思ふて見る時、其處に限りない力を感じないでは居られない。生活の廣野に日光の樣に靜かに明るくそして限りなく降り灌いでゐる女性の力を感じないでは居られない。或人がこの女性の力を太陽の力に譬へ又大洋の姿になぞらへた。大平の如くおほらかで又その何れものやうに神秘で無限で無盡藏な生産の可能に輝いてゐるといふのである。かやうな讃め方も決して過褒に當らないと私は思ふ。

◎

併しこの女性の眞の力は如何なる婦人によつてもすべて同樣に充分に發揮されてゐるといふ譯に行かない。遺憾なことには個々の婦人によつて異る。それは女性の力は「女性の眞の生命の成長から發現する力だからである。女性そのものが本然の女性として育つた場合、女性そのもの丶本來の生活が營んだ場合、始めて發現し發揮される力だからである。

○

然らば女性本然の生命を生かし女性本來の生活を營むとはどういふ事であらうか。眞に已の心身中に種蒔かれてあるところの女性そのもの丶心を自由に解放し生かす事である。先づ「人らしく」なることに努めなくてはならん。私はこの意味でイプセンのノラが「先づ自分自身を教育しなくてはならない」といつて愛する夫と子を捨て丶家出した心持を尊敬する。人の奴隷とならず人の頤使の儘に動かず或は自分よりも極度に大きさうに見ゆるものに賴らうとしないことである。子供を子供以上に育て夫を夫以上に昂揚せしめ、萬人を萬人に向上せしめるのが女性の力なのである。女性そのものが一個の獨立した人格として成長し生活する時、始めてそこに限りない女性の惠みが社會を明るくするのである。

○

我々の周圍の今日の婦人たちは果してこの女性の力を充分に發揮して居るであらうか。我々の今日の時代は此の無限無盡の可能に輝く女性の力に充分に惠まれて居るであらうか。私は現代の婦人達が不誠實だと思はない。私は只彼の女たちの誠實や勤勉や努力しつゝあるといふことを感じ信ずる。然し彼女たちの誠實勤勉努力は殆ど皆奴隸的寄生蟲的であるまいか。私は現代の日本の若き女性に對して人形の境涯を去り人間に還れといふ。

○

女性よ美しくあれ。しかしながらかの女は蛇のごとく賢くあらねばならぬ、モンナ、リザの唇にたゝへられた微笑の神秘さと、かの女の瞳にかゞやいてゐる叡智とをもつて私たちの生活にさらに深い落着きをあたへてくれなければならぬ。瀟洒な姿で幸福な街を步いてゐる女性たちよ、ベートウヱンの音樂に聽きとれてゐる都市の女性たちよダンスホールに浮かれ男の胸に抱かれて踊り狂つてゐる女性たちよ。北海道の雪の中に馬鈴薯を作つてゐる男のある事を思へ。工場町の正午ごろを步いてゐる青ぶくれした少年工のことを想へ。女性の鋭い感受性と、鳩のやうな愛撫と蛇の樣な叡智とによつて爲さなければならぬ仕事は幾らも殘つてゐる。

○

女性たちよ「人生は幸福のために存在してゐるものではない」叡智をさらに深くせよ。そうして靜かに人間の苦みについて考へよ。苦みに對して感謝せよ。眞に賢き女性は人生を哲學的に考ふる女、そうしてすべての人間的な苦みを靜かに靜かに愛撫する女、それこそ「人類の財寶であり慰めである」

錢甑を破る
深山雪路

じめじめした濕し場の黴見たいに灰色の鈍痛が頭を重たくし、顳顬を嗚み鳴らさした。

其れは憂鬱な柔毛の雨が降り續いて、何時になつたら快となる樣な陽の日を見る事が出來るか判らない日であつた。

彼女は苛々して六疊の部屋を歩き廻つた。

其は彼女の白靴が、郊外の赤土で汚れる爲め、外出を億劫がらしたものでもなければ、泥濘除のないタクシーが、薄絹のスカートをまくり、おまけに泥まで跳ねか行く事を厭た爲でもなかつた。

夕闇が迫ると、乳色に光る雨脚を透して、彼方の奥に街の灯が赤くぼんやり暈つてゐるのを見てはなほ一層無者苦者とするのであつた。――彼女の惱みは、こうした日の六疊の檻に、ぐるぐると廻る獅子の樣に――苛々と足摺りをした錢壺の中に葉書を搾つと差し込んで、中の銀貨だけを抜き取らうと焦つてゐる彼女だつた。

彼女は壺を打ち振り打ち振り、その淋しい錢の音を聞いた。銀貨の觸れ合ふ音を壺の中に聞いた。

――打破つてしまつたら。

壺は駄菓子屋のおばさんが、小ちやい鋭ちやんのお手々に、アイスケーキを握らしたが爲に頂いた一錢銅貨を投り込む錢壺と一緒のものでしかないのである。

――破けた戀は、メロンの畑で、戀くづの中にどろを擲かけられてゐる鈍色の油粕入でしかなかつた錢壺――彼女は彼女の戀が赤いポスト型の貯金壺の樣に、今少し明るいものであつた方がよかつたにと後悔し初めた。

――自分で取り出したい時には勝手に自分が持つてる鍵で開ける事の出來る貯金壺の方がより近代的だと思ひ初めた。

例令その壺の中には、思ひがけない破綻や、危殆？の爲に用意されてあるべき錢が一文だつて無くなつてしまはうと、その氣輕さ、自由さを喜ぶ風だつた。

そして毎日毎日雨に降り込められて、心にもなく六疊の部屋で苛立たしい戀の文屋を初めた。

其處には、封緘をしない、表書を故意男文字に眞似た藍色の封筒とレターペーパーが、キヤビネ型ほどに折疊んだのが机の上に置いてあつた。

亞鉛葺の鷄小屋では、身を慄はし乍ら、汚ない糞を踏み付けて、濡れた毛に首を突込んで羽虫を取つてゐる三羽の白色レグホンの鷄の音が一層彼女に淋しく響いて來た。

旅の饒舌
敎專江南旅行團

蘇州の空氣 (5)

町で會つた小學生が、懐しさを一ぱいにたゝよはして帽子をとる。日本人小學校には全部で十九人ゐるさうだ。僕はこんな親い感激で「日本人だ」と云ふ意識を痛感した事がない。上海からたつた二時間、こんな所にこんな純情に滿ちた靜かな感激を見出さうとは。

× × ×

夕方である。城壁の緣を縫つて流れる運河が靜かな落陽に暮れてゐる。

「アノネー」

「アノネー」

とてもその聲が可愛いゝ。ふりかへつて見ると小さな驢馬曳きである。何か盛んにつぶやく。汚れた純情の指、その指す方を見ればもう散つた後の櫻をなつかしんで並木の下を散策する同輩の二三。砂の擧天では散つた櫻も懷しい。「友達がゐるよ」とでも敎へてくれてるらしい。その聲がとても懷しく可愛かつたよ。

× × ×

蘇州の一夜を靜かに育んでくれた繁昌屋。そこの小母さんと可愛い娘タカコちやん。タカコちやんは今年十三だ。一緒に話してると旅だと云ふ樣な感じが毛頭起らない。他人行儀をふりまくにはあまりに親みやすい小母さんであり、そして又そのくるつかせる瞳のあまりに明る過ぎるタカコちやんである。

「六年生はたつた二人ツきりよ。私と輝ちやんと」

「えゝ、やつぱり淋しい、たつた二人なんですもの。兄ちやんが來てくれたら嬉しいけれどねえ、ねえ兄ちやん、來てくれない？そしてタカコの先生になつてくれない？」

「兄ちやんが先生になつたら、あたしよく云ふ事を聞くわ。お掃除もよくすることよ」

「そしてきつと稅田先生が喜ぶわ。たつた一人なんですもの」

こんな淋しい靜かな所で育つたとは思はれない近代的な明るさと輝きとをたゝえて齒切れのいゝ純さで口を動かす。タカコちやんは無精に可愛いゝ娘である。だけどねえ、タカコちやん。兄ちやんはやつぱりタカコちやんの先生にはなれないよ。そのわけは、ね、兄ちやんは兄ちやんから先生に變りたくないから、わからない？兄ちやんはね、何時までも何時までもタカコちやんの仲のいゝ兄ちやんでゐたいからだよ。

「西岡先生はお達者でせうね」大好きな小母さんとの饒舌がかなり續いたあとで、小母さんの口から飛び出した豫期しない質問である。

「西岡先生？」

「あのお爺さんの？」

だけど僕のこの不審は見事に解決されるにあまりに多くの時間を要しなかつた。直あとで聞いた話だ。あの滿洲での天文學のオーソリテイー、吾等の西岡先生は、未だあのお得意の髯が小さく顏の皮膚に收まつてゐた壯年の頃この蘇州の地まで御發展になつて花をお咲かしになつたんだつて。敬愛する西岡先生と親愛する繁昌屋の小母さんとの間に、しかもこの水の都靜諡の古都蘇州で紅いローマンスがあつたと聞けば、蘇州は愈々なつかしい。小母さんは益々親しい。

まして西岡先生は……。

さう聞けば「西岡先生は？」と云つた時の小母さんの五十の顏面を流れた血液の躍動を想ひ出せる樣な氣もする。たとひ十九世紀の血潮でも胸を焦がす想ひの紅さに變りはない。僕は嬉しい。

× × ×

蘇州の空氣はどこまでもはれやかだ。

蘇州の空氣はどこまでもなつかしい。

リチャード・タルマツヂ氏が愛用する鳥打帽子

現今、登山やスポーツ熱が全國に非常な勢ひで流行し、それに連れて登山やスポーツに最も適した鳥打帽子を被るものが益々ふへて今や一般普遍的になつて來たのも必然の勢ひである、米國映畫界の新進リチャード・タルマッヂ氏等は鳥打帽子の禮讚者として、最も有名である氏は年中鳥打帽子以外の帽子を被らぬ人である氏曰く「常に繁劇な都會生活には鳥打帽子に限る汽車電車や自動車に乘つた時如何に車體が動搖しても變がないから窓際や他人に突き當ることなく船の甲板やビルデイングの屋上にある時は如何に強い風が吹くさ脫げず、最も活動を要する現代人の常用帽子としては鳥打帽子に優るものはない又雨降りや夜の外出や散步に太陽の鑛でもゐないのに椽のついた重苦しい帽子を被つていかにもゼンツルマンめかして歩いてゐるほど恰好な姿はない現時歐米諸外國においても旅行する時には私等のトランクの中には一個の鳥打帽子が必ず入つてゐる、又雨降りの日さ、夜の外出には鳥打帽子を被つて居らぬものは現代紳士ではないそうである―さ、其れが爲めか今日我國に於てもキネマ界の人々や運動好な現代紳士が盛に鳥打帽子を被るので今春來何處の帽子小賣店に於ても鳥打帽子の賣行は非常によく、今やほさんど賣切てゐる、この流行は都會より漸次各地方に及びつゝあるので近來鳥打帽子を被る人が益々ふへて來たのも近代流行の一つである。

（寫眞タルマツヂ氏）

大人氣を集めて開かれた獨唱會
昨夜協和會館は一杯の聽衆
「藤原義江の夕」

日本がもつ第一のテナー、殊にメランコリツクな民謠風の小品では他の追從を許さぬ藤原義江氏の獨唱會は、昨二十二日午後七時半本社主催のもとに滿鐵協和會館に於て催された。

この宵　月まどらか「藤原義江の夕」はすばらしく惠まれ開會迄には大ホール階上、階下ぎつしりと詰り、かけねのないところ千三百人と云ふ聽衆、きゝ耳たてつまだちして聽くと云つた賑やかさ、これは一つには藤原義江氏がアルバート、ホールに出演して世界的名聲を擧げたと云ふこと、もう一つは、愛人問題等が手傳つて？この宵の人氣を集めたものであらう。いづれにしても最近の大入りレコードであつた、軈て七時半となるや長身痩軀、黑のイヴニングドレスを着込んだ藤原氏は、メデウエデフ夫人のピアノ伴奏のもとにグルツク作「詠嘆」から唄ひはじめる聲に

少しく　旅疲れの氣味も見えてゐたがビゼー作の「祈禱」がメ夫人、村岡氏等のピアノ、ゴルドン氏のバイオリン伴奏によつて唄ひ出されるあたりから次第にはずみ、かくして曲目がお馴染の「沖のかもめ」あたりのポピラーなものになるとやすく\と唄ひこなし、聽衆も拍手を送ると云つたやうに、日本の曲目に入つてからは一層聽衆は聽き惚る、前半西洋ものはメ夫人の伴奏であつたが、日本ものになつて村岡樂童氏伴奏となる

日本物　では詠嘆調の「出船」等は力が入つてゐた、それから市民おなじみの「五月祭」が終るやアンコールが場內より湧き起ると再び現れお得意であり又有名である「からたちの花」となりこれはこの夜の頂點であつた。この前後重要物產書記長照井氏令孃恭子さんが美しい花束を抱へて舞臺に現れ、これを今宵の唄ひ手に贈る。いよく最後となつてシャリアピン編曲「ヴオルガの船頭唄」となる、豪宕なシャリアピンのヴオルガの船頭唄に對比してこれは又すばらしい纖細なものであつた

かくて　惠まれた藤原義江の夕は、美しくも亦樂しく午後九時四十分はてた。尙同氏はこの二十九日開かれる東京(歌舞伎座)の獨唱出演の爲め今二十三日出帆のうらる丸にて大連を立つと

盛儀を極めた川原議長の葬儀
黑田侍從、御下賜品を傳達す

【東京二十二日發電】故衆議院議長川原茂輔氏の葬儀は二十二日正午から日比谷議長官舍にて行はれ午後一時黑田侍從は特に靈前に進み燒香し祭粢料、御下賜品等を傳達した、參列者は田中首相以下千五百名に達し盛儀を極めた

大蓮寺で追悼會
きのふ嚴肅に行はる

衆議院議長川原茂輔氏の大連に於ける追悼會は昨二十二日午後四時より春日町大蓮寺に於て催された集つた人々は縣人會を中心として約五十名、佛壇前には山本滿鐵社長、山崎滿日社長、佐賀縣人會、伊萬里同鄕人會よりの花輪が置かれ軈て四時半頃となるや讀經がはじまり、それが終ると發起人を代表して津上善七氏の追悼の辭ありそれに引きつゞき伊萬里同鄕人會を代表して山崎平吉氏の追悼辭、次いで縣人會代表辻豐太郎氏の追悼の辭と福田勝四郎氏の追悼詩を讀詠しそれ等が終ると燒香の式となり、藤井滿鐵秘書役をはじめ立川雲平氏等順次燒香して午後五時追悼會は終つた

故川原茂輔氏追悼會(二十二日大蓮寺で)

星ケ浦水族館
今日から開館

星ケ浦水族館は每年五月一日開館となつてゐたが、本年は潮流の關係で漁撈が遲れたゝめ二十三日より開館することゝなつた、尙本年は海水魚、淡水魚は勿論その他珍魚、海獸をも取揃へる模樣であるから一般觀覽者には非常に歡迎を受けるであらうと

今年から八校で兒童診療を行ふ
滿鐵の沿線各小學校

滿鐵衞生課では昨年十月より鞍山、遼陽、奉天、長春、撫順、安東の六小學校に學校診療所を設置し兒童の健康增進を圖ることゝなつたが、第一年度に於ける六校全兒童一萬五百六十四名中齒科は

治療を　要する者が六千五百名餘で乳齒の拔去や齲齒の完全なる處置をした者が七百名でこれ等は今後十數年間は再發の怖れなく健全を保持し得る筈である、殘りの患者は本年度引續き治療をなしつゝあるが更に眼科はトラホームが六校で一千六百名、これを完全に治療することは至難であるだけ全治者の實數は未だ調査濟みに至つてないが、必要に應じて

專門醫　にかけるとかその他の方法で萬全を期し處置してゐる、而して本年度からは撫順、奉天に更に一校宛二校を增し八校に對して學校診療を開始することゝなつてゐる

周義公社會葬

周義公社會葬は二十二日家族のみの燒香あり今二十三日は約一萬人の人々が集り一般の燒香を行ひ二十四日に葬列が行はれるが此の時に支那名士も大分集まる模樣である

汽船に衝突 戎克沈沒
船員三名重傷

大連に於て鮮魚賣買の上山東省登州府長山島に歸る途中の戎克は濃霧の爲天津より來連中の大阪商船盛京丸(船長志水淸造氏)と廿二日早朝老虎灘沖で衝突、眞二つに折られ乘組員李炳長(六四)李信安(二五)李金桂(二一)は盛京丸に救助せられたが、頭部手足等に重傷を負ひ目下水上署にて保護中

日露役直後西通りに建つたジャパン製の倭屋
「湯たんぽ屋」等の珍談を遺して愈よ取毀される

○…當局から取毀し改築を命ぜられた西通電車線路に沿ふ北側六十八番地一帶のバラツク矮屋は最近順次取毀され、今は大連館易食堂の看板の揭げられた寫眞の一軒と其後方に二、三軒を殘すのみとなつたが、それも遠からず取毀はしの運命に迫られてゐる

○…これ等の矮屋は日露戰役後間もない三十九年乃至四十年ごろ建てられたもので、露國の設計した規模堂々たる現在の市街區劃道路に此の貧弱なバラツクの建つた當時は露西亞町および監部通り邊に建ち並んだ露國人や支那人の建築物に對比して寧ろ日本人の氣魄の低劣さを思はせたものである。

○…その後風紀取締の必要上、市中散在の小料理屋をこの邊一帶に集めたので西通は一時娘子軍の奮闘陣地と化し、空前絕後の「湯たんぽ屋」なるものが出來たりなど種々奇拔な珍談を遺したものだ。

○…此の一種の思ひ出深いバラツク矮屋も時勢の力には抗し得ず二十數年に亘る幾代かの居住者を送り迎へて遂に跡形なく取拂はれるのは、往時を懷しむ草分けの人々に取つては盡きせぬ名殘に感慨無量なるものがあらう

活動寫眞宣傳
遞信局の催し

遞信局では滿鐵沿線に左記日割に依り活動寫眞にて簡易保險、郵便年金及び郵便貯金の宣傳を行ふ由

六月一日夜本溪湖公會堂、二日夜橋頭倶樂部、三日夜連山關小學校

尙實寫物の處に年金劇「近郊夜話」四卷「晴れ行く空」四卷、貯金劇「新生」四卷、保健劇「甦生かた」四卷等である

旅順博物館の附屬動物園
十月までに完成
軈て滿蒙の動物許り集む

旅順博物館附屬動物園も着々工事が進んで現在では一萬圓の工費で周圍の鐵柵と、三千圓の工費で事務所、一萬圓の工費で水禽舍を各起工中であるが、水禽舍は直徑十間と1中央に池を設け噴水を備へ一方山を築きこれに白鳥、鷗、雁、鴛鴦等各種の

水禽を　飼ひ周圍を鐵骨とし金網を張るものである。なほ虎、豹等の猛獸を容れる檻も建築すべく來年十月までには全部完成の豫定であるが、現在飼育されてゐる動物は熊、狼、駱駝、狐、海豹、猿等の獸類と鷲、孔雀、黃鳥、磯鵯、七面鳥、金鷄鳥、ヤツガシラ、ヨシキリ、ツグミ、ヒタキ等四十種の鳥類である、この中孔雀の雄は昨秋腸炎を起し死亡したので雌三羽は非常に淋しがつてゐたが、內藤主事の

骨折り　で近く上海より婿さんを迎へる事になつた、內藤主事は「滿洲獨特の動物園として滿蒙の地域にのみ棲息する珍しい動物を主として集める方針である」と抱負を語つてゐた

萬國殖民、海洋博に滿鐵出品

白耳義では千九百三十年(來年)の獨立百年記念祭を機とし來年四月末より向ふ六ケ月間、首都アントワープで萬國殖民および海洋博覽會を開催する事になり關東廳および滿鐵にも出品方を勸誘して來たので、滿鐵側からは滿洲產の大豆およびその加工品並に之れ等の寫眞、模型、活動寫眞等を出品するに決したが、關東廳側では目下研究中である

日本大相撲
七日目の勝負

【東京廿二日發電】東京大相撲七日目勝負左の如し

岩木山(寄り切り)白岩
若常陸(打ちやり)劍岳
東關(つり出し)外ケ濱
出羽岳(踏み切り)幡瀨川
荒熊(突き倒し)大蛇山
太郎山(吊り出し)常陸岳
鏡岩(寄り切り)池田川
武藏山(首ひねり)寶川
星甲(寄り切り)信夫山
和歌島(寄り倒し)雷ノ峰
朝光(押し切り)新海
天龍(上手投げ)錦洋
玉錦(寄り倒し)清瀨川
豐國(吊り出し)山錦
常陸岩(寄り倒し)吉野山
玉碇(突き出し)能代潟
大ノ里(引き落し)古賀浦
若葉山(寄り倒し)宮城山
常ノ花(押し倒し)朝汐
(打ち出し六時三十分)

第八日目取組

【東京二十二日發電】日本大相撲八日目取組左の如し

若瀨川―清水川　東關―白岩
岩木山―若常陸　大潮―出羽岳
池田川―劍岳　朝光―幡瀨川
外ケ濱―常陸岳　荒熊―武藏山
大蛇山―星甲　古賀浦―雷ノ峰
常陸島―鏡岩　新海―信夫山
太郎山―朝汐　寶川―清瀨川
玉碇―天龍　山錦―若島
吉ノ山―豐國　能代潟―錦洋
若葉山―玉錦　常陸岩―常ノ花
宮城山―大ノ里

榊丸無電裝置變更

榊丸は二十三日から約三週間の豫定で定期檢査のため當地滿洲ドツクに入渠の豫定であるが、同船無線電信局では右入渠中從來の火花式無線裝置を眞空式に取替へることに決定し目下工事方準備中である

麗水氏の動靜

廿一日夜來連星ケ浦ホテルに二泊した遲塚麗水氏は、廿二日早朝旅順に赴き同地方の風物を觀察して金州に向ひ、沿線各地を巡遊した後再び來連し歸京の途につく豫定

晩霞氏歡迎俳談會

目下滯連中の畫家であり俳人である丸山晩霞氏を中心として、大連俳句會主催の俳談會を五月二十六日午後五時より中央公園西園亭に催す由、申込は市內山縣通三一大連俳句會、申込〆切五月二十五日持寄句「梨の花」三句、會費三圓(夕飯付)

ライト會社招宴

大阪市の佐藤ライト會社では廿二日午後六時星の家に市內廿餘軒の知名藥店々員を招待し第二回の懇親會を開き午後九時盛會裡に散會した

愛知縣人會

愛知縣人會にては二十六日午前十時より伏見臺配水地に於て家族會を開催し、子供競走、福引、[illegible]間連の餘興、支那手品等あり、多數來會を希望すと

小川家不幸

大連署高等係特務小川宣雄氏の二男潤二は豫て病氣中のところ二十二日午後一時四十分死去した、葬儀は二十三日午後四時西本願寺に於て執行

奬學會講演會

大連奬學會では會員のために二十三日午後三時半より大廣場小學校に於て大連第二中學校長の「新學校は何處へ行く」と題する教育講演會を開催すると

けふのラヂオ

昭和四年五月廿三日(木曜日)

一、午前十一時　相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
一、午後零時三十分　相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニユース
一、午後三時三十分　相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニユース
一、午後七時三十分
一、ニユース
二、支那語講座(簡易支那語)滿鐵興務課秩父固太郎
三、地唄(鶴ケ岡)箏、琴、唄扇永大勾當
四、長唄(伊勢音頭)「三絹會三田尻榎」唄菊次、同君香、同千代葉、同十八、同吉彌、三味線五郎、同三滿壽、同駒菊、同歌丸、同十九八、小鼓千代龍、同敏松、同八千代、大鼓三代茶、太鼓信千代、同市丸、擬鐘鬮香、同三千代、笛孝次、唄拵屋佐太郎、同拵屋六久、振付花柳輔鶴、鳴物望月太喜國、同阪東友三郎、笛阪東玄次
五、支那唱(定軍山)唱劉金順、師付王鋼泉
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

東京特選名人會
讀者優待割引券
(この券持參者に限一圓)
主催 滿洲日報社

本社懸賞當選小說

人生の曲藝（138）

（禁無斷上演）

瀨野皓太作
淺枝次朗畫

暴風雨

葉山百合子が東京劇場での事件は、翌日の新聞には一齊に報ぜられてゐた。もうその容體は、とても當分は舞臺に立つ事さへ出來ないであらうとも附け加へてあつたが、彼女を樂屋に訪れた早川の事に就いては、別に何も書いてはゐなかつたし、その卒倒の原因についても、いろ〳〵た臆測が述べられてはゐたが、どれも本當の彼女の心もちを知る筈はなかつたのであつた。

この報道は滿都の人達を少からず驚かした。中にも藤村子爵は、いつぞやの早川啓吉との興味ある會見以來、氣がかりでゐた彼女の事だけに、何となく暗い豫感を心の中に浮かばせたのであつた。

又、一再ならず早川啓吉の爲に警告を受けてゐた荒井博士も、この報道には吃驚させられたのであつた。

が、この騷ぎのうちにも、彼女は既に東海道を西へ走る列車內の人になつてゐた。

昨夜、劇場から丸の內ホテルに歸ると直に旅支度を調へたのではあつたが、彼女は漸くの事で八時の急行を捉へる事が出來た位であつた。

誰にも知らさないで、こつそりと、宛で逃れ出る樣に東京を立つたのであつた。東京の街から起る雜音も、さまざまな色や光も、彼女の此の旅行を思ひ止まらせる事は出來なかつた。彼女を惹きつける大きな力が前方に待つてゐて、そんな東京の誘惑などに耳も眼も向けさせなかつたのであつた。

思ひ立つたが最後、彼女の決心が鈍らないうちに、この思ひ切り不敵な計畫に、まつすぐに突進するのだ。さうだ、突進だ。出來る限りの勇氣をもつて、そして彼女の心に映る內村信策の幻を、護符にして、眼も閉ち、口も噤いで哈爾賓へさして、まつしぐらに突進するのだ。

彼女はそんな事を考へながら、寢臺車の羽根蒲團に埋くまりながら寢入つて了つたのであつた。

眼がさめて見ると、もう七時を過ぎてゐた。

ボーイの配つて來た土地の朝刊には、小さな見出しで、自分の事に關する東京の電話が載せられてゐた。

一體、東京では、どんなにか昨夜の事件を噂し合つてゐるかと思へば、わけもなく微笑が、彼女の頬に浮んだ。その白い頬を、鈍い陽が暖く照らしてゐた。

その日は曇勝な、風の少い日らしかつた。

車內には乘客も、極めて尠かつたし、その上に心は、押しつけられる樣に重かつたので、大變淋しく陰氣だつた。

何も考へまい。昨夜の事も、今から先の事も、考へない事にしようと思ひながら、やつぱり彼女の心からは、內村信策が消えなかつた。

而も汽車は刻一刻と、內村らの住める滿洲に近づきつゝあるのだ。長い間、その滿洲を忘れてゐたかの樣に、彼女は東京の人間になつてゐたけれ共、やつぱり紳士の匂ひを忘れないでゐた。

その匂ひの中へ、そして、今は不思議な勇躍の心を持つて歸づてゆくのであつた。

何も考へまい、と思ひながらも、その事を考へないわけには行かなかつた。

ふと、彼女は思ひついたかの樣に、棚にあげてあつた旅行鞄を下した。

その中には、彼女の着替へや、その他のこまごまとした物と一緒に、黑い風呂敷に包んだものと、白鞘の一振りの短刀が忍ばせてあつた。

彼女は、その風呂敷包みを取出した。その中には、嚴重に包裝した何ものかゞあつた。それは、彼女が朱文啓の命ずるまゝに首尾好く荒井博士の研究所から寫して來た重要な秘密書類に相違なかつた。

彼女は、萬年筆を出すと、すらすらと、その上包の上に、何かを書きつけた。

それは、荒井博士の記名であつた。

彼女は、それを書き了へると、直に、ボーイを呼んで、いくらかの金を渡して、直に書留で送る樣に依賴したのであつた。

滿日文藝

滿日柳壇

長谷川百穴選

「逃げる」

大連　泉　意郎

逃げるのへ後から惡罵追つかぶせ

（評）下五「追つかぶせ」が作者にとつての主眼であらう、勝誇つた表現法に成功した句である

遼陽　立川登美坊

逃げやうと蠅取もちへもがく羽

（評）嫌はれる蠅でも蠅取り紙で自滅したくないのは當り前、蠅取り紙の逃げやうとする蠅は樣々な形をしてゐる「私の句に「瓶りもちへ疲れた蠅は鼻をつき」」

大連　西坂　紀美

母の手をくゞつて裸體かけ廻り

（評）類想句中まとまつた句だと思ふ、着替への時裸體にされて出鱈へ手をあてゝ嬉々として部屋中を走り廻る樣が良く表現されてると思ふ

三　光

人　位

遼陽本町　田代みのる

身がまへた指の下から蚤がはね

（評）下五に「逃げ」と結ばれたが事更に題に結びつけた感がする此の場合ははねとして蚤の自然を活かしてやりたい、作者の身構は夕刊でも手にしてくつろいでゐる時背中でチク〳〵する稍にさわるシヤツを脫ぐ、蚤だと周章てる身構なのだ、大男と蚤との活劇の對照そこに情味がある此の類は氣をつけないと狂句になり易い

地　位

大連黃金町　大樋　雨柳

追ふただけ逃げる巣立の雀の子

（評）「追ふただけ」と強く言ひ切つたところに此の句の生命がある、表現法に成功し…分のない句

夕刊 滿洲日報 五月二十二日

あす執監會議後に討馮通電を發す
正式に文案を決定した上直に國民政府の名にて

【南京廿一日發電】第二次中央執監全體會議は來る廿三日中央黨部に開會し邵力子氏が起草し蔣介石、戴天仇氏が校閲した馮玉祥討伐通電文案を附議して正式に之を決定した上國民政府より直に發表全國に通電することに決定した

蔣軍十ヶ師河南進出
渦陽方面から

【北平二十一日發電】徐州を中心として鄭州、蚌埠、蒙城一帶に集中された蔣軍は毛丙文、徐源泉、方振武、唐生智氏等の約十師で騎兵第二師は蒙城より渦陽にかけ第三十師は蒙城から西に、方軍は徐州から隴海線に夫々河南前進を計畫してゐる

鐵道破壞
馮軍の計畫

【北平廿一日發電】馮玉祥軍の破壞した平漢、隴海兩線損傷個所は數十個所に達し完全に回復するまでには三年を要すべく莫大な損害に達してゐる、なほ支那側の情報に依れば馮玉祥軍は左の計畫に從ひ鐵道破壞を行はんとしてゐると

一、平漢線北段新郷及び黃河鐵橋の破壞

二、隴海線開封より馬牧集までの一帶の橋梁を破壞す

三、武勝關、信陽間鐵橋破壞

四、開封、鄭州間鐵橋破壞準備をなす

京津警備司令に孫氏を起用
孫、閻、張學良氏らの協力で近く蔣聯盟生れん

【上海二十一日發電】支那側の信ずべき筋の情報に依れば蔣介石は差當り孫傳芳氏を復活せしむる事が最も有利に局面を展開する方法なりと一部より建策した爲めで山西に於て強固なる蔣介石聯盟が出來るものと見られてゐる、孫傳芳氏に對し京津警備總司令を任命の電した、孫傳芳氏の起用は對馮戰開始切迫せる折柄閻錫山氏が山西より馮軍を積極的に壓迫する必要あり其の結果京津を固め蔣介石軍を援助せしむるには東以北は孫、閻、學良氏らの協力で強固なる蔣介石聯盟が出來るものと見られてゐる

山西派の態度は飽くまで消極的
最高幹部會議で決定

【北平廿一日發電】本日午後一時衞戍司令部に於て南京より歸來した朱綬光氏を中心に商震、張蔭梧、溫壽泉氏等山西派最高幹部會議を開き時局に關する對策を協議する處あつた

一、現時局に對しては飽くまで消極的態度を持し決して攻勢に出でず

二、蔣と不即不離の關係を持し馮軍北上せば省境の天嶮に據り防戰する

三、天津等の防備は方振武軍と連絡し平津の治安維持に全力を注ぐ

等山西派は順應主義を採ることゝなり朱氏は六時北平發太原に向つた、五臺に於て閻錫山と面會し山西派最後の方針を協議の上三、四日後再び歸平し徐州に赴き蔣介石との連絡に努むる筈である

北支那總司令商震氏任命

【東京二十二日發電】外務省入電に依れば國民政府は商震氏を北支

來る三十日に國書捧呈
佛伊獨國も同日に

【上海二十一日發電】日本側の國書捧呈日取は大體三十日と決定した、なほフランス公使マルテル、イタリー公使ベレー、獨逸公使フオン、ベルヒ氏等は二十五日に國書捧呈の豫定であつたが、國民政府側の都合に依り(蔣介石氏徐州行のため)延期され日本と同じく三十日にそれぞれ捧呈式を擧行することに決定した

東北四省の巨頭會議を開催
來る二十七日奉天で

【奉天特電二十二日發】張學良氏は時局切迫に鑑み來る二十七日張作相、萬福麟、湯玉麟等の諸氏を招致して東北四省巨頭會議を開催することゝなつた

學良氏に出張方要求

【奉天特電二十二日發】確聞する處によれば張學良氏は山西に在る閻錫山氏より對馮作戰の爲め石家莊まで出張方を要求されたが、學良氏は來る廿七日開催の東北四省巨頭會議にて決定の上と回答したが、なほ一昨日奉天より關內に向け出發せる于忠學氏に對しては取敢ず天津まで進出すべき旨內命を下したと

兩班踏破距離
◇……廿二日午前八時十分現在

紅班	一一二二・七哩
白班	六四九・〇哩

滿蒙鐵道驛傳競爭踏破略圖

興味愈よ津々たる兩班作戰の相違
紅班は近く東支線を征服し白班は四洮吉長へ

滿蒙鐵道驛傳競爭

廿一日深夜奉天に於て第一走者能勢選手より引繼を受けた白班の第二走者加藤選手は新鋭の意氣を以て即夜滿鐵線を北行し廿二日午前六時十五分四平街着、直に四洮線を走破し廿二日正午滿洲里發の國際列車に搭じて長驅東支線の東端綏芬河(ポクラニチナヤ)に向ふ豫定である、斯くの如く紅班が先づ北滿線を長驅するに反し白班は既に今朝までに千百餘哩の行程を片付け比較的小區間の線路を片付け鄭家屯で引返し際急行列車に搭じて長驅東支線の豫定の如く見受けらる、又紅班の秋山選手に入つたが同選手は更に長春より吉長線に

急行車を利用し東支線を縱走す
紅班秋山選手の活躍

【二十一日滿洲里にて秋山紅班選手】豫定コースの內千百餘哩を踏破して二十一日午後八時四十五分滿洲里に着いた、二十二日歐亞連絡列車時刻改正後最初の急行にて綏芬河に向ふ筈である

て徐ろに北行せんとする作戰の相違は興味の津々たるを覺えしむるに決定した

加藤選手鄭家屯へ
白班第二走程

【四平街特電二十二日發】白班第二走者加藤選手は今朝六時十五分着、朝食をとる暇もなく同七時四に就いた洮線にて鄭家屯に向け出發したが夕刻までに此の地に引返す筈である

能勢選手歸る

【奉天特電二十二日發】初めて沿線に足を踏み出したるに拘らず各方面の應援と潑剌たる元氣を以て首尾よく所定のダイヤ通りコースを走破して白班第一走者能勢選手は廿一日深更奉大に於て第二走者加藤選手に引繼を了り同夜休養廿二日午後一時半發急行で歸社の途に就いた

撫順炭礦長來連

山西撫順炭礦長久保同次長一行は本社と事務打合せのため二十二日朝來連した

黑田次官一行敦化へ

【長春特電二十二日發】黑田大藏次官一行は二十一日正午來吉し川越總領事の招宴に列し直に吉敦線に乘り換へ敦化に向つたが同地に一泊の豫定で一行は元氣である

文豪遲塚麗水氏來連す
滿鐵の招聘で

我文壇の巨匠、殊に紀行文の大家として知られた麗水遲塚金太郎氏は今回滿鐵の依囑により滿蒙地方の風物を視察すべく廿一日夜來連星ケ浦ヤマトホテルに投宿中であるが追つてプログラムを定めて沿線巡遊の途に上る由である

奉天側の對內作戰
第一次軍は軍糧城へ

【奉天特電二十二日發】對內外作戰商議の爲め來奉中であつた于學忠氏は廿一日山海關に向け歸任の途に就いたが仄聞するところによれば軍糧城に向ふべき第一次軍行動が參加軍は前記于學忠軍の外五個師團であると、尙關內出兵に備ふる兵站總監部は米春霖氏を總監として錦州に設置し打通線の起點打虎山には金良錦氏を司令とする警備司令部を設置すると

グ公殿下

【名古屋二十二日發電】グ公殿下は二十二日早朝日本ラインの絕景を御覽の上午前十時五十分名古屋驛發特急で御東上、今夕五時四十分橫濱驛御着の上ニュー、グランドホテルに入らせらる

奉天城內に暗殺團潛入

【奉天特電二十一日發】最近馮玉祥派の暗殺團員多數省城に潛入したとの說が傳へられてゐるので嚴重警戒中である

馮氏の部下監禁
何應欽氏が

【東京二十二日發電】外務省着電に依れば漢口に在る南京軍何應欽氏は元馮玉祥氏の部下たりし第五師長李紀才氏を態度疑問として監禁するに至り蔣、馮關係はますます險惡の度を加へるに至つたと

青島假市長可歛誅求
一悶着起らん

【青島二十一日發電】日本軍撤退後支那官憲は相當誠意を以て警戒に當り殊に紡績會社方面には特に嚴重にされてゐる、然し青島假市長陳仲孚氏が各種稅目を濫設して可歛誅求をなさんとするあり支那側に一悶着豫期さる

榊原農場問題の解決は困難
買收値段の開き著しきため林總領事も手を引く

【奉天特電二十二日發】紛爭中の榊原農場問題に關し交涉の衝に當れる林奉天總領事から支那側に對し廿日附通告を發して交涉進捗を圖つたが留保水田設備費の名目による買收値段につき相違著しく到底圓滿解決の見込み無きものとして林總領事は手を引く模樣で當の榊原氏も「此上は最早適當の處置に出る外無し」と決心してゐる

研究會則改正更に懇談

【東京二十二日發電】貴族院研究會は二十一日常務委員會を開き會則改正問題を協議し伯子動選三團の意嚮につき夫々報告があつて意見を交換したが意見の一致を見ず二十八日更に懇談を重ねる事となつた、大體決議拘束主義につき存廢の兩論ある外自由主義原則拘束主義原則除外例範圍擴張の妥協案に分れてゐる

拓相候補
與黨內では秦氏が有力

【東京廿二日發電】拓殖大臣の人選については政府の新陣容立直しの上からも田中首相の最も愼重に考慮するところであり豫て田中首相の意中は宇垣大將起用に在りと傳へられてゐるが與黨內では秦豐助氏の任用說が最も有力である、なほ其の他に山本農相は高橋光威氏を推し鈴木前內相一派は鳩山書記官長を推して居り其の他にも相當の自薦候補者があつて田中首相が此の間に在つて如何に決定するかは頗る興味が深い

汪支那公使歸國
日公使更迭か之を機會に駐

【東京二十二日發電】駐日支那公使汪榮寶氏は孫文靈柩奉安式に參列するため二十四日午後八時四十分東京驛發二十五日神戸解纜の上海丸で歸國することゝなつた、なほ汪公使今回の歸國を機會に駐日公使の更迭を見るのではないかと觀測されてゐる

佐分利參事官
廿七八日頃通哈

【哈爾賓特電二十二日發】佐分利英國大使館參事官は十八日莫斯科發歸朝の途に就く旨當地總領事館に入電があつた、當地通過は二十七八頃であらう

伍堂中將
きのふ來連 當分滯在

製鐵所各種機械を買入れた滿鐵囑託伍堂中將一行は歐米より鞍山へ歸着後同地に滯在中であつたが、二十一日來連二十二日より滿鐵本社々員會事務室を同氏の事務室として執務することゝなつた

關東廳舍の增築
九月末までに完成

關東廳では一昨年現在の新館を增築したが、まだ廳舍狹隘を告ぐるので正面より向つて左川端まで九十坪、向つて右新館の續きに四十坪の各增築を行ふべく工事に着手した、この工費約四萬五千圓・左の方は地下室とも三階で地下室を倉庫とし一階を事務室と定め二階を御眞影奉安室、長官室、同應接室、秘書官室、秘書課室とするもので、右の方は地下室とも二階建とし地下室を倉庫とし一階を事務室に宛て屋根をベランダとするものである、九月末までには完成すべく現在の窮屈さも多少緩和さるであらう

內地教育團百名招待
今秋滿鐵で

滿鐵では過般數年來滿蒙の實際狀況紹介のため內地各府縣の各種教育團體を招待し滿蒙各地を視察せしめて來たが本年度に於ても十月頃全國學事關係者(視學官、視學、社會教育主事及び學務擔當者)團體を約百名招待し約三週間に亘り南北滿洲各地を視察せしむることゝなり此程山本社長の名を以て右參加者の推薦方を內地及び樺太、朝鮮、樺太、北海道の地方長官並に大都市々長宛依賴した

通俗滿洲事情講演會

廿三日午後七時より大連市主催の通俗滿洲事情講演會には既報の如く高柳將軍の極めて興味ある滿蒙の實際問題を通俗的に講演「滿洲を拓く者」は最近撮影の「松花江氷上の希爾正教祭」「奉天郊外黃寺の喇嘛踊り」「鴨綠江に於けるスケート競技」等數卷を映寫し一般市民の滿蒙に關する常識啓發に資すると

人事

▲泉二新熊博士(刑事局長) 廿二日長平丸にて來連

▲緖實氏(中國銀行支店長) 同

▲劉平國氏(孫傳芳顧問) 同上

▲陳耀珊氏(中國陸軍中將) 同

▲鮫島宗也氏(京城日報支配人) 廿二日來連ヤマトホテルへ

荻川放談 (41)
回顧

山東の我遣兵は還つた、支那では之を喜び、該地方の都會たる濟南なんどでは、大々的祝賀の集合なんかを催してさゞめく、支那としてはさうもありたから ん、併し我山東遣兵の動機が如何なる點より起りしかを回顧すると、地位を換へて日本がこれに處せんか、大和魂からして本事變に死殁したる兩國の戰士並に無辜の民衆を弔らふ、大々的招魂の祭奠を營んだであらうことが日本と支那の違ふところで、兩者の融合が仲々容易でないことが、此一點でも判る。

◇

それでこゝに日本としては、日支友好のうへからして、先づ以て本事變に死殁したる兩國の戰士並に無辜の民衆を弔ふとゝもに、併せて皇軍の山東撤去を喜び、進んでは聊か本事變の回顧から來る感想を述べんに、日本の此山東遣兵は、曩日長江沿岸に於て支那軍隊の、列國に對して爲せる暴虐に鑑み、山東在留自國民を現地に保護せんとしたるものに過ぎない、然るに支那官憲では、これを機會に日本は山東及び滿蒙に有する權益を確保するの陰謀準備をなすものなりとし、濟南では長江沿岸に等しく果然支那軍隊の暴虐あり、これに對する我遣兵の正當防禦さへをも、それに結びて排日運動までを起さしめ、當時成立の過渡にある國民革命政府へ民心の歸嚮を促せり。

◇

山東の我遣兵は國民政府の革命工作に利用され、延ひては滿蒙に於ける日支の密接なる關係にも惡影響を及ぼした、併し考へて觀ると、當時日本の對支外交方針なるものが、嘘か眞か知らざれど、區々として世間に發表され、またこれも嘘か眞か知らざれど、日本政府の意志を代表すると云ふ幾多の無名公使が、隨意隨處に支那官憲と接觸す、是じや間違ひは起る、從ふて國民政府に前記の口實を與へた實の少しぐらひはこちらにある、外交は何とあつても一本筋に行かねばならぬ、一本筋ならずば

◇

それが統一さるゝ如くせねばならぬ。

◇

されどそれよりも一層其處に日本國民としての不覺があつたではないか、尤も山東遣兵には國民中に是非の議論も行はれたが、斷に此遣兵が支那官憲に利用されたと判り、また之が爲に支那國民が我國に敵意を表するに至つたとき、遣兵是非の議論なんかは問題外である、之に對し即座に擧國一致の言動こそ緊要であるべきに、遺憾はこれが缺けた、缺けしのみか依然として此山東遣兵の是非が、政爭の具に供せられし傾きあり、而も國民は默して之を問はず、斯くの如きにあつて、何時國威を海外に展ぶべきぞ、將來は充分に之を慮らざる可らず。

支那側鐵道名改稱

奉海鐵道は既に瀋海鐵道と名稱を變更したが更に又この度海龍縣が輝南縣と改稱されることゝなり瀋海鐵道も瀋輝鐵道と改稱に決定、同時に吉海線も同時に輝吉鐵道と改稱

天氣豫報

廿三日(晴れ) 一南東の風 一時曇り

日出四時三十五分 日沒七時六分
滿潮前十時十五分 後十時二十五分
干潮前四 時後五時二十五分

大觀小觀

◇名稱も官制も未だ決まらぬ官省が、來月一日から出來る。無名省とでもするのが穩當かも知れない

◇閻錫山君は中立、張學良君は出兵。いよいよやゝこしいことになつた。

◇大臣が喋りすぎて與黨から叱られた。なんぼう辛いことか。

◇市會各派持久戰に入る。同時に市民が如何に辛抱強いか根氣較べでもある。

◇市民は市長と議員の總辭職を要望する。しかし自發的にやれなかつたら、關東廳が權能を揮へ。

◇市會を解散し、市長も引込めてすべてを新にせよ。これ以外に解決策無し。

初夏の潮風
けふ星ヶ浦て

薰風六月、滿洲で最も惠まれた月はこの六月である、アカシヤの葉ものびやか、殊に初夏の陽を白のパラソルに受けて、海濱の潮風に吹かれ乍らうしほの音をきくのは爽かなもの。寫眞は夏の氣漂ふ星ヶ浦海濱と、波と白パラソルの女

三十年來の地震
人畜被害なし

【宮崎二十二日發電】宮崎地方の強震は三十年來なき地震で、市內は煉瓦塀倒れ壁の脫落等所々に散見するが人畜には被害なし、又高千穗方面の被害狀況は判明しないが人畜には被害ない模樣である

高千穗地方最も強し

【宮崎廿二日發電】今曉宮崎地方の強震は宮崎測候所開設以來の強震で市民はいづれも屋外に飛出したが、餘震を氣遣ひ疊莫座等を持出して屋外に恐怖の一夜を明かした、宮崎測候所の觀測に依れば發震時午前一時三十六分、震幅二寸（先年關東地方大震災は八寸）震源地は宮崎市の南方六十キロ米突（十五海里）日向灘沖合で火山系でないから陷沒地震らしい

なほ縣下では高千穗地方が一番強かつたらしいが高千穗、延岡間の電線切斷され詳細不明、なほ發震と同時に電燈が消え全市暗黑となり市民は一段の恐怖を感じたが之は發電所が萬一を慮り電流を止めたゝめであつた

戰捷の慶大應援團
又復銀座で亂舞
十數名遂に檢束さる

【東京二十二日發電】早慶野球戰試合終了後凱歌を擧げつゝ引揚げた慶應々援團は學校內大ホールで戰勝祝賀會を開き底拔けの氣勢を揚げ、午後七時半祝賀會終るや銀座街頭に流れ出たので石川築地署長は警官百五十名を率ゐて嚴重警戒し街頭を亂舞する應援團と小競合を演じたが十一時頃漸く平穩に復した、なほ同夜重なるカフエーは八時頃から戶を鎖して警戒した

檢束された十數名は十一時半頃署長訓戒後歸宅を許された

早慶戰入場料
四萬圓を突破

【東京二十二日發電】早慶野球戰入場料は一日一萬二百六十一圓五十錢、二日一萬五千圓を超へ、三日は一萬四千八百八圓で總額四萬圓を突破した

萬引書籍を賣つて
カフエーや活動に入浸る
某中學校の卒業生、二、三名と共謀
けさ大連署の手に

二十二日午前十一時ごろ大連署司法室で山と積まれた書籍を前に學生風の少年が庄司少年視察係の取調べを受けてゐた、右は本年三月市內某中學校を卒業した山田義晴（一七）＝假名＝で今春來二三名と徒黨をなし大阪屋號、滿書堂外數軒の書店から書籍を萬引しては賣却しそれでカフエー、撞球、活動寫眞等に入びたつてゐることが發覺したものである、近來中等學校生徒の犯罪が著しく增加したのに鑑み、大連署では少年視察班を本年四月から新設し、學校、家庭と連絡を執り、不良少年の善導保護に努めてゐるが、依然として不良少年の減少を見ず、夏季に向つて一層增加の傾向すらあると

江戸情緒タツぷり
明晩の慰安演藝會
講談界の元老伯山一行お目見得
協和會館に於て開催

目に青葉山ほとゝぎす初鰹……江戸情緒に適はしい初夏に、四十年に近い高座生活にたゝきあげた江戸前の藝を誇る

＝講談界＝ の元老神田伯山が柴田南玉、神田松鯉、金川文樂、壽々家岩てこ一行の東京特選名人會を率ひて來連した、大連滿鐵社員倶樂部及び本社にては斯の如き一流どころが揃つて來滿することは又とない機會であるので一行を特に招聘し協和會館の催し物としては破天荒である倶樂部員及讀者の慰安演藝會を明廿三日及び廿四日の兩夜七時から開催することになつた

＝會費は＝ 一般二圓で倶樂部員及び讀者に限り（讀者は本紙刷込みの優待割引券持參の事）一圓に割引するが、社員倶樂部事務室及び本社受付に於て前賣切符を發賣してゐるから座席を豫約されたい、尙一行を紹介すると

柴田南玉は講談界の古老で先代伯山の秘藏弟子として知られ、神田松鯉は先代伯山の實子で流石に洗練されたものである、金川文樂は淨瑠璃に精進すること三十年で物足らず語劇文川節を創案し一流作家の傑作を讀物として

＝好評を＝ 博してゐる 壽々家岩てこは先代岩てこ直傳の曲彈きに新曲界の革命兒である、近代味を盛つて三味線を自由自在に彈きこなして全く堂に入つた達者さで人氣を煽り、つばめ改め柳家金三は東都落語界の眞打でレコードに得意の音曲落語を吹込んで廣く知られてゐる、神田伯山は明治五年生れの生粹の江戸ツ子で十三歲の時先代伯山の門に入り松山と號し廿歲頃から賣出し卅四歲で伯山を襲名し今日に及び最も得意とする

＝讀物は＝ 「清水次郎長」で兩夜は次郎長傳のうち「大瀬半五郎」の長講を讀切ることになつてゐる

神田伯山

壽家岩てこ

お斷り 二十二日附朝刊發表の東京名人會の社告中、會期が廿二、三日とあるのは二十三、四日の誤りにつき訂正いたします

宮崎大分縣下に
稀有の強震
日向灘沖合の陷沒か

【宮崎二十二日發電】今曉一時四十分宮崎、大分地方を中心に近來稀なる強震あり、宮崎市內では煙突倒れ硝子窓を破壞されたところもあり、宮崎測候所の觀測に依れば震源地は宮崎市の南方六十キロ米突日向灘沖合の陷沒地震らしく高千穗方面最も強かつたらしいが電線斷絕のため詳細不明

大連の交通
安全デー
來月五日に

市街の繁華、車馬の訓練不足また は市民の交通思想缺如から近來大連市內における交通事故が頻々として起るので二十一日午後一時から大連署で四署保安主任會議を開催の結果、來る六月五日を期し四署聯合交通安全デーを行ふことゝなつた、この前に大連署では電鐵、タクシー業者、人力組合、その他車馬關係者及び市內各小學校長等と會合し交通安全デーに關する懇談會を開き、諸般の準備をなす筈であるが、大體當日はポスター、カード、ビラ等を撒布し車馬には「交通安全」の小旗を揭げて市民に交通思想の普及に努め、規定以上のスピードで走る電車及び自動車の取締、人道、車道の

取締を 爲すと同時に市內各小學校では交通に關する講話があり、徹底的に交通安全デーの實を擧ぐべく宣傳を行ふと

支那思想研究に
けさ泉二刑事局長來連

中南支那地方思想研究視察中の泉二刑事局長泉二新熊博士一行は廿二日未明入港の長平丸にて高山署長、先發の龜山檢事等多數の出迎へを受け來連、埠頭を見物の後ヤマトホテルに入り小憩、たゞちに龜山檢事及水上署長を同行自動車にて旅順に出發した、氏は語る

こちらはこれで二度目です大正九年に來ました時はまだこの埠頭も完成されず水上署もバラックでしたが、實に立派ですね、東洋一——たしかにそうですヨ私の來連はたゞホンの視察ですぐに旅順に行き一泊歸連、ヤマトホテルに二三泊後奉天、ハルビン等を視察し朝鮮を經由して歸京するつもりです（寫眞は泉二博士）

歡迎會 泉二刑事局長來連につき當地奄美大島郡々人會では明二十三日正五時より電氣遊園登瀛閣で郡人會員並に郡關係者の歡迎會を催すが會費は二圓五十錢希望者は當日正午迄に天神町龜澤方（電話六二四八番）へ申込まれ度いと、また大連官民合同歡迎會は法院及辯護士會發起にて來る二十四日午後六時より扇芳亭に於て開催されるが會費は金七圓で出席希望者は地方法院庶務課（電話四八〇六番）へ申込まれたいと

風紀係を臨設
季節犯罪を防止
大連署が徹底的に

青葉の蔭にかげろふが舞ひ、灼熱の夏はもう足下に這ひよつて來た——これから人々は苦熱の世界から免れんと水を慕ふて海へ海へ…六月中頃から各海水浴場は一齊に解放されるであらうが、毎年海水浴場を中心に起る犯罪——竊盜、猥褻、密會——これ等の季節犯罪には毎年警察が頭を惱ますのである、大連署では今年こそは徹底的に犯罪の豫防をなすため、特に風紀係を臨設して、海水浴場を中心に、管內各公園を巡邏させ、季節犯罪を未然に防ぐべく目下研究を進めて居る

聖德太子堂
本樂祭賑ふ

聖德太子本樂祭は二十二日午前十時より盛大に執行され石本市長、岩井少將、高山大藏、長山沙河口の兩署長ほか來賓四十名參列した、尙區民若衆が集り神輿を舁して區內を練り廻り大いに賑はつた

愈よ今夕七時半から
藤原義江氏獨唱會
會券は本日午前中に全部賣切れました

女の名を叫び
男は今朝死す
星ヶ浦の夫婦剃刀心中

朝刊所報星ヶ浦海岸で夫婦心中を遂げた男——宇野節美は虫の息の處を直に慈惠病院に擔ぎ込まれ手當を受けたか、何分彼等は十九日夜最初猫入らずを嚥み死に切れず更に西洋剃刀を以て頸部を切り瀕死のまゝ三晝夜岩の上に斃れて居つたので男は「柔かいベツトに寢たい、溫かいベツトに」と言ひ續けて二十二日朝六時二十分女の名を叫びながら遂に息を引取つた、

原因は 不明なるも、男は職業も無く毎日憂悶な日を送り妻は仲々の美人で商賣柄色々外部からの誘惑多くして惱みの日が續く始末に遂に斯く死を選んだものであらうと、尙惠美子のゐた浪速町カフエーモーダンの主人は語る

惠美子は斷髮で外觀こそモダーンガールでしたが至つて優しい氣立の女で體格もよく非常な美人でしたからお客にも人氣がありました、宇野さんとか云ふ方は親戚の者だと云つて時々訪ねて見へてゐました、私の方には別に前借などもありませんでした

南洋訪問の
海軍機
サイパン島着

【橫須賀二十二日發電】南洋訪問の海軍機二機は今朝四時四十分モーグ島を發し二百九十浬を飛翔して午前九時五十分サイパン島に着水した、二十四日午前五時歸還飛行の途に就く筈

生活難から
元司厨長が自殺
寢酒を呷りネコを嚥み

市內紀伊町四十一番地岡田紐吉（四〇）は廿一日午後九時四十分頃自宅に於て寢酒を呷り家人の隙を窺ひ多量の猫いらずを嚥下、程經て苦悶を初めたのを妻女が發見驚いて最寄り醫師の應急手當を施したが生命危篤である、紐吉は元大連汽船の司厨長を勤めてゐた處昨年末馘首され爾來就職口を探し求めてゐたけれども適當の口がないので生活難から世をはかなんだのが自殺の原因だと

小心で怠け者
自殺常習
喧嘩から庖丁で

二十一日四時半頃一人の男が頸部を斬られ瀕死の狀態にあるのを小崗子署員が急行取調べた處此男は山東省生れ富久町九七張秀安（五〇）といふ小心の怠け者で妻の連れ子張死氏（二一）を何處かに賣飛ばす目算を其許婚の張明秀が嗅付け、當日も口論した揚句秀が歸つた後で昂奮の餘り菜切庖丁で頸部を切り自殺を圖つたものと判明博愛病院に擔ぎ込んだが張は自殺常習者で一週間前にも首を釣つて隣人に助けられた阿片を飲んで死損つた事もあると

大日活地鎭祭
磐城町敷地で

建築許可願が認可された長次郎吉氏經營の大連磐城町の磐城ホテル跡の活動常設館「大陸館」改稱「大日活」は廿一日入札を行ひ森組に落札し工事の準備が整つたので今廿二日午前十一時から敷地內に於て地鎭祭を執行した、長館主をはじめ各關係者設計者佐藤武夫氏請負者森組等列席し神官の修祓鹽水の行事祝詞等あり式後開宴し明日より直に工事に着手することになつた

◇…投票用紙同封して幾枚出しても差支へなきや（家人の分）（岩田）

（答）別人であれば總て有効です

◇…廿五日の消印あれば廿五日以後到着しても有効なりや（同人）

（答）左樣です、しかし萬一消印が不明瞭であると已むを得ず無効としますから安全を期するためには二十五日に到着されたらと思ひます

◇…奉天省海龍縣が輝南縣と改稱されましたが吉海、瀋海線の名稱は改正されませぬか（奉天驛傳生）

（答）よくお尋ね下さいました、發表しやうと思つていたところです、吉海線は輝吉鐵路、瀋海線は瀋輝鐵路と改稱されました

旅順刑務所で
免囚を使用

旅順刑務所では內鮮刑務所に率先して免囚保護の實績を擧ぐ可く今回刑期滿了した窃盜犯人の鮮人金光元を作業助手として採用、日給七十錢を支給する事にした。刑務所に於て直接出獄者を採用したのは之れが日本でも皮切であらうと

娘々廟參拜團

既報の大石橋娘々廟大祭は本年の中日が日曜に當るので邦人の參拜も非常に多いだらうと見られてゐるが中日文化協會主催の參拜團も湯崗子迄清遊することが出來て僅か五圓と云ふ費用であるので申込み殺到してゐる爲め二十三日午後四時には締切を爲すと云ふ

千圓持出して

埼玉縣生れ明治大學生徒高山清（二二）は去る十九日約一千圓を持出し大連方面に向つた形跡があるので二十二日大連署宛警視廳より手配あつた

本社見學 四平街公學堂生徒三十九名は二十二日午前同校教諭中村琢美氏に引率され本社を訪問各部を見學した

上水道掃除日割

▲五月二十七日　埠頭構內甲埠頭第二埠頭附近一圓、西崗街一部、得勝街一部、大龍街一部、平和街全部、福壽街全部、永樂街全部、新起街全部

▲五月二十八日　汐見町一部、埠頭構內第一埠頭一圓、西崗街一部、同仁街全部、久壽街全部、公街全部、政街全部、財神街全部、橘立町全部

▲五月二十九日　西公園町全部、春日町全部、逢坂町全部、高山町全部、裾野町全部

◇…大孤山双峰寺住職春普及僧侶の孔華、孔石の三名と千山龍泉寺の住職一名が各寺の所有財產に就き不正行爲あることを聞知した遼陽公安局衞兵は現場を臨檢し前記四名を逮捕し目下嚴重取調中である、尙聞く處によれば寺內僧侶の軋轢暗鬪の爲めであらうと【鞍山發】

◇…撫順西一條三吉運送店の糧棧街四二番地の牧舍にて支那產牡馬七歲と五歲の二頭は二十一日午前傳染病「鼻疽」に罹つたので撲殺したが目下尙蔓延の兆【撫順發】

◇…ロージャーウイリアムス、ルイス、ヤンシー兩飛行家は大西洋橫斷ローマ訪問飛行のため本日當地を出發し先づメーン州のオールド、オーチャード飛行場へ向つた【ニュージカシー州ビーターボロー二十日發電】

金剛呪門（246）

山中峰太郎作　小田富彌畫

追放の後

虎三の遺骨を、重兵衞に渡した佃、振り返つて乙藏に聲をかけた

「ヤイ、乙ツ!」

「な、何で?、親分!」

「虎三は死んだぞ。手前は今日まで何をしてやがツた?」

と、乙藏、おもはず肩をすくめた

「俺は、その、つまり、この家の人に附添つてたんで。物騷なことになつてるから、つまり、その、……」

「何を言やがるんだ。誰が手前にそんなことを言ひつけたツ?」

「言ひつけなくツても、金剛鑑といふものがあるんだから、親分、物騷だ」

「腑抜けツ!、手前が一人ゐたツて何になる。こちらの御迷惑になるばかりだ。さツさと歸れ!」

「………」

急に蒼ざめた乙藏、ジロリと佃を見た。

「俺が連れて行く。とんだ面汚しだ」

と、呟いた佃、そこへ出てきた重兵衞に、

「さて、それでは、これでお暇をいたします、いろ〳〵と御取込みの所へ、かうした事を持つて參りましたのは、何とも本意ぢやございませんが、えゝ……死んだ虎三のためを思ひますと、何分にも……どうぞ好ろしくお願ひ申上ます」

いんぎんに挨拶して皆から引止められるのを、頻りに辭退しながら外へ出た。

と、乙藏が、さきに路へ立つてゐるので、

「ウム、來い!」

一緒に連れて、途中は腕を組んだまゝ默々と所司代の邸へ歸つてきた佃、自分にあてられてる長屋へ入ると座敷へ上るや否や言ひ出した。

「オイ、乙ツ!」

「………」

前から蒼くなツてる乙藏、ジツと俯むいた。が、暫くすると、

「手前は命冥加な奴だな!」

と、不意に言はれて、

「えツ?」

と驚いた顏を上げた。

「いやさ、死んだのは、虎三ばかりぢやねエ。蛤御門の前の戰を、手前は知るめエが、江戶から一緒にきた者が、虎三ともに八人死んだのだ。あとの三人は傷を負ふて見ろ、俺は運よく助かツたが、……」

と、左の腕を捲くつて見せた佃、そこに厚く繃帶をかけてゐる……

「彈のかすれ傷ですんだのだ、乙藏、かうして無事なのは、俺と手前と二人だけだ。が、今さら手前がゐなかつたのを、こゝで咎めるわけぢやねエ」

「………」

それを聞かされながら、乙藏は

さうした佃の話よりも、お京と數之助の顏が、二つ並んで微笑してゐる……まぼろしを見る乙藏、あてもなく西陣の方角へ歩いて行つたれてきた……向ふには數之助がゐる……それに及ばぬ戀とおもへば、ジリ〳〵と嫉みに胸を思ふほど、ジリ〳〵と嫉みに胸をたぎらせて、佃の言葉も、ろくに耳へ入れてはゐない……そこへ

「咎めるわけぢやねエが、乙藏、手前は今から江戶へ歸りねエ!」

と、言はれて、ギヨツとなると共に顏を上げた。

「今から?」

「さうよ。路銀が十兩、取つて行きねエ!」

ポイと膝の前に投げて出した一つの財布、佃は用意してゐたそれを投げ出すと立上つた。

「これで當分、手前とは會ふめエぜ」

言ひすてゝ、奥座敷へ入つてしまつた佃の後姿、ピタリと閉ざされた襖を見ると、

……ヘツ、さうか。

と、眼の前の財布を見ると、血相をかへた乙藏、それを取り上るや否や懷へ入れた。

そして、裏門から路へ出てくると、トボ〳〵と歩きだした。

……どこへ行く?

……江戶へ歸るか?

……いや、歸れねエー。

うつむいて行く眼の前へ、お京の白い顏が……それと並んで數之

映畫と演藝

伯山遭難の卷

伯山が滿鮮巡業に旅立つ一週間程前の事、黑龍會の内田良平氏のところへ添書をもらひに行つての歸りがけふくさに包んでシツカリ内懷にしまいこんでゐた大切の添書をマンマとスリにすり盜られてしまつた

◇

伯山ともあらうものが大切の添書をスリに盜られましたから今一度御願ひしますと内田氏の所へ言つても行けず閉口してゐるとそれから二三日した或日の午後伯山の家へ電話がかゝつてきた「モシモシ伯山先生ですか、私は先日の巾着切ですが先日先生から頂戴した品物は先生に取つては是非入用な品物だと思ひますから今速達便で御送りしましたから受取つて下さい、此の御禮に滿洲から歸られた時には何か頂かしてもらひます」と言つて電話を切つてしまつた

◇

間もなく速達郵便で先日盜られた添書を送つてきた、伯山曰く…ベラ棒め二度と頂かしてたまるもんけえ……だが今の巾着切りは義理堅いや……。

映畫みたまゝ

ライラツクタイム　演藝館上映

感傷の巨匠と讃へられるフイツツモーリスがリラの花咲く田園と航空機の入亂れる青空に描きあげた、メロドラマである。これまでの戰爭映畫に見るやうな戰ひの凄慘さは此映畫には見られない、數臺の飛行機が青い空を流星のやうに炎の尾を引いて地上に墜ちる、グラスが一つ砕かれる毎に、英軍航空將校の一人が戰ひの犧牲となる、それでも面をそむける程に陰慘ではない、むしろ戰爭の快味と美しさに魅せられる、それはコーリン、ムーアの輕い演技が一切のものを明るく、美化して行くからでもあるが何と云つてもフイツツモーリスの功績は大である それから此映畫を引立てゝゐるシドニー、ヒユツクスとオールヴイン、ネツチエルのカメラの好さを見のがしてはならぬ、戰ひに追はれた村人達が霧たちこめる朝の街道を、長い列をつくつてのがれてゆく場面等は構圖も光線も戰爭映畫には少し美しすぎはしないかと思はるほどに美的効果を上げてゐる。

コーリンムーアのジヤニンスはあの輕快な演技で、ヂリークーパーのフイリツプは落ちついた熱と力で、リラの花園に立つたヂヤンダークの像に刻まれた「愛は永久に死せじ」とのテーマを織出して行く等大衆的なアツピールをもつ洗煉されたメロドラマである。

藤原義江氏の樂曲に就いて（下）

村岡樂童生

第三部

歌劇マノン　マスネーの代表的作品でフランスの國寶と云ふも過言ではあるまい

歌劇ミニヨン　トーマス、はフランスの產で此の歌劇一つによつて世界に知られた、我邦でも「君知るや南の國」で廣く知られて居る作家である

第五部

カルメンクルチス編曲である此の曲は南歐ソレントの民謠として歐洲を風靡した名歌曲の一つである

アマポラ　ラ、カツレの作曲で此れは西班牙民謠風によつて書かれてある曲目下歐米こて彼のアイ、アイ、アイ、等と共に一般から唱はれて居る

ヴオルガの船歌　ロシア民謠である此の曲に就いては恐らく多くを語る必要はあるまいと思ふ程左樣に有名である

萬歲五色會

劔戟萬歲伊勢音頭文化萬歲女道樂小原節踊の五本松踊り等の珍藝を網羅した萬歲五色會が今廿二日より歌舞伎座に於て開演する

ゆふべ協和會館の「ライラツクタイム」の映畫會で情報課の「支那のお正月」と「全日本氷上選手權大會」のニユースリールを發表▲廿三、四日の兩夜協和會館で神田伯山一行の東京特選名人會を開き廣く江戶前の藝術を紹介する▲西洋映畫全盛に刺戟されて最近噂に上るものにジヤネツト、ゲイナー孃主演の「第七天國」を始め▲「モアナ」「聖山」「伯林交響樂」「非常線」等々……

滿洲日報

主婦之友 六月號

住宅展覽會號 本日發行

住宅建築家の第一人者たる方々が、最も便利な家を最も經濟的に設計した模範的中流住宅の誌上展覽會であります。住宅新築熱の高き今日、ぜひとも見落してはならぬ特別記事であります。

(建築費二千圓)泥坊の入らぬ若夫婦向の住宅
(建築費三千圓)子供本位の田園生活の住宅
(建築費四千圓)老人向の日本趣味の住宅
(建築費五千圓)狹い土地に向く都會住宅
(建築費五千圓)女中の要らぬ能率的の住宅
(建築費六千圓)老人も一緒に住める文化住宅
(建築費七千圓)店舖を兼ねた市街住宅

(女中の要らない能率本位の模範住宅の外觀)

▲家相の惡い家に住んだ經驗……(久志)
▲家相の善い家に住んだ經驗……(鈴子)
▲新築家屋を拭き込む新祕傳……(記者)
▲床の間の變つた樣式二十種……(記者)
▲家に調和した門二十種發表……(記者)
▲頭の形で赤坊の運命を知る祕法

七つの難病を不思議に癒した 倉田百三氏の治病體驗

▲肺結核 ▲結核性睾丸炎 ▲脊髓カリエス ▲結核性中耳炎 ▲肋骨カリエス ▲結核性關節炎 ▲結核性痔瘻

名作『出家と其弟子』の著者として名高き倉田百三氏は十年間の病臥生活から解放されて、今では普通人以上の健康者となられました。七つもの難症を如何にして治されたか。倉田氏の病症を知る人は全く奇蹟の如く驚いてゐます。七つもの難症を如何にして治されたか。醫師でもなければ藥でもなかつた不思議な力がそれを治したと言はれます。しかもそれは誰にも出來ることです。自ら執筆して『主婦之友』に發表された氏の體驗こそ總ての病者への福音です。

糖尿病全治の民間療法

糖尿病は命取りだと云はれてゐます。それほど治りにくい病氣であります。糖尿病に罹つて名醫名藥でも治らなかつた難症の人々が、簡單な民間療法によつて忘れた如く全治された喜びの體驗を『主婦之友』に發表しました。糖尿病に惱みつゝある方は熟讀ください。

出ない母乳を必ず出す秘法の公開

▲必ず母乳の出る食物の選び方と食べ方……(井下ヨウ子)
▲出ないと斷言された母乳を出した方法……(秋山命澄)
▲出ない母乳を出すお乳の揉み方……(長谷川たに子)
▲出ない母乳を除るほど出した藥……(高橋千代子)

愛犬家の座談會

愛犬熱の高き今日、愛犬家として知られた方々にお集りを願つて座談會を開きました。愛する犬に就ての興味と參考になる人間味の深くて、忠實な犬の話が出て、愛犬家の方にお奬め致します。愛犬家の方におすゝめ致します。ぜひ御一讀を

和田三造氏 田中六氏 中島熊吉氏 藤井浩祐氏 齋藤弘氏 高久次郎氏 安本留子氏 城崎壽々子氏

名犬誌上共進會

大評判の靈界放送

後藤伯と西園寺公のお花さんと安田森村大倉氏と會見

毎號大評判の三條信子女史の靈界放送は號を追うて熱を加へ、本號には後藤伯爵を初め西園寺公のお花さんや安田善次郎翁や森村市左衛門翁や大倉喜八郎翁との會見記を放送して來ました。地上の人氣者であつただけに靈界における活躍も素晴らしいもの。從てお花さんは大倉翁と靈界で同棲とか。

(後藤新平伯) (お花さん)

▲望月内相が新婚の愛孃への教訓
▲夫婦喧嘩の豫防祕訣百ヶ條
◆德富蘇峰先生の婦人訓話 ◆西川博士の肺病者の結婚生活の心得
◆本間俊平先生の信仰美談 ◆中村古峽先生の神經衰弱の治療法

▲夏の便利な手藝品作方五種
▲野菜を主としたる和洋一品料理作方
◆新案の子供寢冷知らずの作方 ◆新型婦人用雨コート
◆心地のよい名古屋帶の作方 ◆名流家庭の御自慢

(探偵小說)ルパンの青い眼の女
(女優情史)澤正と五人の女

(長篇小說)火刑……(三上於菟吉)
(長篇小說)雲の柱……(長田幹彥)
(諧謔小說)夫婦百面相……(佐々木邦)

▲姙娠調節新發見の實驗

(次から次と姙娠した小原夫人が偶然……もなければ……多産婦のため……)

五拾錢 (送料三錢)
東京 (振替)

お待ちかねの六月號 五十錢 送料二錢

最新畫報 子供の科學

實際居なかつた動物……(岡田直敏)
屋根のいろいろ……(一氏義良)
潛水艇を防ぐ新らしい戰法……(古田中博)
聞える音聞えぬ音……(田中俊明)
水力タービン模型の作り方……(山田校長)
太陽が無かつたら……(渡邊學士)
美味しい甘酒の作り方……(吉田先生)
電氣點滅器の作り方……(本間清人)
火の由來物語……(杉浦慶一)
モーターサイレン……(石川中尉)
カムフラージュの話……(合屋成雄)

ガスの出來るまで……(江口鶴吉)
日中の活動寫眞……(矢嶋二郎)
舞臺照明の話……(遠山靜雄)
新聞の出來るまで……(時事新聞社)
マゼランの傳記……(堀内學士)
陶山鈍翁先生……(森鉄三)
人なき戰場……(淺野大尉)
梅雨の話……(國富學士)

美しい畫報

白蟻のビルディング
マゼランの世界一周
エスカレーターの構造
空の怪物R一〇一號
世界第一の海底鐵道
魚で出來た丘七十哩
先史人の遺骨發見
水草の生ひ立ち
潛水艦・珊瑚魚
屋根の博物館
瓦斯の出來る迄
電車の走るまで
めづらしい電
五哩もある長橋

日支懸案一段落で 漢口の陸戰隊歸還

昭和二年四月以來三年の駐屯 ―海軍省公表―

【東京二十二日發電】海軍省公表＝一昨年四月三日漢口日本租界は國民軍中の共產黨分子に襲擊され其の一部は破壞と掠奪とを蒙つたが警備艦より陸戰隊を上陸せしめて漸く事なきを得た次で七月特別陸戰隊を駐屯せしめ居留民の生命財產保護に任じたが漢寧鬪爭の結末もつき同地方の形勢は大に改善され他方濟南事件を始め南京漢口兩事件も相踵いで解決し南京政府亦居留民の保護生命財產の保證を聲明し大に親善の態度を表明するに至つたので一昨年來漢口に駐屯してゐた特別陸戰隊は不日內地に歸還する筈、尙陸戰隊總數は三百名である

孫軍の一部を殘し 馮氏東部河南放棄

蘭封、開封方面に退却

【南京二十二日發電】國民政府發表に依れば馮軍は歸德に孫良誠軍の一部を殘し他の部隊は蘭封開封方面に退却し東部河南を放棄した、尙鄭州に在る路の密偵は馮軍が鐵橋二十八を破壞し信陽、鄭州間の鐵橋にも爆藥裝置を終つたと報告したと

五院々長蔣擁護を通電

【上海二十二日發電】國民政府五院々長譚延闓、胡漢民、戴天仇、王寵惠、陳果夫氏等昨夜連名で蔣介石擁護、馮玉祥討伐の通電した

廣西軍退却

廣東軍に逆襲されて 二日前の戰線まで

【香港廿一日發電】昨朝廣東軍の退却により廣東は事實上廣西軍の手におちたが、廣東軍は市內に入らんとする廣西軍を突如市外側面より逆襲し疲勞氣味の廣西軍を迫擊し、廣西軍はそのまゝ二日前の戰線まで退却した

蔣介石氏

徐州へ赴く

【南京廿一日發電】國民政府筋よりの確報に依れば、蔣介石氏は二十三日迄に徐州に赴き同時に馮玉祥總攻擊命令を下すとに決定した

馮玉祥を攻擊 漢口の支那紙

【漢口二十一日發電】當地支那新聞は昨日より俄然論調を一變し各紙共馮玉祥を逆賊として猛烈なる馮攻擊文を揭載し始めた、這は南京軍の總攻擊開始愈よ切迫し來た證據と見らる

出兵を條件に 察哈爾移管 閻氏から提議

【奉天特電二十二日發】支那側の消息によれば閻錫山氏は對馮玉祥關係切迫せる爲め察哈爾省の防備に不便を感じ奉軍の平津方面出兵を條件に同省を奉天側の管理に移さんことを提議し來たつた、湯玉麟氏の來奉は主として此の商議の爲めであると

特使として國書捧呈 外務省で云ふ

【東京二十一日發電】上海電報に依れば芳澤公使は二十八日又は二十九日南京にて國民政府に國書捧呈すると右に對し我外務省は大公使を派遣する場合の國書でなく特使としての國書捧呈であると言つてゐる

金解禁未し 近く政府が聲明

財界の不安を除く爲

【東京二十一日發電】最近株式界が金解禁氣構へに恐慌を來してゐるので政友會實業議員は解禁時期尙早なりとの立前から政府をして適當の聲明をなさしめ人心の不安を除去すべしと云ふに一致し森幹事長より田中首相に非公式に報告されたが政府は廿一日の閣議で金解禁說の市場に及ぼす影響に鑑み協議を行つた結果政府として解禁斷行の方針に變りなきも、即時これを行ふ意思にはあらざるを以て與黨側の希望を尊重して機宜の時期に首相藏相の名を以て右方針を瞭らかにし人心の不安を除くに決した

奉天に於いて 白班選手交代

紅班は北滿深く進入す 興味愈加はる

驛傳競爭は兩班ともいよ／＼難關に逢着し競爭の興味は一段と加はりつゝある、即ち紅班の秋山選手は廿一日夜滿洲里に到着し三時間を經て通過する東行列車によつてハルビンに向つた筈であるが未だ確報が無い、然し北滿方面の事情に通じた同選手のことであるから大體豫定通り走破して更に殘された長距離の行程を辿るであらう、又白班能勢選手は別項の如く同班のダイヤ中最初の難關と目された溪城線の行程を極めて好運に通過して意氣いよ／＼昂り安奉線を引返して**撫順線**を踏破し午後十時五十五分奉天驛に到り、此に同班の第二走者加藤選手に引繼を了つた、加藤選手は廿一日朝急行にて大連を發し能勢選手の後を受て同夜十一時廿分發北行した

溪城線を 踏破して北行 能勢選手

【本溪湖特電二十一日發】白班の選手は本日午後零時十九分無事着驛、直に待ち設けなるモーターカーに乘り移り溪城鐵路太子河驛に向ふ、驛のホームには多數官民有志の歡迎盛んなり、太子河驛より便乘せる能勢選手は溪城線の風光を賞しつゝ牛心臺に向ひ、此處に小憩の後再び乘車して太子河驛に引返し、本溪湖驛保線區溪城鐵路事務所等を訪ひ五時十分發北行した

鄭家屯から 引返す 白班選手

【四平街特電二十二日發】今朝七時鄭家屯に向ひたる白班加藤選手は午後一時五分當地に引返し驛應接室にて濱田驛長の歡待をうけ同二時十五分發にて意氣衝天の概を示して北行した

旺んな歡迎裡に 長春に到着

たゞちに吉林に向ふ 元氣な加藤白班選手

【長春特電二十二日發】今夜五時五分白班加藤選手が來着するとの報に接した支局及販賣店では八方に電話を以て通知するほか逸早くビラを印刷して市中に撒布して時 **至る** を使つた、市中は所要時間の豫想投票で十九日兩班選手が打揃つて華々しく大連驛頭を出發して以來日とともに興味をそゝり到るところ驛傳の話で持ち切つて人氣は極點に達してゐる折柄とてビラの撒布さるゝやソラ來るとばかりに定刻以前よりプラットホームは人の波を以て埋められた程なく定刻列車は勢ひよく構內に入り來り二等車の車窓から打ち振るペナントを發見するや期せずして萬歲の聲は潮の如くあがり加藤選手は熱烈な **市民** の歡迎裡に潑剌たる元氣を以て下車し直に通過證明をうけ休息室に廿五分晚食をとる暇もなく吉長線頭々溝驛發五時三十五分列車に飛び乘り吉林に向つた

公主嶺通過

【公主嶺特電二十二日發】加藤白班選手は本日午後三時二十八分着同三十三分發列車で長春に向つた、驛頭には驛長以下驛員並に多數の市民小旗を携へて萬歲を連呼しつゝ旺んな歡迎送をなし加藤選手はプラットホームに下りたち感謝の意を表した

驛傳ゴシップ

◇鄭家屯の一愛讀者から本社宛のはがき――御社の驛傳競爭は空前の意義ある大壯擧で御成功をお禱りし選手の當地通過を今か今かと心待ちして居りましたところ紅班の秋山選手が十九日午後九時十分通過北上されたといふことを今朝になつて聞きガツカリし何んだかお骨折りの選手に申譯けのないやうな氣がします、販賣店の山口洋行へ何故知らして頂けませぬと文句を言つてやりますと販賣店も十八日大連發同日四平街局受の電報が今朝八時に配達されて吃驚し秋山選手に氣の毒でならんとのことに立腹もならぬ始末でした、當地への電報は四平街局より郵便で支那局に渡し鄭家屯支那局から日本居留民會へ配達しこれを民會から配信人へ配達するのですから內地から近親者の死亡電報が手紙と一しよについた例もあり如何とも致し方がありません、決して鄭家屯の人達がこの御社の壯擧に冷淡では無かつたのです不惡選手の方々へお傳へ下さい。

◇所要時間豫想投票は締切期日の接近につれて日に／＼增加して行く、其の整理に係りは忙殺されてゐる、但し審査の嚴正を期するために投票は鍵のかゝつた箱に入れて競爭の終了までは決して開かぬことにしてある。

◇時間の豫想の外に紅白孰が勝つかといふ點に深甚の興味を持つて研究してゐる人々が少くないが今の處では未だ何ともいへない形勢にある。

外交懇談會

【東京二十一日發電】田中兼攝外相は二十一日午後七時近く歸任する田中駐露大使、芳澤駐支公使、堀內書記官、天羽一等書記官等を築地新喜樂に招待し吉田外務次官以下各局長出席送別を兼ねて外交懇談會を開いた

名無し省の敷地

中央會議所のバラックに決り 一先づはこゝで開業

◇…【東京特電二十二日發】樞密院の暗礁に停頓して省名も未だ決定しないが兎も角來月十日頃から愈開業するまでに運んだ拓殖省の敷地は會計檢査院の橫、內閣印刷局の前震災直後に建設されたバラック建中央會議所を選定された。

◇…同所は各省の會議所に充てられてゐる處である、店開きを控へて去る十六日から大藏省營繕局監督の下に島田組と本田電氣の大工、職人連が五六人宛でだゝツ廣い會議所內を室仕切して大臣室や次官室秘密室等を雜作中である

◇…然し別に化粧をするといふでもなく纔に室仕切と電話取付ぐらゐの至極アツサリしたもので部屋數は小使室まで入れても廿一にて廿二日までに支度が整つたので廿五日には內閣の拓殖局が移轉して來る筈である

◇…兎も角こゝで一時開業して今年末か明春早々日比谷の第一中學校跡に移轉の豫定である

移柩祭に 閻氏參列

【北平二十二日發電】閻錫山は移靈祭參列のため病を押して二十六日迄に來平する筈である

張氏代表參列

【北平二十二日發電】奉天側は孫文遺靈祭に飛行機三臺騎兵四十騎步兵四十名を參列させる事となり一行は本日來平の筈、又張學良氏は自ら參列しないが代理として胡若愚、葛光廷が參列することとなつた

拓相は 暫定的に 首相兼攝

【東京廿一日發電】新設拓殖大臣は內閣改造まで暫定的に田中首相において兼攝することに二十一日の閣議で內定したが、若し新省設置が豫定通り六月一日となる場合は關西御巡幸中の天皇陛下の御裁可を仰ぎ大臣候補者は三十日夜東京發卅一日和歌山縣田邊に到着し一日陛下御入港と同時に親任式を行はせられる樣奏請するであらう然し先例から見て陛下還幸後擧式するも妨げないとの說もあり、次回閣議で孰かに決定の筈

首相と藏相 叱らる 幹事長から

【東京廿一日發電】森政友會幹事長は廿一日午後零時半田中首相、三土藏相と會見し過日の地租委讓に關する藏相の車中談が多方面に重大なる影響を與へたるに鑑み車中談の如き最も愼重にされたいと進言し首相も之を諒とした

拓殖省官制 第三回樞府精查

【東京廿一日發電】前田法制局長官は廿一日午後樞府事務局に二上書記官長と會見拓殖省官制案に關する閣議の結果を報告協議の結果廿三日午後一時三十分より第三回精查委員會を開くに決した、同委員會が政府の修正原案を可決せば廿九日本會議を開く筈

首相園公訪問

【東京二十二日發電】田中總理は二十二日午前九時半西園寺公を訪問し拓殖省官制及び新大臣任用問題、內閣改造問題、不戰條約問題等につき報告十一時半辭去した

不信任に非ずと 見る市長及擁護派

反對二派は局面打開を試むべく 市政前途愈よ紛糾

其の推薦せる助役、收入役を否認された石本市長及び其の擁護派の人々の中には既に內心辭意を有するものあるは事實である、然しながら大勢は既報の如く市長も議員も此の際 **斷じて** 辭職すべきでないといふに傾き、廿一日午後から某所に開かれた同派の協議會でも結局徐ろに成行を見やうといふことになつた模樣である、即ち同派の解する處によれば今回の結果が市長其の人に對する不信任でないことは助役問題の起つた當時からの實情に徵して明かであるのみならず、今回の表決の實際に見ても可否同數であるから市長に對する不信任が表示されたものと見ることは出來ないといふのである、而して廿日の投票の表れによつて革新派及び滿鐵系議員が **必しも** 一致結束して居らぬ實情から見てなほ今後の推移を觀望し、隱忍して最善と信ずる行動に出でやうといふ方向に傾いてゐるものゝ如くである、斯くの如く市長及び擁護派が依然として其の去就を決せぬことになれば他の二派は何等か局面打開策を講ぜねばならぬ狀態となり市政の前途はいよ／＼紛糾し暗雲低迷の狀態を續くるであらうと見られてゐる

露國人の辯護士 哈市では働けぬ

司法權の獨立を侵害すると 支那法廷入廷を禁止

【哈爾賓特電二十一日發】當地露國人辯護士は其國籍の如何を問はず支那官憲に登錄濟のものは支那各裁判所において原告及び被告の何れかゞ露國人であるか又は双方とも露國人である場合に限つて辯護を許可されてゐたが今回南京政府では右は支那の司法權の獨立を侵害するものとみなし近く布告を發して露國人の辯護士は支那領土內にあつては如何なる場合にあつても支那各裁判所に入廷することを禁ずべしと傳へられ當地露國人辯護士間に恐慌を來してゐる

四省の黨部改造

黨務指導委員を更迭

支那側某所に達したる確報によれば國民政府は曩に東北四省に派遣中であつた各黨務指導委員及び黑龍江哈爾賓の宣傳特派員を全部引揚げ現地在住の人物を以て之に代らしめることゝし本月末左の各氏就任し指導期間を向ふ六個月と定めたと

遼寧省黨務指導委員 張學良、王君培、劉不同、彭志雲、馬俊、張鉞、韓呈豐

吉林省黨務指導委員 張作相、王誠、張琪、任魏耕、野單成

熱河省黨務指導委員 李元籌、譚文彬、張啓明、于明洲、梁中權

黑龍江省黨務指導委員 呂醒夫、王德章、萬福麟、楊致煥、陳龍、王稜堂、劉存忠

哈爾賓黨務特派員 張沖、韓聖、張大呑

日支條約の 改訂打合 きのふ外務省で

【東京二十二日發電】日支條約改訂準備打ち合せのため二十二日芳澤公使、吉田次官、有田亞細亞局長、武富通商局長の外關係當局者の協議會を開いた

米國記者團 熱海遊覽

【東京特電二十二日發】滯京中の米國記者團一行は廿二日午前八時五十五分東京發、熱海に赴き丹那隧道工事を視察、海岸遊覽後宮ノ下に一泊したが廿三日後の日程左の如し

▲廿三日 午前九時自動車にて富士五湖遊覽
▲廿四日 沼津に赴き附近の蠶絲業を視察同夜靜岡一泊
▲廿五日 午後四時名古屋着
▲廿六日 大井發電所、午後三島五苅屋の日本無線電信會社對歐局參觀
▲廿七日 隆宮拜觀、各工場視察 市內遊覽
▲廿八日 午後零時五十六分鳥羽着御木本眞珠養殖所參觀
▲廿九日 伊勢神宮參拜
▲卅日 奈良遊覽、同日午後五時四十四分京都着

山梨總督

廿一日發東上

【京城特電二十一日發】山梨總督は二十二日午前十時京城發で近藤新秘書官其他を隨へ三週間の豫定で東上する筈であるが、今朝記者團の訪問に際し左の如く語る

四月上旬東上の豫定であつたが司法官等の各種重要會議のため延引した、東上の用件は本府明年度の豫算編成に關する打合せである、今此處で話せるといふは無理でないか、政務總監の後任は早晚親任になるであらうが何人か判らない、しかし上奏前に自分にも內閣から相談があつても自分の口からは云へない、拓殖省問題では隨分騷がれてゐるが朝鮮總督の權限は勿論朝鮮對內地關係も從來と何等變ることはない、しかも此の問題に就ては既に解決されてゐるものと信じてゐる

東拓定時總會

【東京廿一日發電】東拓では廿一日定時株主總會を開き事業報告損益計算書等を承認し、更に懸案たる年二期決算の件其他を可決した尙任期滿了となれる島德藏氏、加納元之助氏、朴永喆氏三監事の後任は銓衡の結果島、加納兩氏留任石沈衡氏の新任を可決した、利益金分配は左の通りである

金額	項目
一、九四三、一五五圓一三錢	當期利益金
三七二、三七一、〇四錢	前期繰越金
合計二、三一五、五二六、一七錢	內
二十萬圓	缺損補塡準備金
四十萬圓	配當平均準備金
十萬圓	役員賞與金
百六十萬圓	配當金（政府持株を除き年五分）
三十七萬五千五百二十六圓十七錢	後期繰越金

田邊滿鐵理事 廿五日奉天着

上京中なる田邊滿鐵理事は來る二十五日朝奉天に歸着することゝなるが、氏は同日奉天にて開催される東亞勸業會社の總會に出席の上歸連することゝなるので大連へは多分廿七日頃にならうと見られてゐる

鮮人學校の經營困難

結局滿鐵より補助金支給か

曩に問題を惹き起した公太堡地方には鮮人の居住多くその子弟を教育する小學校も天朝、信興の二校あり生徒も前者は九十名後者は五十名あるが最近鮮人に對する支那側の壓迫愈甚だしきを加へ經濟的にも惠まれず到底自力にては右二校を維持經營すること困難に陷り遂に二十一日滿鐵學務課に對して補助方を請願して來た、右につき學務課では未だ右二校には補助をなしたことはないが滿鐵としては沿線の鮮人教育には相當力を注いで居る現狀であるから結局問題に對しても多少の補助を與へねばなるまいとの意嚮を持つて居る

男生結束して 全部休校す

益々擴大して來た 旅順師範學堂問題

旅順師範學堂二年生十二名の退學處分に端を發する同校男子部生の同盟休校は其の後益々擴大し、學校側の懇切なる訓諭も其の効なく遂に四年生、三年生、一年生と恰も傳染性疾患の如く次々に傳播し二十日に至つて遂に男子部全體の盟休となつた、抑も此の事件は **既報の** 如く千山旅行に際し學校から水筒及び旅行用雜具を支給されなかつたといふ區々たることに憤慨して盟休した同校二年生中の主謀者十二名に對し學校當局が之を退學處分に附したことに端を發したもので、其後四年生は前記の退學者に同情して學校當局に對し復校運動を行つたが一旦退學を命じたものを再び復校せしめることは全く不可能なことで、學校側では其要求を容れるべくもなかつた、しかるに彼等はそれを不滿に思ひ遂に結束して盟休し引續いて三年生も一年生も同樣の理由の下に學校を後に **勝手に** 荷物をまとめて歸鄕してしまつた。學校側では飽くまでも教育の立場から生徒等が其の非を悔て復校することを彼等生徒の幸福のために希望するも、若し彼等にして何等悔ゆるところなく復校を希望しないならば教育の意義を守る上からも此の上の復校勸告はしない方針であると言つてゐる、此の事件のため同校は遂に閉鎖を餘儀なくされたかの如く或方面に誤り傳へられてゐるが、事實盟休してゐるのは師範學堂中の男子部だけであつて現に女子部は勿論、同校附屬公學堂も研究科も平常通り依然として授業を繼續して居る

靑聯議員當選者

大連支部の二十二名

靑年聯盟大連支部の議員選擧は廿一日午後四時滿鐵社員クラブに於て開票の結果左の諸氏が當選した、尙廿四日午後五時から靑年會館に於いて議員及び支部提出議案の整理、議會打合せ等をなす筈である

久保田廣夫(沙河口工場)結城清太郞(同)吉廣眞雄(同)仙波濤(同)小林友作(同)新井勝作(同)是安正利(同)多門登(滿電)針尾臨夫(滿鐵地質)森計夫(滿電)後藤吉之助(滿電)立川增吉(滿蒙物質)甲斐又雄(滿鐵埠頭)里見一晴(滿鐵社會課)福利重(齒科醫)森山拓志(聯盟幹事)神守源一郞(滿鐵地方部)杉浦平八(滿鐵地方部)中野醇(國際運送)和田芳次(昌圖公司)高木翔之助(記者)關本庄松(滿鐵地方部)

▲有資格總數六五一票▲投票數六〇六票▲有効數六〇二票▲無効數四(約七分四厘)棄權

關東廳辭令(十五日)

香川縣木田郡三溪尋常高等小學校訓導兼香川縣木田郡三溪農業補習學校助教諭 高松一東
任關東州小學校訓導

人事

▲白木正博氏(九州大學教授)二十一日午後八時三十分陸路大連着ヤマトホテル投宿

安東縣の中學校の話があつたから一寸山本社長の教育論の片鱗を失敬する▲曾て山本代議士で地方遊說に出た時のこと御得意の產業立國論で滔々數千萬言を捲くし立てたが、壇上の辯士舌端火を吐いて熱益々加はるに反比例して農村の聽衆は一向反應が見えない▲偶々話頭は轉ぜられて學校論に入ると聽集は忽ち電氣に感じたやうに緊張して萬雷の如き拍手と化した▲山本代議士の論に曰く「今の學校教育は死んで居る化石して居る――劃一的の形式教育である――生徒を教員の玩具にして居る――現實の社會生活の要求に應じて居ない――祖國の何物たることも教なければ自己の何物たることをも考へさせない▲かくの如くして十數年間父兄の血に塗はれ然も最低の注文である彼等自身の仕末にすら到達せしめ得ない▲言を換て曰へば端書一本書けない算盤一つはじけない泥人形の製造に止まる▲そのために國民は年々約四億の巨費を負擔し町村費の四割乃至六割は教育費を以て占められて居る諸君は何と思ふか」▲といふやうな意味のことをまくし立てたものだ聽衆は總立ちになつて拍手した、蓋し之は全國民の聲である▲山本代議士たるもの滿洲に來て結構壯大な校舍を見る每にまたあれかと思ふこともあらう――偶然にあらずぢや

一本日廳報を添ふ

商品 後場

綿糸(保合)

銘柄	約定期	値段	梱數
扁面延	六月末	二一七、〇	二五
延	同七月末	二一七、五	二五
同	延七月末	二一八、〇	二五

出來高 七十五梱

麻袋綿布麥粉(出來不申)

錢鈔

◇定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近期	九六三五	九六四五	九六三〇	九六四〇
遠期	九六三五	九六四五	九六三〇	九六四〇

出來高 近期二十萬圓 遠期百八十六萬圓

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	九六二〇	[illegible]	[illegible]
二時半	九六一五	[illegible]	[illegible]
三時半	九六一五	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金 五萬六千圓 銀對洋 三千圓

特產

◇定期後場(銀建)

▲大豆(瀨合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千二車

▲三等大豆 出來不申

▲豆粕(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一萬一千枚

▲豆油(保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千五百箱

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三十三車

▲包米 出來不申

◇現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆 袋込	六四四〇	六四三〇

大豆裸物 出來高 十車
三等大豆 出來不申
豆粕 二一四五 二一四五 出來高 一萬枚
豆油 出來不申
高粱 出來不申
包米 出來不申

神戶特產物(廿二日)

品名	値
大豆現物	七五〇
大豆先物	六五〇
豆粕現物	二二六
豆粕先物	四七五
滿洲小麥	六〇五
豆油現物	二六〇五

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一三五九〇	一三六四〇
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
中先	[illegible]	[illegible]
信中	不申	不申
先	不申	不申
中	不申	不申
先	不申	不申
新	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

銘柄	寄値	引値
[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	前場寄	後場引
大株	九〇六〇	九〇七〇
大新	七八〇〇	七九二〇
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日糸	不申	不申
郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]

滿洲日報

蔣馮の喧嘩と支那の革命

豫期された蔣馮兩派の衝突は避け難い勢ひとなつた。蔣の武力を背景とする南京派も、今度の大敵に對しては、曩に武漢派を一擧にやつ付けたやうに簡單には行くまい。此の兩派の衝突が蔣派の勝利となれば、南京派はこれが爲めに一層その勢力を增大し、國民政府の基礎之より益々鞏固となるべきも、若し馮派の勝利となれば、支那は更にまた一變し、東北四省を地盤とする奉天派も安閑としては居られぬであらう。併し今度の蔣馮兩派の衝突も恐らく徹底的には行はれまいと思ふ。

◇

謎の國の問題を輕率に判斷することは能きないが、蔣馮兩派の衝突について吾等が斯く言ふ所以のものは、支那人が妥協性に富むと共に徹底力に乏しいことを知つて居るからである。彼の辛亥革命が不徹底に終つたのは、革命軍が北洋軍閥の巨頭袁世凱と妥協したからで、袁の歿後における北洋各軍閥の內輪喧嘩も、張勳の復辟の擧も、彼等の妥協性と非徹底力のために悉く中途半端に終り、隨つて成功した者なく、その榮枯盛衰は眞に束の間であり、而も身を事の犧牲に供した者はない。一二の軍閥を除き、彼等の多くは喧嘩を商賣として居るので、一喧嘩する每に自己の懷中が膨れ、形勢不利と見るや、膨れた懷中を大事に抱へて外國租界やその他にさつさと逃げ込むといふ有樣である。斯んな始末だから何事も徹底しないのである。

◇

國民軍が張作霖を北京から追ひ拂つたのは、北伐完成に相違ないが、之れも妥協と不徹底との交互作用より成つて居り、その實際は中途半端の曖昧なものに過ぎない。蔣介石の北伐軍が北洋軍閥の遺孼たる馮派や閻派と妥協した事、これが已に革命工作の不徹底を意味して居るのであるが、その結果として、禍は早くも蕭墻の下に萠してゐたわけで、蔣馮兩派の衝突はその當時より豫想されて居たのだから、今日の事ある、豈怪しむに足らんやと言ひたい。三民主義の世の中となり、靑天白日旗が支那全土に飜へり、中央政權が北京より南京に移つても、支那の實體は依然たる封建軍閥の地方割據であつて、統一は名のみに過ぎず、從つて新軍閥同士や新舊軍閥の間に喧嘩が起るのも當然なわけで、支那が光明の天地に躍り出すのは容易な事でないと謂はねばならぬ。

◇

そこで今度の蔣馮兩派の衝突も、愈々喧嘩を始めた場合、或る程度までは勿論戰ふであらうが、從來の例に徵し、これも恐らく中途半端で鳧を付けるだらうと思ふ。我國における源氏と平氏の戰ひのやうに、平氏が最後の壇の浦まで行くと云ふが如き、さうした戰ひは支那に望まれぬので有るから、どつちか一方の旗印が惡くなれば、それが忽ち尻尾を捲いて三十六計の奧の手を出し、他の一方もいゝ加減なところで手を引くことになる。南京派と武漢派との衝突においで、武漢派の呆氣ない退却によつて鳧が付いたのは、その最もいゝ適例である。一軍の統率者に犧牲の精神がなく、戰爭を商賣と心得、生命以上に金錢を大事がるといふ有樣では、部下の將卒が常に逃腰になつて戰ふのは寧ろ當然である。

◇

辛亥革命以來、支那に動亂が絶えず、その革命がいつも中途半端に終るのは、他にも原因あれど、主としで支那人の妥協性とその非徹底力の結果に外ならぬ。生命以上に金錢を重んずる民族に眞の革命の出來やう道理もない。吾等は支那の國家的安定を望む事において敢て人後に落ちない者だが、右樣の見地から、遺憾ながら今日も尙は支那を樂觀する能はず、その革命の不徹底とこれより生ずる軍閥同士の喧嘩は、今後も繰返されるであらうと思つてゐる。今度の蔣馮兩派の衝突も徹底的に行はれず、從つて禍根はやはり殘ることになり、そこから又何かと爭ひが起るであらう。

誤植　昨日の本欄に「大連市政を何處まで茶番し」とあるは「茶毒し」の誤植

南滿の穀倉を貫く開豊鐵道の價値

鮮人に依て拓かる、沿線の水田

（第四信）　西豐にて　能勢白班選手

満蒙鉄道驛傳競爭

◇

二十日午前六時一分開原着、佐竹支局長、森永、川勝兩販賣店主の涙ぐましい程懇切を極めた手配りに何の滯りもなく、開原驛より小一里も離れた附屬地外にある西豐線始點の石家臺に到り、同七時、玩具の樣な軌道車は音響と動搖はげしく而ものろのろと動きだした

◇

この線は中華人の民營で全長六十四基米、レールは二十…軌道である。早くから開…の日支人間に開海鐵道敷…動があつたが所謂滿蒙五…一で我が借款鐵道の豫定…がために思ふ樣に進捗し…た、所で此の間支那側で…郭松齡一派が主となつて…三年六月資本金奉天票百…元で開豊鐵軌有限公司と…を創立したが翌年その工…人たる白系露人が經濟的…り一面設計上にも不備の…つたため、公司創立に關…ゐた邦商和登商行が代つ…を引受け同十五年四月五…の短時日を以て完成し…

◇

現在は資本金現大洋二百…萬圓で昨年度の貨物輸送…萬噸、旅客は約十四萬人…績を擧げつゝある、そして…究の西安への延長問題（…

（基米突）は最近當局の認可を得たので本年中に平崗迄開通の見込で目下開原が奉海吉海兩線の完成により多大の脅威を感じつゝある折柄、此線が西安にて連絡する時その受くる經濟的恩惠は尠くないであらうと前途を期待されてゐる

◇

開原を發して東すること二里餘開原城壁のあたりから漸く標高三四百米突の丘阜西側を逼ひ、その間可成りの平地をなす所謂南滿の穀倉東山地方の入口たる沃野を東進すれば、左右に鮮人經營の水田點在し、四時間半にして終點西豐に着く、此の沿線に沿ふ丘阜は殆ど凡て中腹迄山東移住民の勤勉によつて立派な畑に化してゐる

◇

西豐は一名掬鹿といふ、明治二十八年淸朝の獵區を開放したもので當時農家四五戸にすぎぬ寒村であつたが明治三十六年知縣衙門設置され今日では四萬を數ふる此地方の物資…地である、我が鐵嶺領事館…があるが、日本人は西豐…東豐の三縣を通じて六十四…過ぎない。然し鮮人は三千五百、何れも水田の耕作…してゐるのは注目に値する

◇

繁華な掬鹿市街を一巡して五時半再び開原に引返し、同四分盛んな見送りを受けて長東縣を志して進發した【鐵嶺…豐線を征服した白班能勢選手

關內出兵の噂に吉林官帖の暴落

百九十七吊餘を唱ふ

【吉林】吉林省政府金庫たる官銀號の發行に係る官帖は初めて發行して以來三十餘年を經、全省民の通貨は九割を占め市價も奉天票等に比しては信用あるものであるが二十數年前の金一圓對二吊五百文は今日の金一圓につき百九十吊まで暴落を續けて來た、この原因は省首腦者の改變每に政策によるもので主因は歷年の軍事費であること勿論この兩三年は冬期に於て相當市價を保ち夏期暴落するを常としてゐる、今年はあまり亂調もなかつたが頭出來滿、蔣間の確執より三省の出兵問題は勢ひ吉林省も出兵を止むなきものとしきた硬貨買入れに官銀號が手を出すとの噂に官帖は急に暴落し金一圓に對し百九十七吊餘を唱へるに至つた

きふの放送　簡易支那語會話

滿鐵學務課　秩父固太郎

第九十九課

1 你用甚麼功哪　2 我學話哪
3 學那國話　4 學英國話
5 你學會了罷　6 我還說不好
7 太謙太謙　8 我嘴笨
9 好說，口音難　10 越學越難
11 本來不容易　12 我記性不好
13 那兒話呢　14 學一句忘一
15 誰都是一樣　16 還得下工夫

（譯文）

1 貴方は何を御勉强ですか
2 私は語學を稽古して居ます
3 何語をお習ひですか
4 英語を習つて居ます
5 貴方はお出來でせう
6 私は未だ巧く話せません
7 ど…致しまして（餘りに御謙…
…
16 …

ロシア人が感嘆したピラミツト型の禿頭

楊柳新綠に烟る湯崗子附近

（第四信）　遼陽にて　秋山紅班選手

局子街に排日運動

惡分子の使嗾

紀彈

勞農職工を日本工場に派遣

ジ長官の日本鐵道工場觀察はこれが下檢分の爲か

特別視察委員

張作相氏赴遼

間島に增兵か

勞農赤衛軍入蒙

ウ市に大部隊を集め一大隊は移動を開始

【哈爾賓】某所に達した情報によれば最近ウエルフネウヂンスクに大部隊の赤衛軍が集中されそのうち一大部隊は二十數臺の貨物自動車に武器及び食糧などの軍用品を積み外蒙に向つて行軍を開始…

滿日詩壇

滿洲日報 地方版

奉天

全奉天野球大會 組合、順序決定す
兩事務所長が優勝杯を寄贈

全奉天のファンに期待さるゝ奉大日々及び本社奉天支社共同主催の全奉天野球大會に對し太田地方、鈴木鐵道兩事務所長より優勝カップの寄贈あつた、二十一日午後三時より奉日に於て參加チームの主將會議を行ひ左の如く決定した

▲入場式 二十七日午後四時
▲試合 四時半開始
▲ゲーム 九回（但し一回戰は七回迄とし十點の差あつた場合はゲーム中止）
▲規定 大毎昭和三年度年鑑に依る、レートは自由
▲ボール 各團負擔
▲試合時間 定刻より遲れた場合に相手方より異議ある際は不戰一勝とす
▲優勝戰 六月二日午後二時より
▲審判 各團より一名宛
▲組合せ及び順序は左の如し
遞友—共同
驛—金曜
醫大—機關區
奉中（不戰一勝）
第二回戰抽籤は二十九日終了後行ふ

優勝チームとスコア豫想投票
奉日社で一般から募る

全奉天野球大會擧行に當り奉日社では左記の規定に依り豫想投票を募り、廣く一般の興趣を添ふ事と成り、當選者に對しては賞品を授與する事と成つた

一、優勝チーム
二、優勝戰のスコアー
三、締切二十七日正午到着迄有効
四、正確者無き場合は最も近きスコアーの者に授賞す
五、賞品は一等より三等迄
六、正確者多數の場合は抽籤を以て決定す
七、投票用紙は奉天日日新聞刷り込みの用紙を利用之れに限るものにて郵送又は持參差支なし

青年聯盟奉天支部議員決定

滿洲青年聯盟奉天支部では廿一日午後五時議員の選擧を行つた結果左記十氏が當選した
尾形幸吉、横山茂雄、深水五龍、松本直義、大沼幹三郎、福本貞雄、鶴原文雄、谷戸通滋、鯉沼忍、佐藤榮興

醫大、工大對抗競技の激勵演說大會
大いに盛況を極む

滿洲醫大と旅順工大との對抗競技激勵演說大會は廿一日午後七時より奉天公會堂に於て開催された、これより先會場には醫大職員學生を始め市民看護婦に至るまで立錐の餘地なき出席者ありプログラムの順によつて演說に移つたが、各人とも血湧き肉躍る若人の叫びは桃夏の宵に相應しい聽くさへ人心をして躍然たらしめるものあり、しかも

演說者 の外同聯の學生として數氏より軍談、柏木兩君、市民側中村氏及び大學より白石氏庄司舍監の飛入激勵演說あつて更に力を加へ盛會を極めて十時過ぎ閉會した猶當日の演說者氏名及び演題は左の如くである

一、開會の辭　陸協會長　久保田博士
二、激勵の賦　波多　久
三、よりよき市民の建設とは如何　草薙　銀松
四、醫大選手及び應援團諸君へ　永田　勝惠
五、市民と學生　緒方　維弘
六、對抗競技に對する私の態度　奥山　主事
七、嵐の前の靜けさ　撫沼青年聯盟支部長
八、汝自ら一歩を加へよ　田中武
九、旅順と奉天　石井醫大辯論部長
一〇、百萬の味方より一人の力を　齋藤新太郎
一一、我國競技界の世界的躍進と在滿兩大學の對抗競技　木谷副會長
一二、必ず勝つ　渡邊應援副團長
一三、閉會の辭　十川體協理事

見學生の醜體

見學のため福岡某學院生徒は驛前の某旅館に止宿中旅の恥はかき捨てと云ふ考へか二十日午後九時某飲食店にてしたゝか飲酒の上二三名宛腕を組合せつゝ目拔の場所を横行闊歩し大聲を揚げて放歌する始末で遂に其筋の厄介と成つた

福井縣織物見本展

福井縣織物見本展示會は二十日公會堂に於て開催支那向商品が多かつた爲め支那商の入場者多く盛況を呈した

邦人質屋に 支那人強盜

廿日午前三時半頃新民府邦人質屋永廣秀市方に支那強盜侵入し家人を以て就寢中の夫妻を毆打負傷せしめ金品を強盜し逃走した

又復貨物を抑留す

二十日午前九時半高島町丸一運送店では城内の某支那商店へ丁稚[illegible]馬車十臺と、金を馬車三臺に積載し電燈廠附近に差懸つた際又もや支那税捐局稽査員のため抑留され納税を強要したるも警察官の交渉に依り無事通過した

町の便り

◇琴平町のカフエー中央亭では二十一日後援者及び各關係者を招して祝宴を催した
◇元金城館で仲居をしてゐたおりつさんは今回琴平町の元鳥居藥局跡を引受け名も（つるしま亭）と呼び撞球場を開業したゲーム取も素敵なシャンを二三名抱へると云ふ
◇沿線各地を講演中の文部省囑託安倍季雄氏は廿二日午後七時から滿鐵社員倶樂部に於て童話より見たる家庭と題し社會課主催にて講演を行つた
◇第八區内の琴平町住吉町中央浪速會では來る二十七日海軍記念日をトし春日公園に於て野遊會を開催に決定餘興運動の申込は琴平町同天洋行、住吉町改良軒、浪速通松尾藥房へ申込まれ度いと
◇宇治町東本願寺では大谷派本願寺滿鮮巡回布教使三角貫恩師の來奉を機會に二十二日午後一時から佛教講演會を開催した
◇山口縣教育視察團各中學校長六名は二十三日朝六時三十分來奉二十四日撫順に赴くと
◇千代田通三昌洋行店員山名五郎は去る十一日行方不明と成つた爲め各方面を捜査したが判明せぬので二十日遂に其筋へ捜査方を願ひ出た
◇大連監部通華北寫眞館に奉公中の住所不定間家庭（二七）は去る十三日頃同僚の郭某から百圓の金を騙取し姿を晦ましつゝあつたが二十日千代田通亭利洋行方に潜伏中を御用

人事

▲松井第十六師團長　廿一日撫順へ
▲秦少將（奉天特務機關長）　廿日五龍背より歸奉
▲香月第十九旅團長　廿日鐵嶺へ
▲川合關東廳衛生課長　廿日歸旅
▲乾奉天署長　廿日遼陽往復
▲長野第十六師團經理部長　廿一日遼陽へ
▲大山第十六師團法務部長　廿一日朝遼陽より來奉

哈爾賓

黒田次官一行通過

黒田大藏次官一行は豫定の如く二十日午前九時發南下長春へ向つた

視察團豫定

日本旅行會主催の鮮滿視察團一行三百二十名は廿一日午前九時半の臨時列車で來哈廿二日午前南下する、尚最近來着豫定の視察團は次の通りである
二十一日撫順實業視察團、二十二日博多西南學院、二十三日宮城縣視察團、二十四日滿鐵社會課員、二十六日山口教育視察團、二十七日大連輸入組合

・・・熊本縣人會　熊本縣人會は十九日哈爾賓座に開催素人芝居、手踊等の餘興があつた

公主嶺

騎兵聯隊軍旗祭
天候氣遣れたにも拘らず大盛況裡におはる

公主嶺駐剳騎兵第二十聯隊第二十四回の軍旗拜授記念祭は十九日午前十一時三十分開始軍旗奉迎、安藤聯隊長の奉詞、分列式、軍旗奉送等莊嚴裡に式を了し勇ましき騎兵全員の戰鬪を終り各種の餘興は順序よく行はれ午後四時半より園遊會は開始され各所の模擬店は大繁昌大盛況裡に閉會した、當日は午前六時頃小雨ありて八時ごろ止み西南の大風は砂塵を捲き暗雲去來大雨を氣遣はれてゐたにも拘らず聯隊長より公主嶺全市民と軍旗拜受記念を祝福せんと各戸に家族同伴來場の案内状を各區長を通し寄せたので例年になき參觀者であつた

將校視察團來公

金澤聯隊區將校滿鮮視察團の一行十六名は二十日午後二時着の列車にて來公農事試驗場其他を視察午後四時四十三分發の列車にて南下した

兒童デー盛況

滿鐵社會課公主嶺小學校主催の兒童デーは二十一日左記の如く開催した
一、午前中學校にてお伽噺會、午後一時校庭に集合、旅行列、公園に行進、神社參拜、寶探し相撲、運動、風船飛揚、土産物分配

かくて頗る賑やかに兒童を喜ばせ兒童愛護デーは樂しく行はれた、因に二十二日は幼兒審査會二十三日は兒童保育座談會何れも午後一時滿鐵倶樂部で開會

創立記念祝典

公主嶺獨立守備歩兵第一大隊は來る二十八日左記の順序により第二十二回守備隊創立記念祝典を擧行
午前十一時守備隊練兵場大隊長の式辭、來賓有志の祝詞分列式守備隊合奏、忠魂碑祭典、十一時三十分より講演あり午後零時三十分より祝宴運動會競技及餘興等あり終つて營内及同飾物縱覽せしめる筈で大隊長三浦氏は當日を公主嶺市民と共に祝福する考へで隊内を全部開放觀覽及び講演を實施するため案内状を各戸に出し本月初旬より部下將校下士を督勵し準備に忙殺されて居るので當日は豫期以上の盛況を呈するであらう

開原

大波田氏當選
青年議會議員

青年聯盟主催の滿洲青年議會は六月一、二、三の三日間大連滿鐵協和會館に於て開催につき當地開原支部代表出席議員は正隆銀行大波田[illegible]

貔子窩

正金行員異動

正金銀行開原支店次席二宮謙氏は東京へ轉勤、後任谷山信男氏は寄任挨拶の爲め二十日兩氏同道各方面を歴訪したが、二宮氏は午後卅發、同店出納係田中八十一氏は廿一日午前出發赴任の途に就くと

驛傳豫想の投票熱旺盛

今回本社が催せる驛傳競爭所要時間豫想投票は一般讀者より非常の興味を以て迎へられ選手スタートを切るや何れも地圖と列車時刻表と首引き夜の更くるも知らずに研究する者等あり相當の成績を得らるゝものと見られてゐる

軍醫部長來貔

鈴木軍醫部長は二十一日零時三十四分着列車で視察の爲來貔

任巡捕の遺骸
二十一日到着

過般開原にて不幸兇彈に斃れたる任巡捕の遺骸二十一日零時三十四分貔子窩驛着列車にて到着驛には峰岸署長外署員其他多數の出迎へを受け直に親戚知己に護られ實家貔子河會任家屯に向ふ

夾河廟の例祭

管内夾河廟會の夾河廟は効驗あらたかなる廟として遼陽の地迄知られ毎年の例祭には日に二三萬人の參拜者があるが本年は丁度二百五十年祭に當るので特に參詣者多く二十二日の中日には四五萬の人出ある模様である

撫順

夜の全市を震撼す歡呼
熱烈な歡迎裡に軒昂たる能勢選手

今や全滿をあげて湧くが如き人氣の焦點となれる滿蒙鐵道驛傳競爭白珈能勢選手は第一走者としての重大な責任を完全に果し二十一日午後八時二十分列車にて撫順驛にその雄姿を現はした、これよりさき支局及兩販賣店の特報にて同選手の來撫を知るやこの

未曾有 の壯擧を聲援すべく炭礦側よりは山田文書主任、寺村電燈主任、胡阪陸上競技部代表、警察側よりは大林署長、杉野警務主任外非番署員多數、市中側よりは山上實業協會長、田中副會長、森書記長、大島市場會社支配人、中山撫順印刷會社支配人、古賀初一氏外數十名記者團側は撫順新聞窪田社長、福田營業部長、柴田社會部主任、月刊撫順よりは城島主幹、田村大連、島木奉日、冷泉奉毎各支局長等を始め青年團、撫順中學、永安小學の健兒等[illegible]民總計數百名の歡迎を受け大尾驛長の發聲にて「滿日驛傳競爭萬歲」を三唱時ならぬ歡聲は夜の撫順全市を震撼する熱狂裡に記念撮影をなし

小憩の 後九時十分の列車にて奉天に引返し第二走者加藤記者に「通過サイン」を引繼いだ當夜態々同選手に熱誠な歡迎を與へられた各位の御厚情を深く感謝する次第である

撫
▲高濱虚子（俳人）　三十日午前十一時來撫、一泊講演の後三十一日離撫の豫定

青年聯盟議員當選者
五名を決定

青年聯盟撫順支部に於ける第一次議員總選擧は二十日午後八時より實業協會樓上に於て擧行、事務報告支部長代理佐野幹事長の總選擧に關する注意あり、左の諸氏を選擧した
枡巴倉吉氏（炭礦側）
森山環氏（實業協會側）
紐井一、西川清兵、岡田登之治（以上市中側）

人事

▲松井第十六師團長一行九名二十一日午前十一時、列車にて視察の爲來撫、午後六時四十分離撫

遼陽

家庭研究所開所式
廿五日擧行

滿鐵地方事務所社會係主催の家庭研究所では目下ミシン、和服裁縫、幼兒部の三部を設け經營中であるが廿五日午前十時から社員倶樂部附屬演藝場に於て開所式を擧行すと因に毎日出所する者ミシン部廿五名、和服九名幼兒部廿五名で漸次増加の見込である

馬賊と衝突し巡長殉職す

遼陽縣第五分局管内大東溝に頭目靠山の率ゆる十數名の馬賊潜伏中なりとの情報に接したる公安局では胡騎兵中隊長が部下廿名を從へ捜査に赴きたるに廿日賊團と衝突交戰の結果、巡長巡警各一名が流彈に中つて殉職せる旨廿一日報告があつた

驛員家族會

遼陽驛員及び家族の大園遊會は廿六七の兩日に亘り開催の準備中、場所は白塔公園の豫定なるも雨天等の場合は他に變更する

課金審查會

遼陽公費區の課金につき異議申立の者あり廿二日午後一時から地方事務所會議室に於て審查會を開き審查する處があつた

本願寺納骨堂地鎭式

遼陽本願寺出張所では豫て計畫中の納骨堂を建設することゝなつたので之が地鎭式に併せて永代經法要と宗祖聖人の降誕會を執行し、鮮滿州本願寺主任寺本照觀師を聘して法話がある、因に廿三日から廿五日迄晝二回永代經法要、廿六日午後一時地鎭式、午後二時宗祖降誕會

驛傳競爭の加藤選手通過

我社驛傳競爭白珈の加藤第二選手は廿一日午後二時下り急行で遼北行したが、今回の競爭は白珈が勝ちですよと意氣衝天の元氣振りであつた

軍人團懇親會

八十餘名の全國在郷軍人團の一行が廿七日來遼、忠魂碑前に於て臨時招魂祭執行につき同日午後六時から第十六師團の主催で公會堂に於て駐劄軍の有志及び遼陽在郷軍人其の他が懇親會を催すと

白だより

母國からの旅行團大に歡迎すべし滿蒙の紹介百聞は一見に如ずだが結構ではあるが尻端折つて苦力がどこの野蠻人かと云はぬかり服裝だけは今少しく改めたらと
×
小學校父兄會のバザーと喫茶店は初めての試みだけに瀧川校長以下相當案じて居たが結果は上々飛ぶ樣な人氣忽ち賣切れ而し來年からは大規模にとは仰せられなかつた

金州

金州を目指して觀光見學團殺到
名所古刹新緑にはゆ

至る處新緑の麗かな金州を目差して遊山に見學に來金するものが近來非常に増加して日曜日の驛頭は

繁雜 を極めて來た、近くは聯合艦隊の士卒數千名士官學校生徒の一行軍大學校の戰蹟見學團、三百十餘名より成る内地全國滿洲見學團等々と次々に大小の遊山見學團が詰寄せて今年は早くも近來稀な盛況を呈して居るが、金州の名所としては日露戰役の戰蹟として人も知る南山乃木將軍の詩を聯想する金州城日清戰役當時探偵として不幸敵刄に倒れし藤崎、鐘崎、山崎の三烈士を祭れる三崎山地獄極樂の稱ある北門外の天齊廟乃木將軍の愛兒勝典大尉が悲壯な最期を遂げたる八里庄戰死の場所海拔二千二百尺關東州一を誇り

風光 明媚にして關東州を一望に收め響水寺石鼓寺觀音閣寺の絶景の地に建設せる古寺名所は種々雜多にして觀光見學に州内唯一の價値を有する處である

青年修養講話

當地青年團に於ては西田天香氏來金を期として二十七日午後七時より民政支署樓上に於て修養講話を行ふ事になつたが天香氏來金は同夜七時五十二分の急行なるを以て時間迄同人の修養を聽き終つて天香氏の講話に移る筈である

金州大連間の道路擴張敷地
買收を終る

金州大連間の道路中金州城南門迄は九分九厘迄竣工せるを以て第二期擴張工事着手の必要上南門外より東門外を經て通ずる道路敷地を民政署土地係及關東廳土木課協力の上交渉中であつたが此の程漸く買收を終つたが第一期工事終了次第直に着手する筈である

青年議員候補

滿洲青年聯盟金州支部に於ては青年議會議員候補者として望月正人兒玉賢一の兩君が立候補した

西田天香氏來金

京都鹿ケ谷一燈園主西田天香氏は來る二十七日午後七時五十二分の急行にて奥地より來金の由

鐵嶺

寄附金を着服す
四國靈場太山寺の寄附金を仰ぐ怪婦人

四國の靈場八十八ケ所のうち五十二番太山寺の仁王門大修繕の寄附と稱し怪しい二人連れの女が市中各方面で三圓から一圓位の寄附金を集め取調べられてゐる事は既報したが最初は口を緘して容易に事實を吐かず飽くまで强情を張つてゐたが遂に包み切ず寄附金臺帳は破棄し金は袂の裏に縫込んでゐた事が判明した而も其中立は原籍長崎市稻佐町一丁目當時奉天八幡町一丁目無職竹村ミドリ（四二）、原籍大分市荷揚町當時大連市信濃町九〇無職橋本スキ（二二）と稱したるも不照會の結果居住の事實なく住所氏名までも僞り各地同一手段で寄附金を集め着服してゐる模樣があり引續き取調べ中である

商工議員會

當地商工會議所では來る廿四日午後三時より同所樓上に於て議員會を開催す附議事項左の如し
一、昭和三年度決算報告
二、總會開催に關する件
三、昭和四年度更正豫算の件
四、特別議員推薦の件（以上）

輸入組合役員改選
廿日定時總會

鐵嶺輸入組合では二十日午後一時より商議樓上に於て定時總會を開催し役員改選の結果[illegible]
監事二名末廣榮二、橋本勝藏、評議員八名松崎善造、田中任廷、加藤捨次郎、加藤正次郎、德本延藏、中瀨庄三郎、松岡佐右衛門、松田三之助の諸氏當選した、尚本年度の決算は左の如く示された

當期總收入金	六、二七八、六九
當期總支出金	六、〇三三、三九
純利益金	二四五、三〇

利益金の處分左の如し

缺損補償積立金	一九五、三〇
職員退職慰勞基金	五〇、〇〇

因に現在の組合員は五十一名に達してゐる

映畫『金剛呪門』沿線各地で巡映
廿八日長春を振り出しに 本社の讀者映畫會

本紙連載中の山中峰太郎氏作「金剛呪門」は讀者の興味の中心となり好評を博しつゝあるが、これを元東亞の幹部武井龍三が獨立した最初の作品として映畫化し前後篇十六卷に製作し旅大に於て本社主催の下に公開し大喝采を博したが引續き沿線各地に於て巡映すべく計畫中であつたが、愈大體左の如き日程により北滿より漸次南下して讀者の期待に公開することになつた、讀者に限り各地ともに優待割引することになつてゐる、詳細は順次發表することにした

長春　五月廿八、九、卅日
范家屯　五月卅一日
哈爾賓　六月一、二日
吉林　六月四日
公主嶺　六月五日
四平街　六月六、七日

寄附電話申込

當地郵便局では來る六月一日より八日まで期間とし昭和四年度の寄附電話架設の申込受付を開始する由なるが從來の寄附電話は申込料二百圓を要したが今回は其土地の狀況によつて差等を設け鐵嶺などは不況の地とて充分考慮した結果架設費百二十圓と登記料十五圓合計百三十五圓にて架設し得る事とされた、申込順によつて六月末までには全部架設される筈につき希望者は期間内と雖も至急に申込まれたしと

支那人等に逃げらる
宿屋で人質

公主嶺中華電影公司では昌圖城内に於て活動寫眞興行を催ふすべく社長（支那人）支配人佐々木國竹外一名が出張映畫公開をしたが自治團の妨害や降雨の爲め收入無く宿料の支拂にも窮した爲め社長と一行の支那人は映寫機を携へて密かに逃走し支配人の佐々木のみ宿主から人質として抑留せられ遂に宿主から告訴して佐々木は嚴重な看視を受け殆ど監禁にひとしい取扱ひを受けてゐたが駐在後藤巡査の取計らひて十八日漸く釋放された

獻立表に名所舊蹟を印刷

新築開業せる奉天ヤマトホテルでは日日使用する獻立表の一部に奉天附近の名所舊蹟を印刷し宣傳の方法とすべく鐵嶺には龍首山馬蜂溝白塔等が名所として相應はしく宣傳援助の意味に於て有志より右の寫眞（なるべくなれば原版を希望）一葉宛の寄贈を鐵嶺驛長を通じて申込んで來た、若し右名所で宣傳資料に相應はしい寫眞を所有する人は驛まで御寄贈を願ふと、因にヤマトホテルでは右の寫眞を獻立表一枚に一ケ所宛を入れ繪葉書として永く使用されるやうにする計畫であると

海軍記念祝賀

在滿海軍出身者を以て組織する二七倶樂部では來る二十七日が第二十五回の記念日に相當するを以て大いに祝賀の意を表し且つ此好機に充分海軍思想を一般に普及せんと計畫し當日夜公會堂を會場として講演と活動寫眞會を催す由會費は二十錢位を徴する豫定と

鐵嶺漫筆

本社主催滿蒙十五鐵道驛傳競爭の豫想時間投票は十九日以來頓に白熱化し鐵道方面では各員が細密な計算と透徹した頭腦を絞つて走破する選手と智惠較べ▲市中では本紙刷込みの時間表を基礎として盛に線を引いて時間を割出してゐる、投票締切が二十五日だから其朝の新聞が最後の運命を定める日だと言つてゐる▲豫想は各人思ひ〳〵の時間を割出してゐるが只一つ萬人の齊致したもの一つあり曰く「オートバイ」▲氣早な連中は操縱の方法を研究してゐる者もある▲滑稽なやうだが何れも眞顔でやつてるんだから面白い▲中には俺の思ふ通りに選手が走つて呉れたらナアなんて嘆聲を洩らすものもある▲それでも豫想計算だけはコクメイに研究してゐる

今日の案内（廿三日）

◇狂犬病豫防注射　午前十時より三時まで公會堂前に於て施行される鐵嶺市内に於ける注射は本日を以て最終とするにつき未だ注射を受けない畜犬は本日中に連行されたしと
◇公會堂の活動寫眞　今明二晩マキノ映畫春季大會として水戸黄門東海道漫遊記十卷、現代劇涙十二卷を上映入場料は大人六十錢軍人三十錢小人二十錢
◇黒田大藏次官一行　午後六時二十一分着列車にて通過南行すと

旅順

籠城記念追悼會 プログラム決る
ネストル大僧正も參列して 二十六日旅順で擧行

日露戰爭當時の旅順籠城生存者並に各關係露人によつて來る二十六日、旅順露國墓地で籠城二十五年記念追悼會を營まれる事は既報の通りであるが、そのプログラムは左の如く決定した

▲二十五日　追悼會參加者到着、正午まで在旅日本官憲へ挨拶、旅順攻圍戰參加日本軍人訪問、午後墓地を檢分し追悼會擧行の準備
▲二十六日　午前十時露國墓地に於て花環捧呈、並に鎭魂祭、同十一時より十一時半まで日本墓地に於て同上、正午より零時半まで「コンドラテンコ」將軍の鎭魂祈禱式を行ひ第十一堡壘へ花環を捧呈、午後一時より一時半まで第十一堡壘戰死者墓地に於て「マカロフ」提督の鎭魂祈禱式、關係者へ謝辭申入、旅順出發

なほ列席者は滿洲里、哈爾賓、ポクラニチナヤ、天津、上海、大連その他より生存者十七名、關係者十六名、僧侶、學手二十三名計五十六名で滿鐵囑託で帝政時代の陸軍大將ミハイル、ワシーリウイチ、ハンジン氏が司會者となり、僧侶としては哈爾賓よりネストル大僧正が來る筈である

海軍記念日に盛大な催し

來る二十七日は海軍記念日に當るので要港のお膝下なる旅順では市役所と海軍協會とが合同主催の下に一般市民に對し此の極めて意義ある記念日に際し二十五年前の日本海大海戰の思出を新たにさせんが爲め當日は午後一時市内數ケ所に、東郷提督の發した有名な「皇國の興廢此の一戰に在り」云々の名信號Zの信號旗を掲揚し同時に三發の花火を合圖に白玉山上よりサイレンを鳴らし、一般工場も汽笛を鳴らして之に和し、此の日本國民にとりて忘るべからざる日の感銘を一層深からしめる計畫である

海軍記念日
小學生に講演

來る二十七日は海軍記念日であるが當日旅順第一小學校では第九驅逐隊將校を招聘し四年生以上の生徒四百三十名に對し午前八時十五分より約一時間、講堂に於て「日本海々戰の情況」および「國民の覺悟」に就き講話をなし、同第二小學校では三年以上の生徒四百名に對し同時刻に「列強海軍の現況」並に「軍縮と海軍」に就いての講話を行ふ筈であると

工大選手出發

既報の通り二十二日夜出發、滿洲醫科大學との陸上運動競技會に出場する旅順工科大學選手は[illegible]したが同大學々生應援團は二十一日夜、白鉢卷に應援旗を振り太鼓を先頭に應援歌を唱ひながら市中を練り歩き必勝の意氣を示した

山本氏送別會

前電話局長山本太三郎氏の爲に二十日夜武藏野に於て送別會催會來會者三十餘名盛會であつた

鞍山

猩紅熱の豫防注射

鞍山警察署衛生係では二十八日より六月二日まで六日間に亘り大連衛生研究所安藤博士を聘し猩紅熱豫防注射を行はれるが其の日割及び場所は次の通りである
△二十八、二十九日　中學校生徒全員同校に於て
△三十、三十一日　小學校生徒全員同
△六月一日、二日　市内一般人消防にて

狂犬豫防注射

鞍山警察署衛生係では狂犬病豫防注射を左記日割を以て施行するから愛犬者は全部接種されたしと
二十四日　市内鐵東一般消防隊
二十五日　鐵西全部、北六番派出所及び商務會事務所
二十七日　櫻桃園立山各派出所
二十八日　大孤山同派出所
二十九日　千山湯崗子各派出所

梅根課長歸鞍

鞍山製鐵所製造課長梅根常三郎氏は歐洲觀察より既報の如く歸鞍した

吉井領事歸遼

遼陽吉井領事は二十一日午前十時四分着列車で來鞍し地方事務所警察署を訪問し午後二時五十五分に歸遼した

鈴木三郎助氏

味の素會社々長鈴木三郎助氏は二十一日午後一時三十九分着列車で大連より來鞍製鐵所其他を視察の上午後五時湯崗子に向ひ出發した

衛生宣傳映畫

鞍山警察署及び衛生係では六月六日午後六時より消防隊横廣場に於て夏季傳染病豫防宣傳活動寫眞會を開催し衛生宣傳映畫其他餘興等ある筈である

營口

娘々祭に露店

來る廿五、六、七日の大石橋娘々廟祭に當地の平本洋行、須田商進商行、田口商店、山佳洋行、回天堂、貿易公司、東亞煙草販賣所等の各商店は景品付の露店販賣をなす筈である

弔魂團來營

安藤中將引率の在郷軍人弔魂團は來る二十九日午前五時半着營旭公園内の忠魂碑に參拜し同十一時發にて離營南行すると

支那飛機飛來

二十二日午前十時頃胡蘆島から奉天海軍所屬の小形水上飛行機が飛來したるが右は試驗飛行の爲來れるものにて二時間位にして同島に歸航すると

どうも頭が働かない……ては早速ノーシンを

奮戰苦鬪三日の後
慶應遂に優勝す
十對七早大の復讐遂に成らず
廿一日の早慶決勝戰

【東京特電二十一日發】全國のファンの注視を受けて早慶野球チームは廿一日午後二時半から神宮球場に於て決勝戰を行つた、今シーズンの榮冠が孰れに歸するかは此の一戰によつて決するので兩軍必勝を期し死力を傾けて奮闘した結果早大前半優勢なりしに反し後半慶大軍大いに振ひ遂に十對七にて覇權は慶大の手に歸した、經過次の如し（審判天知、横澤兩氏）

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
早大	0	4	0	3	0	0	0	0	0	7
慶大	0	0	5	0	1	2	2	0	0	10

前半の亂打戰

▲第一回　慶大、楠見左飛、水原三匍、町田投匍△早大水原投匍杉田屋三匍、伊丹左翼安打、森四球を利して出で、伊達の三匍に伊丹三壘に封殺さる（兩軍零）

▲第二回　慶大、宮武四球に出でしも山下の二匍に封殺、本郷三振、川瀬ワンストライクの時山下二盗して倒る△早大矢島四球小川の三振の後、佐伯中飛、富永四球に出で水原の遊三間安打に滿壘となり、杉田屋三壘に邪飛し水原ひろつて三壘に歸る間に富永三壘に滑り込矢島生還伊丹左前に安打し富永、水原生還（此時慶應上野退き水原投手に）

▲第三回　慶大川瀬二壘に内野安打し、三谷亦た遊越え安打、加藤捕邪飛、楠見三遊間に安打し滿壘となり、水原左翼に三壘打して三走者生還、町田遊匍に水原本壘に殺到して刺さる、宮武の中飛三壘打となり町田も生還山下右翼安打に宮武生還、本郷三壘寄り内野安打に山下三壘を襲ひ成功せるも川瀬遊匍に止む△早大矢島遊直、小川中前テキサス（森代走）せるも佐伯遊匍で二壘に併殺（慶五早〇）

▲第四回　慶大三谷遊飛加藤中飛楠見投匍△早大富永二匍、水原一、二壘間に安打し、杉田屋四球に出で伊丹の左翼二壘打に水原生還、森四球に滿壘となり、伊達の中堅犧飛に杉田屋生還、矢島の遊匍に、伊丹も生還、小川死球で又滿壘となつたが佐伯の三匍に矢島封殺（慶零早三）

慶軍漸く優勢

▲第五回　慶大水原右翼に三壘打

▲第六回　慶大本郷遊撃に安打し川瀬バントで送り三谷遊匍、加藤中堅に三壘打し本郷生還し同點となり慶應の應援團總立ちとなる、楠見三匍一壘に低投に加藤亦た生還し一點をリードす更に水原の遊匍を富永二壘に高投し走者二三壘を占め井川（町田の代打）二飛に了る△早大（此の時慶應宮武投手、山下一壘、水原二壘、井川右翼、楠見左翼、梶上中堅となり三谷、町田退く）森三匍、伊達二匍、矢島左飛（慶二早零）

▲第七回　慶大（此のとき早大小川退き松木投手となる）宮武遊匍山下四球に出で松木のボークで二進し本郷亦た四球を得、川瀬のバントに二走者進壘し更に松木の暴投捕逸に山下生還、松木捕手の返球を後逸して本郷も生還、早大いよ〳〵勝運に見はなさる、梶上遊飛△早大松木二匍、佐伯三振、富永四球に出でしも水原の二匍に封殺（慶二早零）

▲第八回　慶大加藤四球、楠見バントを失して投飛となり水原亦た四球、井川の投匍に加藤封殺宮武二匍△早大（慶大堀右翼に入る）杉田屋投匍、伊丹遊匍、森一匍失に生き伊達四球に出でしも矢島一匍（兩軍零）

慶軍首相カップを受く

▲第九回　慶大山下左飛、本郷四球、川瀬投匍、梶上遊飛△早大最後の攻撃に入り西村（松木の代打）遊匍高投に生き（西村代走）內川（佐伯の代打）四球を得（三浦代走）富永遊匍、今井三振し一番打者水原亦々空振して遂に恢復し得ず五時閉戰す、斯くて慶大は見事に優勝し折柄臨場せる三土藏相の手より首相カップを受く

早大

位置	選手	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四球	過失
9	水原	6	2	3	0	0	1	0	0
7	杉田屋	5	2	0	0	0	0	1	0
2	伊丹	5	1	3	0	0	0	0	0
5	森	3	0	1	0	0	0	2	2
3	伊達	3	0	0	1	0	0	1	0
8	矢島	4	1	1	0	0	0	1	0
1	小川	2	0	1	0	0	1	1	0
1	松木	2	1	0	0	0	0	0	1
	西村	1	0	0	0	0	0	0	0
4	佐岩	4	0	0	0	0	1	0	0
6	富永	3	1	0	0	0	0	2	1
	計	37	7	9	1	0	3	8	4

今井、內川、三原略す

慶大

位置	選手	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四球	過失
7・8	楠見	5	1	1	0	0	0	0	0
1・	水原	4	1	2	0	0	0	1	0
7	町田	3	1	0	0	0	0	0	0
9	井川	3	2	0	0	0	0	0	0
1	宮武	3	1	1	1	0	0	1	0
3・9	山下	4	1	1	0	0	0	1	1
4	本郷	3	2	2	0	0	1	2	0
2	川瀬	3	1	1	2	0	0	0	0
5	三谷	3	1	1	0	0	0	0	0
8	梶上	2	0	0	0	0	0	0	0
6	加藤	3	1	1	1	0	0	1	1
	計	35	10	10	3	0	1	5	2

上野略す

▲備考　投球數　小川　九八（ストライキ二三、ファウル一一）松木　四四（ストライキ五、ボール二七、ファウル三）宮武　六四（ストライキ一七、ボール二九ファウル六）水原　六三（ストライキ一二、ボール二七、ファウル零）

三壘打　水原（慶）二、宮武二、加藤二　二壘打　伊丹　併殺　加藤、宮武　ボーク　松木　殘壘　慶十、早十三

ゆく春を追ひ
若夫婦の剃刀心中
廿一日星ケ浦國澤牛島の岩蔭て
女は即死男は虫の息

ゆく春の陽うらゝかな星ケ浦は國澤牛島の岩蔭で心中を遂げた男女の一對が廿一日午後五時頃、折柄海岸散歩中の工專の學生によつて發見された、女は黑のメリンスの洋裝で顔るモーダンな廿一歳位の美人で　あるが、剃刀で頸動脈を斬られて絶命し、男は廿五六歳ぐらゐ背廣にクレバネットの外套を着てゐたが、女とは釣合ぬ服裝で之も頸動脈を斬つて虫の息となつてゐた、所持品は何も無く男のポケツトには「熊本縣菊池郡大津町字野忠吾方へ知らせて下さい」と認めた紙片があつたのみであつたが、出張した警官の質問に對し「二葉町濟美館方宇野ミ子（二〇）」と女の姓名を

微かに

洩らしただけであつた、男は熊本縣菊池郡大津町二葉町下宿屋一一五日下市內二葉町下宿屋館止宿無職平民宇野節夫（二）同縣同町當時市內浪速町カフェーの女給惠美子（二〇）で濟美館に夫婦と稱して止宿し女は前記カフェーに通勤してゐたもので男は市內病院に收容し、女の死體は市内に引取られた（寫眞は情死の現場、中央既足で橫はれるが惠美子の死體）

男の外泊で喧嘩
十九日外出したまゝ
濟美館の人達語る

宇野さん夫婦は四月二十五日から投宿し、間もなく女は浪速町モダンカフェーの女給になつて通勤し

毎晩遲

く歸つて來てゐましたが三四日前の夜一時半頃女が歸ると男が外出してゐなかつたので獨りでプン〳〵憤つて翌朝男が歸宿するのを待つて激しく口喧嘩して其日は終日二人一室に引籠つて女は夜カフェーも休みました、それが十九日夕方六時頃二人仲よく連れ立つて外出した儘今日まで歸らぬのでどうしたのかと只今も皆と噂してゐた處です、下宿料は未だ一文も入つて居りません

机の上

には二人の所持品辻潤譯マックス、スティルネルの「唯一者とその所有」「支那研究」「近代生活」女人藝術「桃色草紙」等あり、その他柳行李一ス、女のメリンス袷二人の食ひ荒した夏蜜柑の皮を包んだ風呂敷が殘つてゐた

社會運動に
宇野は一時
熱中した男

惠美子の友達なるカフエータイガー女給熊本生森脇よし（二）は語る宇野さんは元熊本で私の家の店員でしたが、向隣のカフエーに女給してゐた惠美子さんとはその頃から親しくしてゐました、一緒に四月七日熊本を出發して大連に來て、宇野さんの友達の大連銀行員電氣遊園近くの木村さんのお宅に暫く御厄介になつてゐる中、二人は宇野さんの姉さんを頼り撫順に行き、面白くなつかたか二十三四日頃又大連に歸り濟美館に投宿しました、お金も持つてゐなかつたので惠美子さんが働く事になつたのでせう、私も時々小使を貸してゐました宇野さんは

以前は

社會運動などに熱中した事もありましたが此頃はおとなしくなつてゐました、熊本では美術裝飾畫などの仕事を手傳つてゐました

尙聞く處に依れば男は市內某辯護士の事務所に暫く勤めた事もあると

盛儀を極めた
川原議長の葬儀
黑田侍從、御下賜品を傳達

【東京二十二日發電】故衆議院議長川原茂輔氏の葬儀は二十二日正午から日比谷議長官舍にて行はれ午後一時黑田侍從は特に靈前に進み燒香し祭粢料、御下賜品を傳達した、參列者は田中首相以下五百名に達し盛儀を極めた

聖德祭
試樂祭盛況
昨日は本樂祭

聖德祭試樂祭は二十一日午後一時より擧行された、副會長立川眞平氏、岩井少將外聖德會及び區各役員出席式後三時より賑々しく神輿の奉昇あり、大師堂より眞金町白菊町へ進み區內の各戶は國旗提灯を掲げ敬意を表した、尙六時より大師堂に於いて練心館主催の柔道大會あり初夏の夜を十時迄熱心な見物人で賑はつてゐた、本日は本樂祭で十時より始まり紳士參列し擧式されると

治療を

要する者が六千五百名餘で乳齒の拔去や齲齒の完全なる處置をした者が七百名でこれ等は今後十數年間は再發の怖れなく健全を保持し得る筈である、殘りの患者は本年度引續き治療をなしつゝあるが更に眼科はトラホームが六校で一千六百名、これを完全に治療することは至難であるだけ全治者の實數は未だ調査濟みに至つてないが、必要に應じて

專門醫

にかけるとかその他の方法で萬全を期し處置してゐる、而して本年度からは撫順、奉天に更に一校宛二校を增し八校に對して學校診療を開始することゝなつてゐる

日露役
直後西通りに建つた
ジャパン製の倭屋
「湯たんぽ屋」等の珍談を遺して
愈よ取毀される

○…當局から取毀し改築を命ぜられた西通電車線路に沿ふ北側六十八番地一帶のバラツク倭屋は最近順次取毀され、今は大連簡易食堂の看板の掲げられた寫眞の一軒と其後方に二、三軒を殘すのみとなつたが、それも遠からず取毀はしの運命に迫られてゐる

○…これ等の倭屋は日露戰役後間もない三十九年乃至四十年ころ滿洲の建築にも居住にも經驗のない初期の日本人の手によつて建てられたもので、露國の設計した規模堂々たる現在の市街區劃道路に此の貧弱なバラツクの建つた當時は露西亞町および監部通り邊に建ち並んだ露國人や支那人の建築物に對比して寧ろ日本人の氣魄の低劣さを思はせたものである。

○…その後風紀取締の必要上、市中散在の小料理屋をこの邊一帶に集めたので西通は一時娘子軍の奮鬪陣地と化し、空前絶後の「湯たんぽ屋」なるものが出來たりなど種々奇拔な珍談を遺したものだ。

○…此の一種の思ひ出深いバラツク倭屋も時勢の力には抗し得ず二十數年に亘る幾代かの居住者を送り迎へて遂に跡形なく取拂はれるのは、往時を懷しむ草分けの人々に取つては盡きせぬ名殘に感慨無量なるものがあらう

活動寫眞宣傳
遞信局の催し

遞信局では滿鐵沿線に左記日割に依り活動寫眞にて簡易保險、郵便年金及び郵便貯金の宣傳を行ふ由六月一日夜本溪湖公會堂、二日夜橋頭俱樂部、三日夜連山關小學校

尙實寫物の處に年金劇「近郊夜話」四卷、貯金劇「晴れ行く空」四卷、保險劇「衞生か「新生」四卷、「甦るた」四卷等である

旅順博物館の
附屬動物園
十月までに完成
軈て滿蒙の動物許り集む

旅順博物館附屬動物園も着々工事が進んで現在では一萬圓の工費で周圍の鐵柵と、三千圓の工費で事務所、一萬圓の工費で水禽舍を各起工中であるが、水禽舍は直徑十間とし中央に池を設け噴水を備へ一方山を築き之れに白鳥、鷗、雁、鷲鷹等各種の

水禽を

飼ひ周圍を鐵骨とし金網を張るものである。なほ虎、豹等の猛獸を容れる檻も建築すべく來年十月までには全部完成の豫定であるが、現在飼育されてゐる動物は熊、狼、駱駝、狐、海豹、猿等の獸類と鷲、孔雀、黃鳥、磯鵯、七面鳥、金鷄鳥、ヤツガシラ、ヨシキリ、ツグミ、ヒタキ等四十種の鳥類である、この中孔雀の雄は昨秋腸炎を起し死亡したので雌三羽は非常に淋しがつてゐたが、內藤主事の

骨折り

で近く上海より婿さんを迎へる事になつた、內藤主事は「滿洲獨特の動物園として滿蒙の地域にのみ棲息する珍しい動物を主として集める方針である」と抱負を語つてゐた

萬國殖民、海洋
博に滿鐵出品

白耳義では千九百三十年（來年）の獨立百年記念祭を機とし來年四月末より向ふ六ケ月間、首都アントワープで萬國殖民および海洋博覽會を開催する事になり關東廳および滿鐵にも出品方を勸誘して來たので、滿鐵側からは滿洲產の大豆およびその加工品並に之れ等の寫眞、模型、活動寫眞等を出品するに決したが、關東廳側では目下研究中である

今年から八校で
兒童診療を行ふ
滿鐵の沿線各小學校

滿鐵衞生課では昨年十月より鞍山、遼陽、奉天、長春、撫順、安東の六小學校に學校診療所を設置し兒童の健康增進を圖ることゝなつたが、第一年度に於ける六校全兒童一萬五百六十四名中齒科は

日本大相撲
六日目の勝負

【東京廿一日發電】大相撲六日目

（判読困難な取組結果）

【東京二十二日發電】日本大相撲八日目取組左の如し

（若瀨川）清水川（東）潮（白岩）岩木山（常陸）大潮（出羽岳）池田川（錦）朝光（嶋）外ケ濱（常陸岳）荒熊（瀨川）常陸島（星甲）武藏山（大蛇山）鏡岩（古賀浦）雷ノ峰（太郎山）新海（信夫山）玉錦（天龍）汐（清瀨川）吉ノ山（朝山）寶川（若島）若葉山（豐國）錦（能代潟）宮城山（玉錦）洋（常陸岩）大ノ里（常ノ花）

周義公社會葬

周義公社會葬は二十二日家族のみの燒香あり明二十三日は約一萬人の人々が集り一般の燒香を行ひ二十四日に葬列が行はれるが此の時機に支那名士が大分集まる模樣である

光安畫伯近く個展

藝に來連した光安浩行畫伯は目下市內錦町八ノ四二平島信氏方に滯在中であるが、同畫伯は近く滿洲において得たる作品を一般に公開すべく個人展覽會を開催すると

入湯中小兒死す

市內伏見町十四番地ノ二七號ノ二滿鐵社員西川義人長男澄雄（七）は二十日午後五時父と共に自宅の風呂に入つたが、父は先に出て澄雄は一人で湯につかつてゐたが、數分經て湯の中に沈んで了つて人事不省となり醫師の手當も効なく遂に死亡、多分心臟麻痺だらうと

本社懸賞當選小説（禁無断上演）

人生の曲藝（138）

瀬野皓太作
淺枝次朗畫

暴風雨

葉山百合子が東京劇場での事件は、翌日の新聞には一齊に報ぜられてゐた。もうその容體は、とても當分は舞臺に立つ事さへ出來ないであらうとも附け加へてあつたが、彼女を樂屋に訪れた早川の事に就いては、別に何も書いてはゐなかつたし、その卒倒の原因についても、いろ〱な臆測が述べられてはゐたが、どれも本當の彼女の心もちを知る筈はなかつたのであつた。

この報道は滿都の人達を少からず驚かした。中にも藤村子爵は、いつぞやの早川啓吉との興味ある會見以來、氣がかりでゐた彼女の事だけに、何となく暗い豫感を心の中に浮かばせたのであつた。

又、一再ならず早川啓吉の爲に警告を受けてゐた荒井博士も、この報道には吃驚させられたのであつた。

が、この騷ぎのうちにも、彼女は既に東海道を西へ走る列車内の人になつてゐた。

昨夜、劇場から丸の内ホテルに歸ると直に旅支度を調へたのではあつたが、彼女は漸くの事で八時の急行を捉へる事が出來た位であつた。

誰にも知らさないで、こつそりと、宛で逃れ出る樣に東京を立つたのであつた。東京の街から起る雜音も、さまざまな色や光も、彼女の此の旅行を思ひ止まらせる事は出來なかつた。彼女を惹きつける大きな力が前方に待つてゐて、思ひ立つたが最後、彼女の決心を向けさせなかつたのであつた。

が、恋らないうちに、この思ひ切り不敵な計畫に、まつすぐに突進する限りの勇氣をもつて、そして彼女の心に映る内村信策の幻を、護符にして、眼も閉ぢ、口も塞いで哈爾賓へさして、まつしぐらに突進するのだ。さうだ、突進だ。出來るのだ。

彼女はそんな事を考へながら、寢臺車の羽根布團に埋くまりながら寝入つて了つたのであつた。

眼がさめて見ると、もう七時を過ぎてゐた。

ボーイの配つて來た土地の新聞には、小さな見出しで、自分の事に關する東京の電話が載せられてゐた。

一體、東京では、どんなにか昨夜の事件を噂し合つてゐるかと思へば、わけもなく微笑が、彼女の頰に浮んだ。その白い頰を、鈍い陽が暖く照らしてゐた。

その日は曇勝な、風の少い日らしかつた。

車内には乘客も、極少かつたし、その上に心は、押しつけられる樣に重かつたので、大變沈鬱しく陰氣だつた。

何も考へまい。昨夜の事も、今から先の事も、考へない事にしようと思ひながら、やつぱり彼女の心からは、内村信策が消えなかつた。

而も汽車は刻一刻と、内村らの住める滿洲に近づきつゝあるのだ。

長い間、その滿洲を忘れてゐたかの樣に、彼女は東京の人間になつてゐたけれ共、やつぱり緒士の匂ひを忘れないでゐた。

その匂ひの中へ、そして、今は不思議な勇躍の心を持つて歸つてゆくのであつた。

何も考へまい、と思ひながらも、その事を考へないわけには行かなかつた。

ふと、彼女は思ひついたかの樣に、棚にあげてあつた旅行鞄を下した。

その中には、彼女の靑春や、その他のこまごまとした物と一緒に、白鞘の一振りの短刀が忍ばせてあつた黑い風呂敷に包んだものと、彼女は、その風呂敷包みを取出した。その中には、嚴重に包裝した何ものかゞあつた。それは、彼女が朱文啓の命ずるまゝに首尾好く荒井博士の研究所から寫して來た重要な秘密書類に相違なかつた。

彼女は、萬年筆を出すと、すらすらと、その上包の上に、何かを書きつけた。

それは、荒井博士の記名であつた。

彼女は、それを書き了へると、ボーイを呼んで、いくらかの金を渡して、直に書留で送る樣に依頼したのであつた。

満日文藝

満日柳壇

長谷川百穴選

「逃げる」

大連　泉　寛静

逃げるのへ後から悪罵追つかぶせ

（評）下五「追つかぶせ」が作者にとつての主眼であらう、勝誇つた表現法に成功した句である

旅陽　立川登美坊

逃げやうと蠅取もちへもがく羽

（評）嫌はれる蠅でも蠅取り紙で自滅したくないのは當り前、蠅取り紙の逃げやうとする蠅は樣々な形をしてゐる、私の句に「取りもちへ疲れた蠅は鼻をつき」

大連　西坂　紀美

母の手をくゞつて裸體かけ廻り

（評）類想句中まとまつた句だと思ふ、靑春への時裸體にされて出鱈へ手をあてゝ蜻々として部屋中を走り廻る樣が良く表現されてると思ふ

三光

人位

旅陽本町　田代みのる

身がまへた指の下から蚤がはね

（評）下五に「逃げ」と結ばれたが事更に隠に結びつけた感がする此の場合はねとして蚤の自然を活かしてやりたい、作者の身構は夕刊でも手にしてくつろいでゐる時背中でチク〱する蚤にさわるシャツを脱ぐ、蚤だと周章てる身構なのだ、大男と蚤との活劇の對照そこに情味がある此の類は氣をつけないと狂句になり易い

地位

大連黄金町　大橋　雨柳

追ふただけ逃げる巣立の雀の子

（評）「追ふただけ」と強く言ひ切つたところに此の句の生命がある、表現法に成功した申分のない句